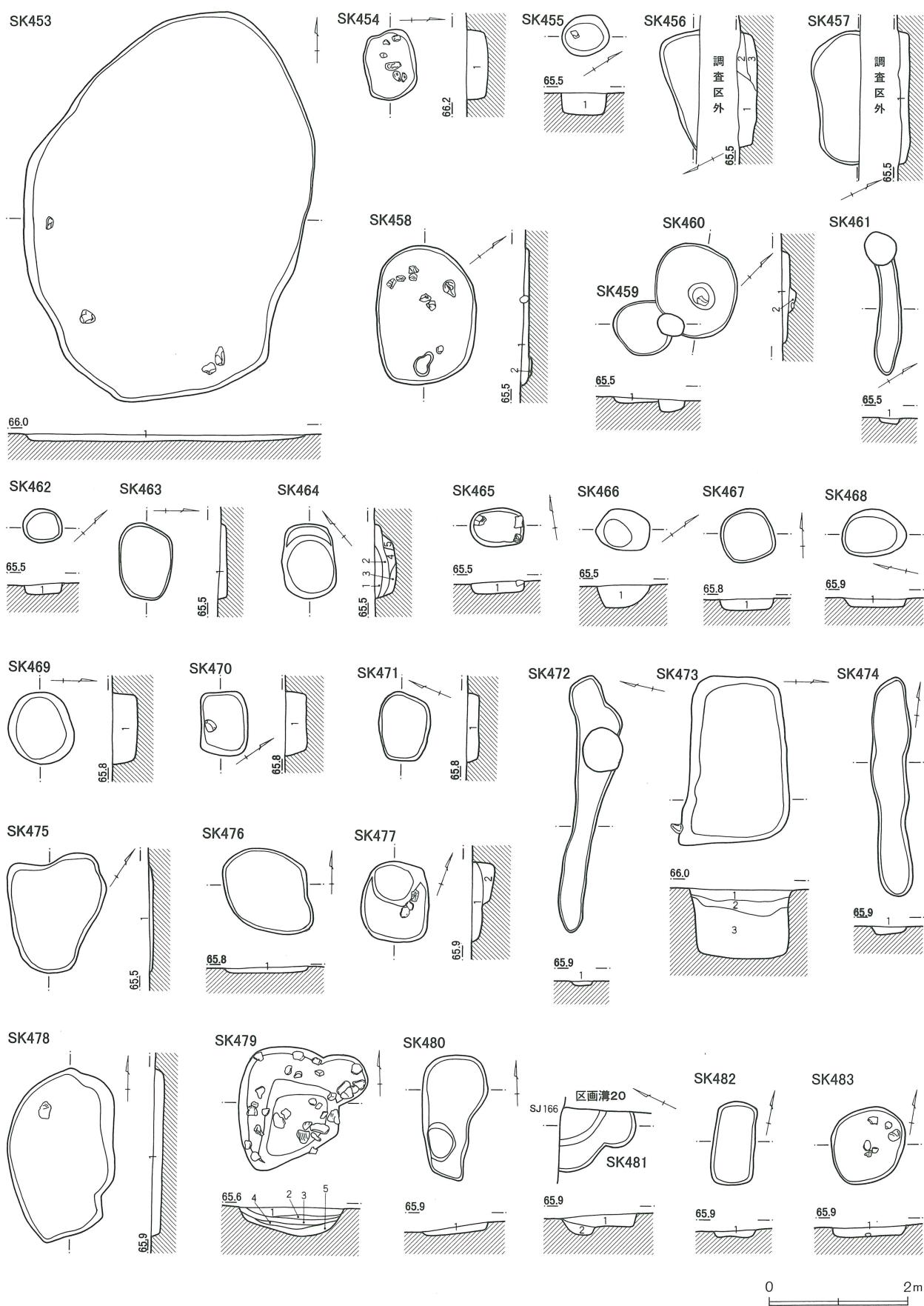
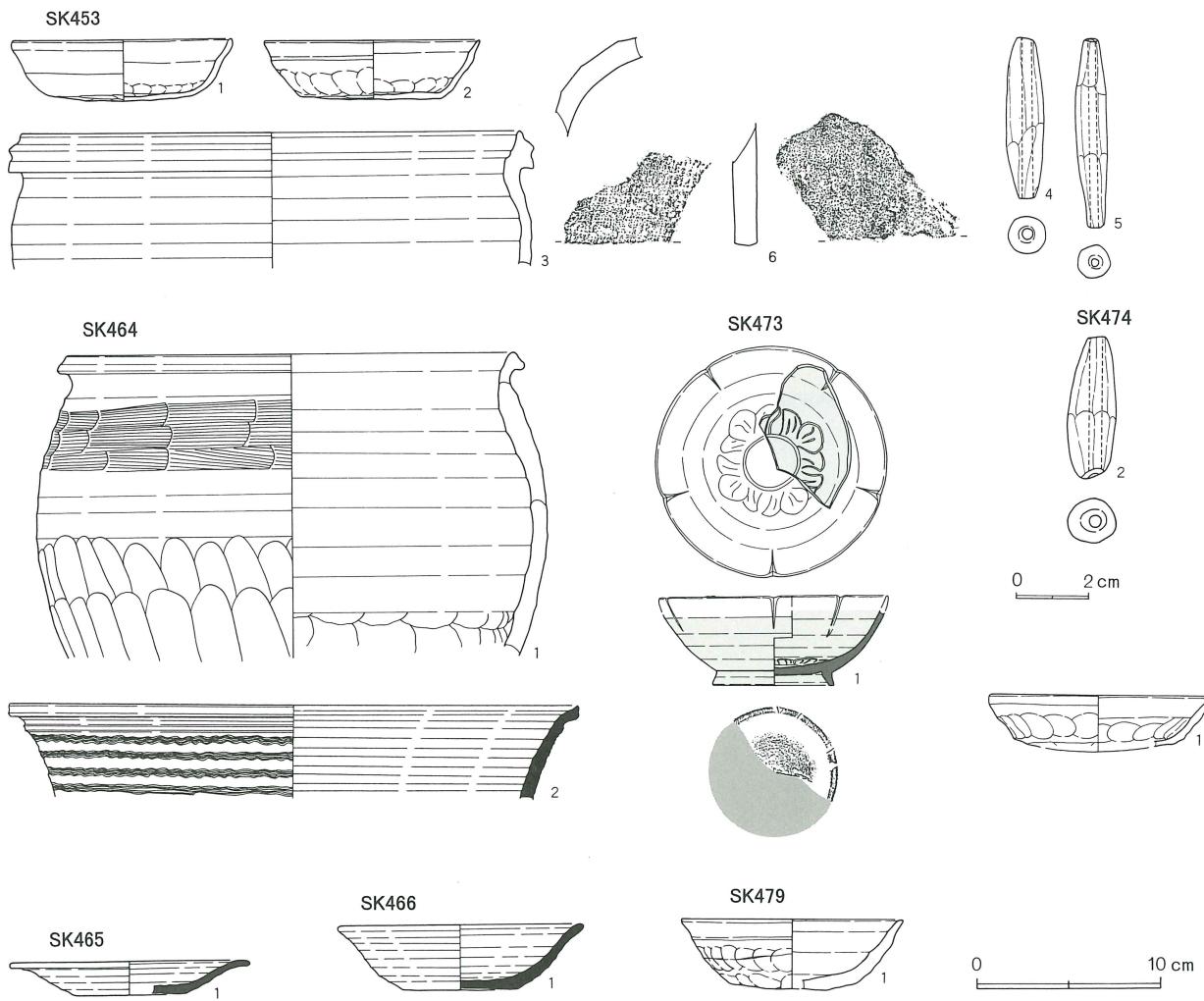


第708図 土壌 (15)

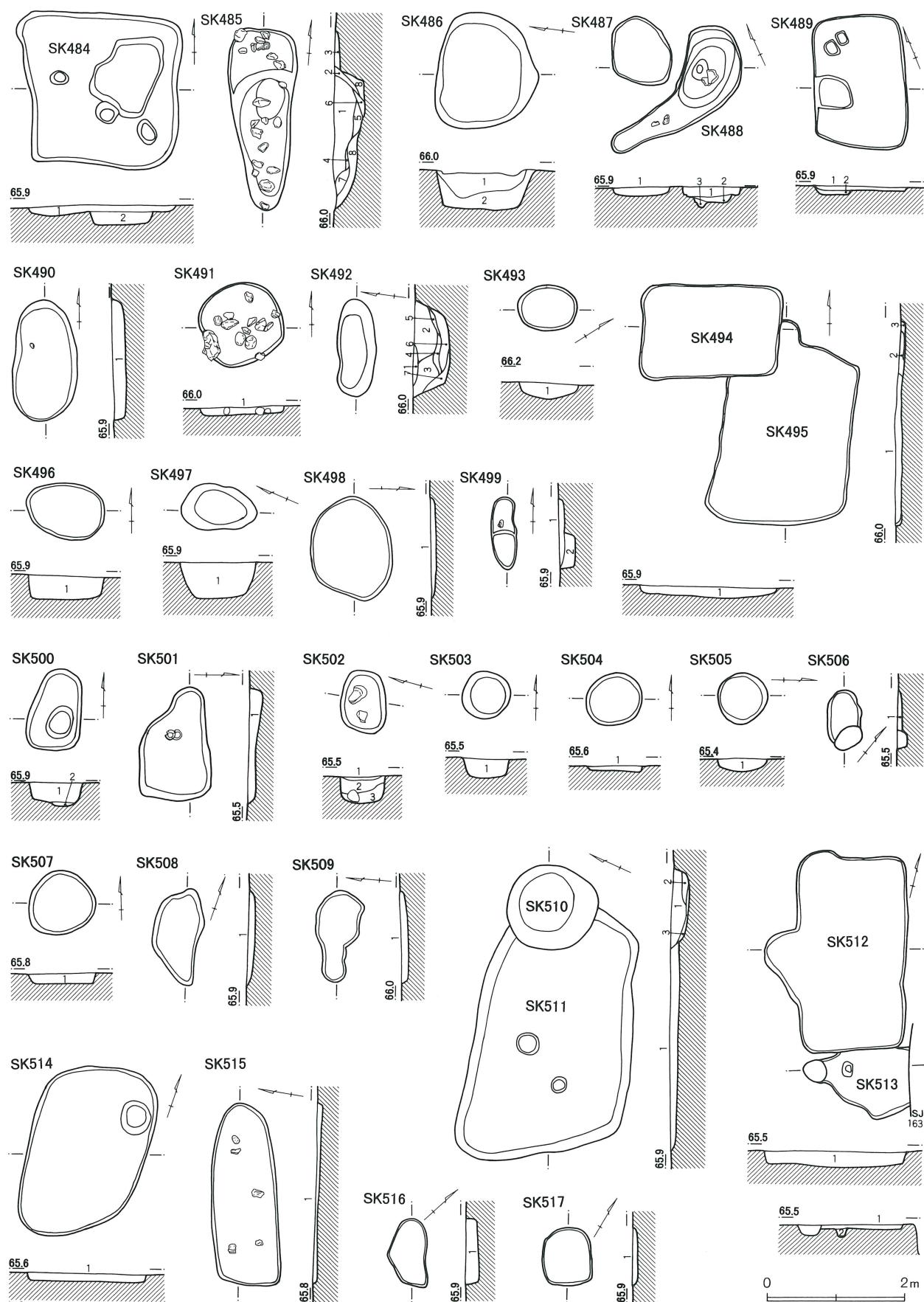


第709図 土壌 (15) 出土遺物

第452号土壌	1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む 粘性あり
第453号土壌	1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含み、砂を多量に含む
第454号土壌	1 暗黄褐色土 地山よりやや暗く 粘性あり
第455号土壌	1 暗褐色土 焼土粒子を少量含み、底面付近に暗黄褐色土を含む 粘性あり
第456号土壌	1 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭、B軽石、砂を少量含む 2 暗褐色土 B軽石を少量含む 3 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり
第457号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり
第458号土壌	1 暗褐色土 焼土を少量含む 2 暗褐色土 焼土を微量含む
第459号土壌	1 暗黄褐色土 焼土、炭を少量含む
第460号土壌	1 暗黄褐色土 焼土を多量に含み、炭を少量含む 粘性あり 2 暗黄褐色土 烧土を微量含む
第462号土壌	1 暗褐色土 白色粒子を少量含む
第463号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を含む 粘性あり
第464号土壌	1 黄褐色土 焼土粒子、炭化粒子を多量に含む 2 黄褐色土 暗灰色粘土を含む 3 灰褐色土 暗灰色粘土に黄褐色土を含む 4 黄褐色土 炭化粒子を少量含む 5 暗褐色土 白色粒子を少量含む
第465号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む
第466号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む
第467号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を含む 地山よりやや暗い
第468号土壌	1 暗黄褐色土 焼土、炭を多量に含む 粘性あり
第469号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を含む 地山よりやや暗い
第470号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を含む 地山よりやや暗い
第471号土壌	1 暗黄褐色土 焼土、炭を含む
第472号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む 粘性あり
第473号土壌	1 黒色土 焼土、炭化物、砂利、礫を多量に含む 2 黑褐色土 烧土粒子、炭化物を多量に含み、小砂利を少量含む 3 暗茶褐色土 焼土、炭化物を微量含み、河原石を多量に含む 粘性あり
第474号土壌	1 暗茶褐色土 焼土、炭を多量に含む
第480号土壌	1 暗茶褐色土 焼土粒子、炭化粒子微量含む 粘性あり
第481号土壌	1 暗褐色土 焼土を多量、炭を少量含む 粘性あり 2 暗茶褐色土 焼土、炭を微量含む 粘性あり
第482号土壌	1 暗黄褐色土 焼土、炭を多量に含む



第710図 土壤 (16)



第711図 土壌 (16) 出土遺物

第483号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を多量に含む

第484号土壌
1 暗灰褐色土 焼土を少量含む
2 暗褐色土 焼土を微量含む

第485号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含み、B軽石を多量に含む
2 暗黄褐色土 焼土、炭化粒子を多量に含む 粘性あり
3 暗黄褐色土 砂利を多量に含む 粘性あり
4 暗黄褐色土 B軽石を多量に含む
5 暗黄褐色土 B軽石を少量含む 粘性あり
6 暗黄褐色土 焼土を少量含む 粘性あり
7 暗黄褐色土 B軽石を少量含む 粘性あり
8 暗黄褐色土 河原石を多量に含む

第486号土壌
1 黒褐色土 焼土粒子、炭化物を多量に含み、小砂利を少量含む
2 暗茶褐色土 焼土、炭化物を微量含み、河原石を多量に含む 粘性あり

第487号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を少量含み、B軽石を含む 砂質

第488号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含み、B軽石、砂を多量に含む 砂質
2 暗褐色土 炭を少量含み、砂利を多量に含む
3 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む

第489号土壌
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含み、砂を多量に含む
2 暗褐色土 焼土、砂を少量含む

第490号土壌
1 暗灰褐色土 砂利を多量に含む 粘性あり

第491号土壌
1 黒褐色土 焼土粒子、炭化物を多量に含む

第492号土壌
1 暗褐色土 B軽石を少量含む
2 暗黄褐色土 焼土粒子を微量含み、小石、砂利を多量に含む
3 暗褐色土 1層よりもやや明るい 焼土粒子微量含む
4 暗褐色土 焼土、砂利を少量含む
5 暗黄褐色土 砂質
6 暗黄褐色土 砂を含む 粘性あり
7 暗黄褐色土 6層に似るが 焼土を少量含む

第493号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を微量含む 炭化物層 下層は河原石を多量に含む(砂利層)

第494号土壌
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む 砂質

第495号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量、B軽石を多量に含む 砂質
2 暗褐色土 焼土を少量含み、B軽石を含む
3 暗褐色土 B軽石を含む

第496号土壌
1 暗灰褐色土 B軽石、河原石を少量含む 砂質

第497号土壌
1 暗褐色土 B軽石を少量含む

第498号土壌
1 暗褐色土 B軽石を少量含む

第499号土壌
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む
2 暗黄褐色土 焼土を微量含み、白色粒子を少量含む

第500号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を微量含む
2 黑褐色土 焼土、炭化物を少量含む 粘性あり

第501号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む

第502号土壌
1 暗黄褐色土 焼土、炭化物を少量含み、B軽石を含む
2 暗褐色土 焼土を少量含み、炭化物を微量含む
3 暗褐色土 焼土を少量含み、炭化物を多量に含む フラブ 羽口など含む層

第503号土壌
1 暗灰褐色土 焼土粒子を少量含み、砂を多量に含む 粘性あり

第504号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭を微量含む

第505号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり

第506号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子、砂を少量含む

第507号土壌
1 褐色土 焼土、炭化物を微量含み、B軽石を含む

第508号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含み、炭化物ブロックを微量含む

第509号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を微量含み、B軽石、砂利、河原石を多量に含む

第510号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を微量含み、B軽石を含む
2 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含み、B軽石を含む
3 褐色土 焼土を多量に含み、炭化物を少量含む

第511号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む

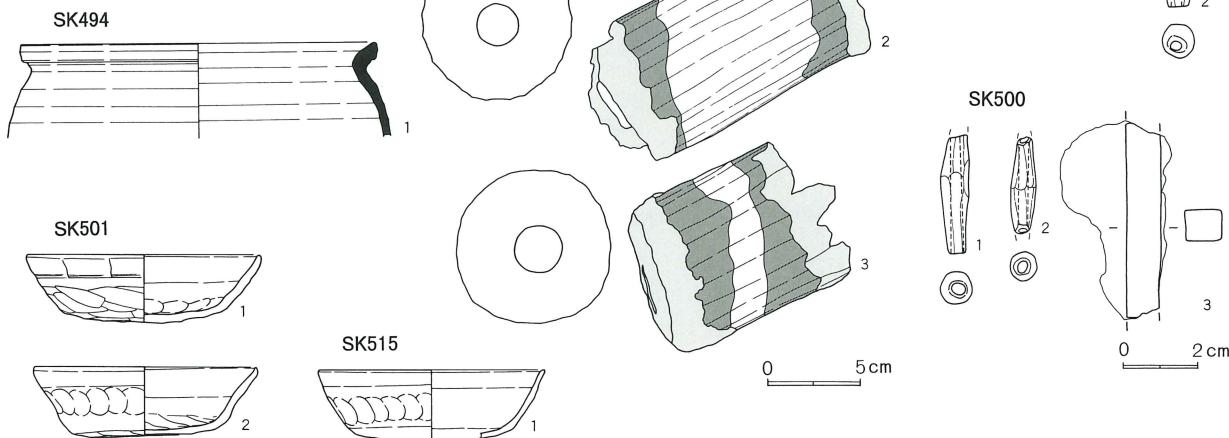
第512号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量、炭を少量含む 粘性あり

第513号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含み、炭を微量含む
2 暗褐色土 炭を微量含み、白色粒子を少量含む

第514号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量に含む 底面は一面の河原石

第515号土壌
1 暗灰褐色土 焼土、炭化物を微量含み、B軽石を含む

第516号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含み、黄褐色土ブロック、B軽石を含む



3は、土師器の壺AⅥである。4は、土師器の壺AⅣである。6は、灰釉陶器の高台付碗である。7は、土師器の鉢である。8・9は、土師器の甕である。10は、須恵器(S)の広口壺である。

第571号土壌の1は、土師器の皿Aである。

第573号土壌の1は、土師器の壺AⅣである。

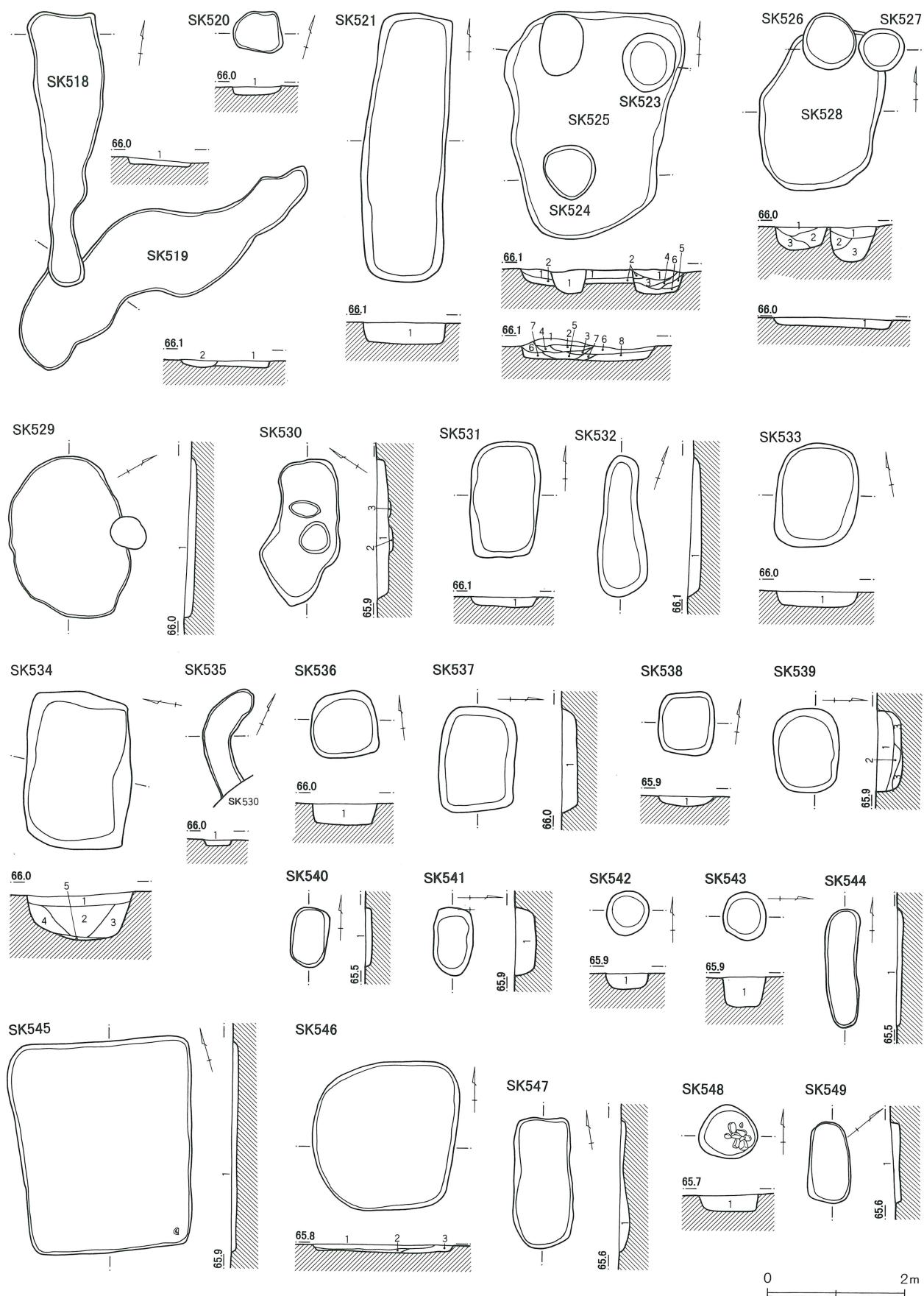
第581号土壌の1は、土師器の壺Cである。

土壌 (19) の出土遺物 (第717図)

第611号土壌の1は、須恵器(NS)の高台付碗である。

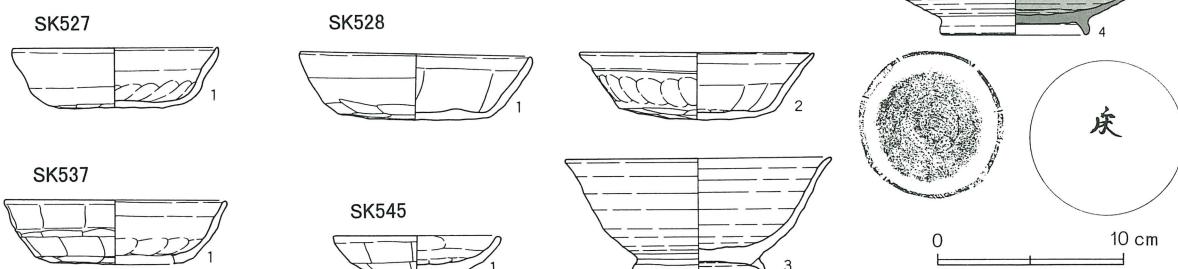
第618号土壌の1は、須恵器(S)の蓋である。2

第712図 土壌 (17)



第713図 土壌 (17) 出土遺物

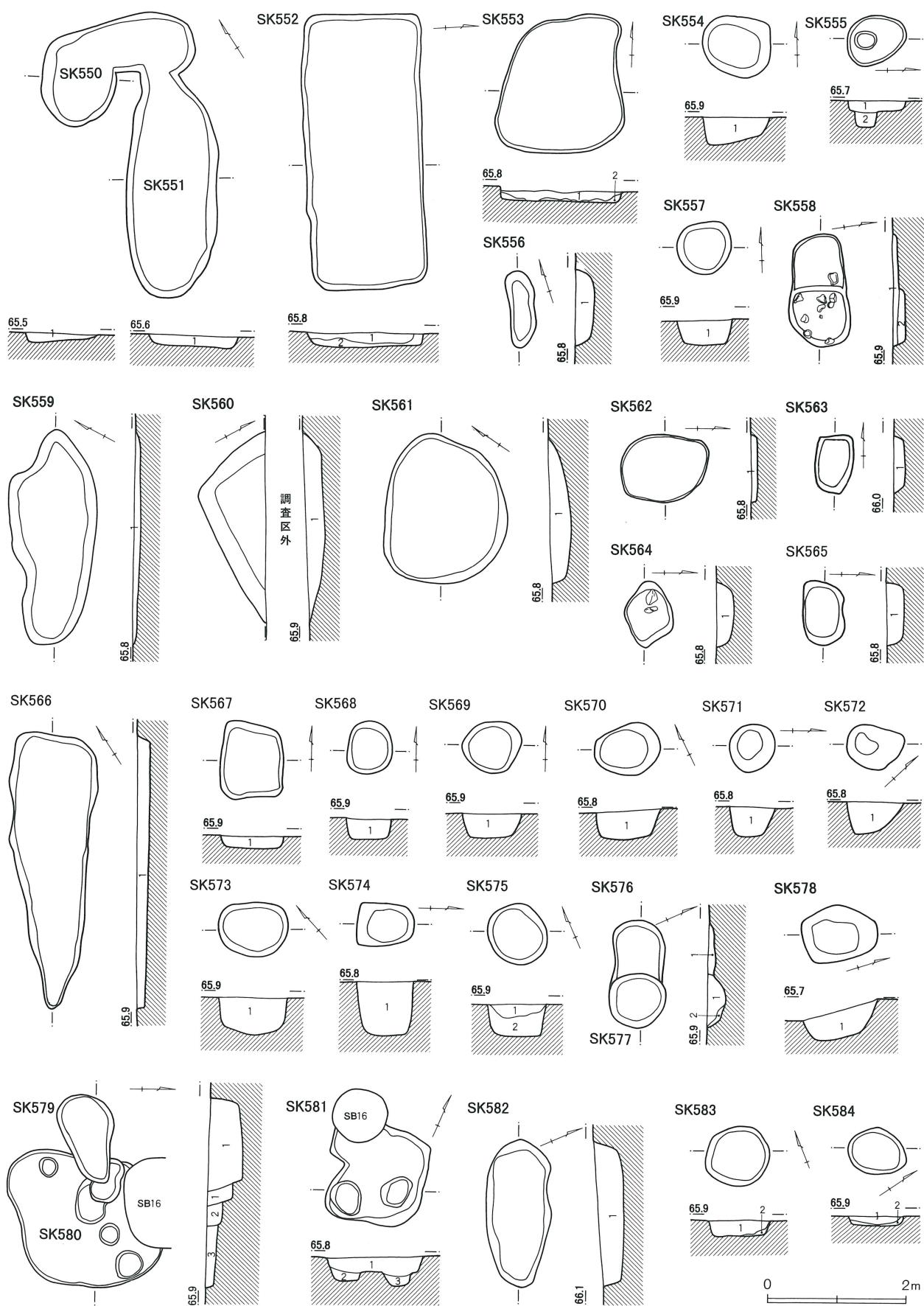
第517号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭を少量含み、B軽石を含む	第527号土壌	1 暗灰褐色土 砂利主体 焼土を微量含む 2 暗褐色土 暗褐色土を少量含み、砂を多量に含む 3 暗褐色土 河原石を多量に含む 砂質
第518号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含み B軽石を少量含む	第528号土壌	1 暗黄褐色土 焼土を少量含み、砂利を多量に含む
第519号土壌	1 褐色土 焼土、炭化物を微量含み B軽石を多量に含む 2 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含み B軽石を少量含む	第529号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭を微量含み、B軽石を含む
第520号土壌	1 暗黄褐色土 焼土を微量含み、B軽石、砂利、河原石を多量に含む	第530号土壌	1 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭を少量含む 2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む 3 暗黄褐色土 炭化粒子を微量、白色粒子を少量含む
第521号土壌	1 暗灰褐色土 地山よりやや暗い 砂質(砂利層)	第531号土壌	1 暗灰褐色土 砂利主体 暗褐色粘土を少量含む
第523号土壌	1 暗褐色土 焼土、小石を多量、炭を少量含む 砂質 2 暗褐色土 砂質 3 暗褐色土 焼土、炭を少量含む 4 暗褐色土 焼土、炭を層状に含む 砂質 5 暗灰褐色土 砂利主体 焼土を少量含む 6 暗灰褐色土 5層よりもやや明るく 暗褐色土を少量含む	第532号土壌	1 暗黄褐色土 烧土粒子を少量含み、砂を多量に含む 地山よりやや暗い 粘性あり
第524号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む 粘性あり 2 赤褐色土 粘土層	第533号土壌	1 暗灰褐色土 焼土を微量含み、砂を多量に含む
第525号土壌	1 暗褐色土 炭を多量に含む 粘性あり 2 黒褐色土 焼土を少量、炭を多量に含む 粘性あり 3 暗褐色土 焼土を多量、炭を少量含む 粘性あり 4 暗灰褐色土 烧土、暗褐色土を少量含む 5 暗褐色土 烧土を少量含み、河原石を多量に含む 粘性あり(砂利層) 6 暗灰褐色土 地山よりやや明るく 暗褐色土を少量含む(砂利層)	第534号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭、砂利、小石を多量に含む 2 暗黄褐色土 烧土粒子を少量含み、砂利、小石を多量に含み、河原石を微量含む 3 暗黄褐色土 烧土粒子を少量含み、炭を多量に含む 4 暗黄褐色土 烧土を微量含み、烧土粒子を少量含む 5 暗黄褐色土 烧土、炭、砂利を少量含む 粘性あり
第526号土壌	1 暗灰褐色土 砂利主体 焼土を微量含む 2 暗黄褐色土 暗褐色土を少量含み、砂を多量に含む 粘性あり 3 暗褐色土 河原石を多量に含む 砂質	第535号土壌	1 暗黄褐色土 白色粒子を含む
		第536号土壌	1 暗褐色土 焼土を微量含む 粘性あり
		第537号土壌	1 暗褐色土 焼土、炭を微量含み、礫を多量に含む



第555表 土壌 (20) 出土土錐観察表 (1)

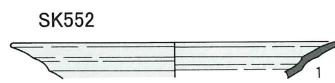
番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
1	橙	90		1.5	0.5	8.0	C 1	I b	255	SK 629
2	黄 橙	70		1.3	0.3	6.0	C 1	II a	256	SK 629
2	黄 橙	100	5.3	1.4	0.6	14.0	C 1	I a	258	SK 631
3	にぶい 橙	100	4.2	1.3	0.4	5.6	C 1	I c	257	SK 629
3	黄 橙	100	5.3	1.8	0.4	13.9	C 1	I a	259	SK 631
4	黄 橙	100	5.4	1.7	0.4	13.2	C 1	I a	260	SK 631
5	橙	100	5.4	1.7	0.6	13.2	C 1	I a	261	SK 631
6	黄 橙	100	5.4	1.6	0.4	12.5	C 1	I a	262	SK 631
7	にぶい 褐	90	5.5	1.6	0.3	11.3	C 1	I b	263	SK 631
8	橙	100	5.4	1.5	0.3	11.6	C 1	I a	264	SK 631
9	にぶい 橙	100	5.2	1.6	0.5	11.4	C 1	I a	265	SK 631
10	橙	100	4.1	1.7	0.3	11.0	C 1	I a	266	SK 631
11	橙	100	5.2	1.7	0.6	10.3	C 1	I a	267	SK 631
12	にぶい 褐	100	5.2	1.2	0.5	11.5	C 1	I a	268	SK 631
13	にぶい 橙	100	5.2	1.7	0.4	10.7	C 1	I a	269	SK 631
14	橙	100	5.2	1.6	0.4	10.3	C 1	I b	270	SK 631

第714図 土壌 (18)

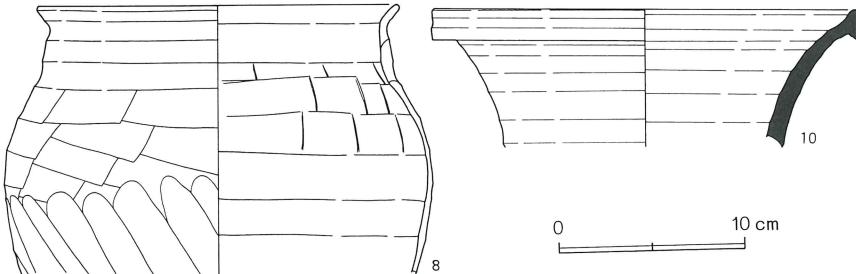
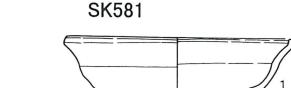
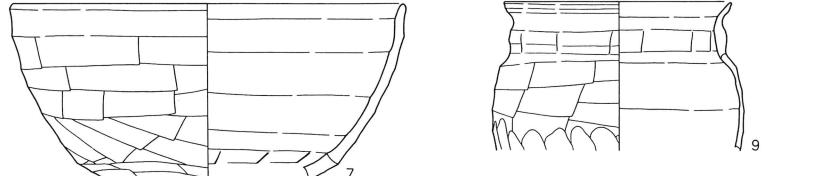
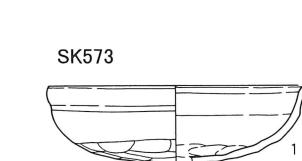
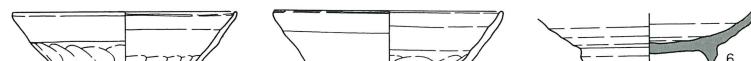
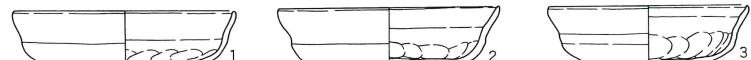


第715図 土壌 (18) 出土遺物

第550号土壌 1 黒褐色土 白色粒子を含む	第563号土壌 1 暗褐色土 地山よりやや暗い 焼土を微量含む 砂質	第576号土壌 1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含み、砂利を微量含む
第551号土壌 1 黒褐色土 白色粒子を含む	第564号土壌 1 暗褐色土 焼土を少量含む	第577号土壌 1 暗褐色土 焼土を少量含み、炭を多量に含み、砂利を微量含む
第552号土壌 1 暗灰褐色土 焼土、B軽石を多量に含む 2 暗褐色土 炭を微量含み、白色粒子を多量に含む	第565号土壌 1 暗褐色土 B軽石を少量含み、砂を多量に含む	第578号土壌 1 暗褐色土 炭、焼土を少量含み、石、砂を多量に含む
第553号土壌 1 暗褐色土 焼土、B軽石を多量に含む 2 暗黄褐色土 炭を微量含み、白色粒子を多量に含む	第566号土壌 1 暗褐色土 砂質 暗灰褐色土を含む	第579号土壌 1 暗黄褐色土 烧土粒子、炭を微量含み、白色粒子を多量に含む
第554号土壌 1 暗灰褐色土 砂利、河原石を多量に含む	第567号土壌 1 暗褐色土 烧土を微量含む 砂質	第580号土壌 1 暗褐色土 炭を少量含み、白色粒子を多量に含む 粘性あり 2 暗褐色土 烧土、炭、砂利を多量に含む 3 灰褐色土 砂利、礫主体
第555号土壌 1 暗褐色土 烧土、B軽石を多量に含む 2 暗黄褐色土 烧土、炭を少量含む	第568号土壌 1 暗褐色土 砂、河原石主体 烧土、炭を微量に含む	第581号土壌 1 暗褐色土 烧土を微量含む 砂質 2 暗褐色土 烧土を少量含む 3 灰褐色土 砂を多量に含む
第556号土壌 1 暗灰褐色土 B軽石を少量含み、砂を多量に含む	第570号土壌 1 暗褐色土 B軽石を少量含み、砂を多量に含む	第582号土壌 1 暗褐色土 砂質 暗灰褐色土を含む
第557号土壌 1 暗褐色土 烧土を少量含む 粘性あり	第571号土壌 1 黑褐色土 烧土、B軽石を少量含む	第583号土壌 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含み、砂利、河原石を微量含む 2 暗褐色土 烧土、炭を微量含み、砂利を多量に含む
第558号土壌 1 暗褐色土 烧土を少量含み、砂利を多量に含む 2 暗灰褐色土 砂利主体	第572号土壌 1 暗褐色土 烧土を少量含む 砂質	第584号土壌 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含み、砂を微量含む 2 暗褐色土 砂利を微量含む
第559号土壌 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含む	第573号土壌 1 暗褐色土 砂質 粘性あり	
第560号土壌 1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質	第574号土壌 1 暗褐色土 烧土を微量含み、暗灰褐色土を部分的に少量含む 砂質 粘性あり	
第561号土壌 1 暗褐色土 烧土を少量含み、河原石、砂利を多量に含む 粘性あり	第575号土壌 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含み、砂利、河原石を微量含む 2 灰褐色土 砂利、礫主体 烧土、炭を微量含む	
第562号土壌 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含む		



SK553



は、灰釉陶器の長頸壺である。

第619号土壌の1は、須恵器 (HS) の高台付碗で

ある。2は、須恵器 (S) の蓋である。3は、綠釉陶

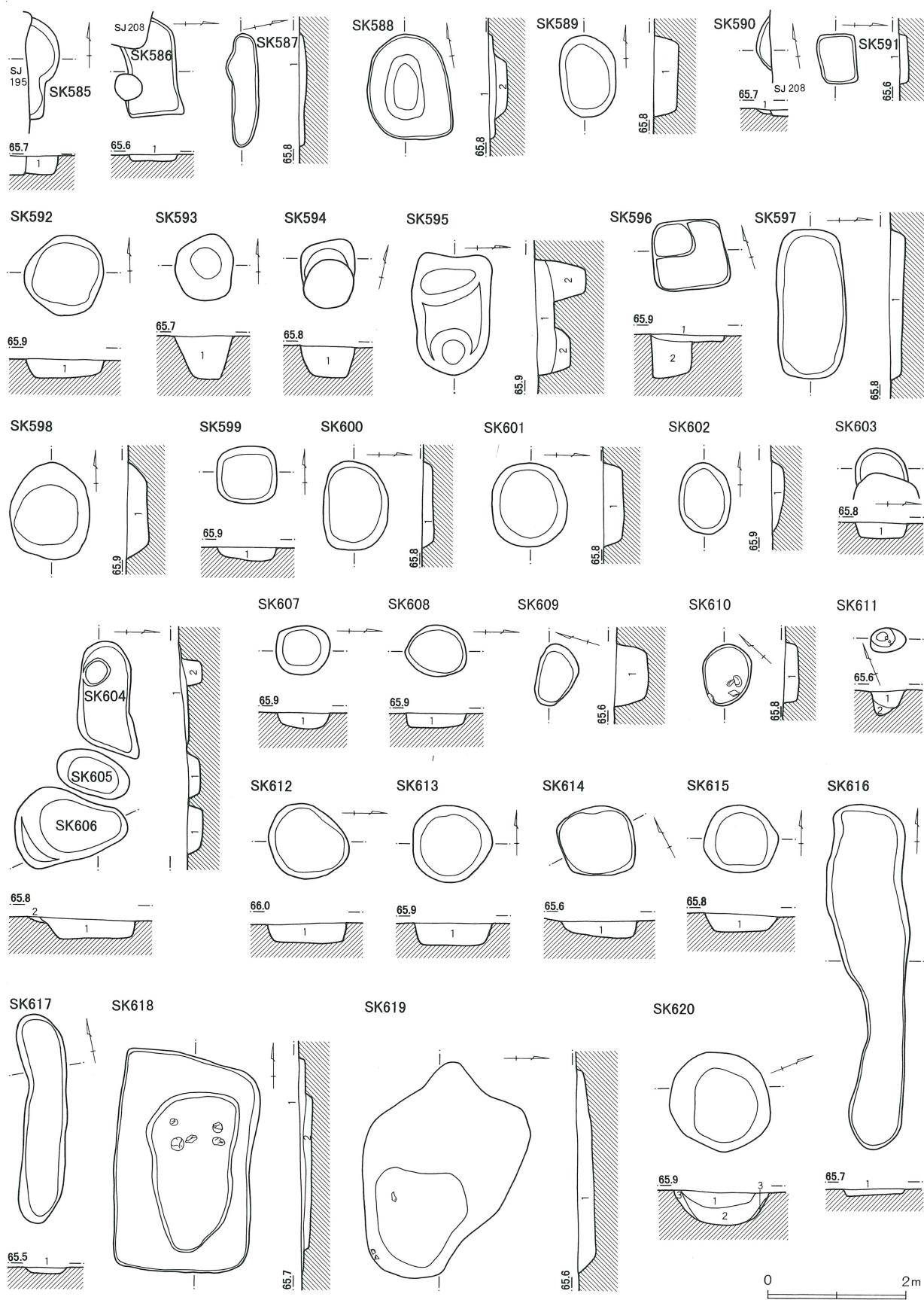
器の陰刻花文高台付碗である。

第620号土壌の1は、土師器の壺Cである。

第648号土壌遺物出土状況 (第721図)

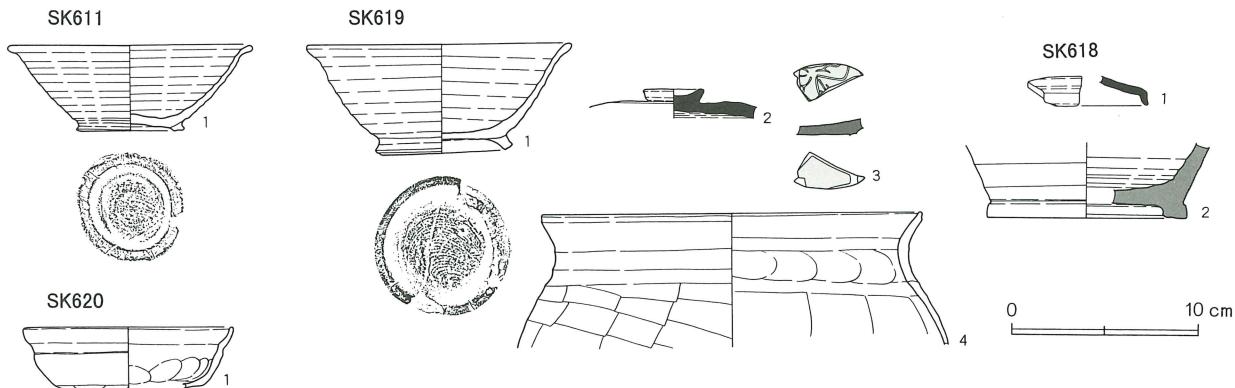
Q-23グリッドで確認された。第219号住居跡、第

第716図 土壤 (19)



第717図 土壌 (19) 出土遺物

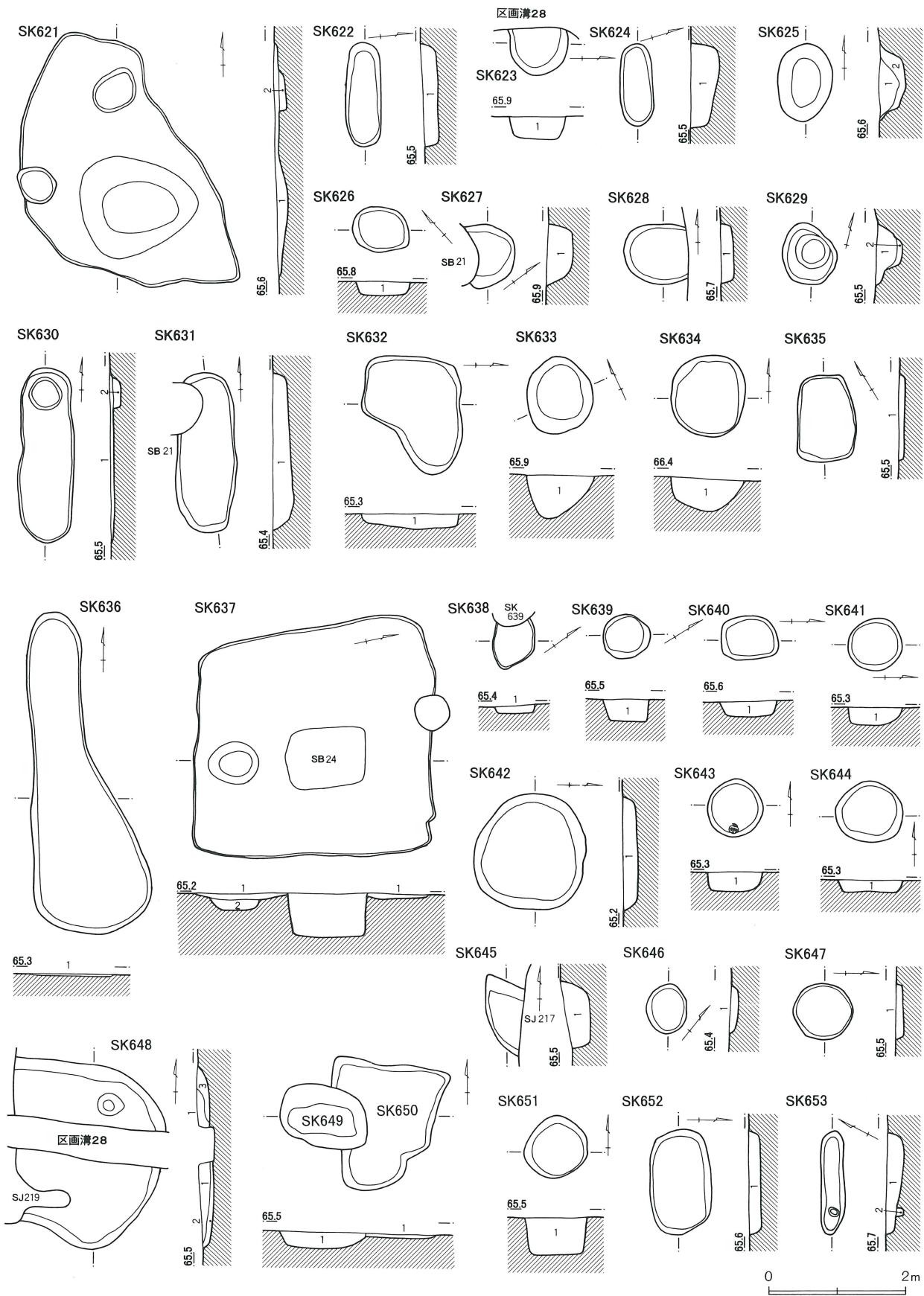
- 第585号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭を微量含む
- 第586号土壌
1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む
- 第587号土壌
1 暗褐色土 烧土を少量含む 砂質
- 第588号土壌
1 暗褐色土 烧土、炭を少量含む
2 暗褐色土 白色粒子を含む
- 第589号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む
- 第590号土壌
1 暗褐色土 烧土、B軽石を少量含む
- 第591号土壌
1 暗黄褐色土 地山よりやや暗い
- 第592号土壌
1 暗褐色土 烧土を少量含み、砂利、河原石を多量に含む 底面付近ほど砂質
- 第593号土壌
1 暗黄褐色土 砂を多量に含む
- 第594号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 粘性あり
- 第595号土壌
1 暗褐色土 砂利主体
2 暗褐色土 砂を多量に含み、暗灰褐色土を少量含む
- 第596号土壌
1 暗褐色土 烧土を多量に含み、炭を微量含む
2 暗褐色土 烧土を微量含む
- 第597号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質
- 第598号土壌
1 黒褐色土 砂利を多量に含む
- 第599号土壌
1 暗褐色土 烧土を多量に含み炭、石を微量含む 砂質
- 第600号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質
- 第601号土壌
1 暗褐色土 烧土を多量に含み、炭を微量含む 底面にコブシより1回り大きい石が見られる
- 第602号土壌
1 暗褐色土 烧土、B軽石を少量含む
- 第603号土壌
1 暗褐色土 烧土、炭を少量含む 粘性あり
- 第604号土壌
1 暗褐色土 烧土を多量に含み、炭、暗灰褐色ブロックを少量含む
2 暗灰褐色土 砂を少量含む 粘性あり
- 第605号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を少量含む 下層は暗褐色ブロックを含む 粘性あり
- 第606号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を少量含む 下層は暗褐色ブロックを含む 粘性あり
2 暗灰褐色土 砂を少量含む 粘性あり
- 第607号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む
- 第608号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を微量含み、砂利を多量に含む
- 第609号土壌
1 暗褐色土 烧土を少量含む 粘性あり
- 第610号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を微量に含み、砂利を多量に含む
- 第611号土壌
1 暗褐色土 烧土を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 烧土を微量含む
- 第612号土壌
1 暗灰褐色土 砂利を多量に含む
- 第613号土壌
1 暗褐色土 烧土を少量含み、砂、小石を多量に含む
- 第614号土壌
1 暗褐色土 烧土を微量含む 砂質 粘性あり
- 第615号土壌
1 暗褐色土 砂利主体 中間に暗黄褐色土、粘土がサンディッシュ状に入る
- 第616号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を微量含み、白色粒子を多量に含む 砂質
- 第617号土壌
1 暗黄褐色土 烧土を少量含み、白色粒子を多量に含む 砂質
- 第618号土壌
1 暗褐色土 烧土、B軽石を少量含む
2 暗褐色土 烧土、白色粒子を微量含む
- 第619号土壌
1 暗褐色土 烧土を微量含む 砂質
- 第620号土壌
1 暗褐色土 烧土を多量に含み、B軽石、小石を少量含む 砂質
2 暗褐色土 烧土を多量に含む 1層よりもやや黄色味を帯び 粘性あり
3 暗黄褐色土 烧土を微量含み、白色粒子を多量に含む 砂質



第556表 土壌 (20) 出土土錐観察表 (2)

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
1	にぶい 橙	100	3.8	0.8	0.4	2.3	C 3	I b	713	SK 634
2	にぶい 橙	100	3.9	0.9	0.3	2.4	C 2	I b	576	SK 634
3	にぶい 褐	100	3.1	0.8	0.3	1.4	C 3	I c	714	SK 634
4	にぶい 褐	60		0.7	0.3	1.3	C 2	II a	577	SK 634
15	橙	100	5.0	1.5	0.5	10.4	C 1	I b	271	SK 631
16	黄 橙	100	5.0	1.7	0.6	10.5	C 1	I a	272	SK 631
17	橙	100	4.8	1.6	0.5	8.8	C 1	I a	273	SK 631
18	橙	100	4.8	1.7	0.4	9.6	C 1	I b	274	SK 631
19	橙	80		1.5	0.5	8.4	C 1	II a	275	SK 631
20	橙	60	4.4	1.6	0.5	10.2	C 1	II a	276	SK 631
21	にぶい 橙	100	4.2	1.6	0.4	8.5	C 1	I a	277	SK 631
22	橙	100	4.4	1.1	0.5	4.8	C 2	I a	572	SK 631
23	にぶい 橙	100	3.8	1.2	0.5	4.4	C 2	I b	573	SK 631
24	にぶい 橙	100	4.1	1.1	0.4	4.4	C 2	I a	574	SK 631
25	橙	100	4.2	1.1	0.5	4.3	C 2	I a	575	SK 631

第718図 土壌 (20)



第719図 土壌 (20) 出土遺物 (1)

第621号土壤
1 暗褐色土 暗灰褐色土を少量含み、砂利を多量に含む
2 黒褐色土 砂利を多量に含む

第622号土壤
1 暗褐色土 焼土を多量に含み、暗灰褐色土を少量含む
粘性あり

第623号土壤
1 暗褐色土 砂、小石を多量に含み、暗灰褐色土を少量含む

第624号土壤
1 暗褐色土 B軽石を少量含み、砂を多量に含む

第625号土壤
1 暗灰褐色土 砂利主体 粘性あり
2 暗黄褐色土 1層より多く河原石を多量に含む

第626号土壤
1 暗褐色土 B軽石を少量含む

第627号土壤
1 暗褐色土 砂、小石を多量に含み、暗灰褐色土を少量含む

第628号土壤
1 暗褐色土 砂質

第629号土壤
1 暗褐褐色土 焼土を多量に含み、砂を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む 砂質

第630号土壤
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む
2 暗褐色土 B軽石、砂を少量含む

第631号土壤
1 暗褐色土 焼土、炭を微量含み、暗黄褐色土、砂を少量含む

第632号土壤
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第633号土壤
1 暗褐色土 小石を多量に含み、焼土を微量含む

第634号土壤
1 暗黄褐色土 白色粒子を含む

第635号土壤
1 暗褐色土 烧土を多量に含む

第636号土壤
1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む

第637号土壤
1 暗褐色土 烧土を少量含む
2 暗褐色土 砂利を多量に含む

第638号土壤
1 暗黄褐色土 烧土を少量含み、白色粒子を多量に含む

第639号土壤
1 暗褐色土 烧土、炭を少量含み、白色粒子を多量に含む 砂質 粘性あり

第640号土壤
1 暗褐色土 烧土、砂、小石を少量含む

第641号土壤
1 暗黄褐色土 烧土を少量含み、白色粒子を多量に含む 砂質

第642号土壤
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第643号土壤
1 暗黄褐色土 白色粒子を含む

第644号土壤
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第645号土壤
1 暗褐色土 砂利主体 烧土を少量含み、炭化物を微量含み、暗灰褐色土をブロック状に含む

第646号土壤
1 暗褐色土 烧土を少量含み、底面付近に小豆色の粒子を多量に含む

第647号土壤
1 暗黄褐色土 烧土を微量含み、白色粒子を多量に含む 砂質

第648号土壤
1 暗褐色土 烧土、砂を多量に含み、炭を少量含む
2 暗褐色土 烧土を微量含む 粘性あり
3 暗黄褐色土 小石を少量含み、白色粒子を多量に含む

第649号土壤
1 暗褐色土 烧土、砂を多量に含む

第650号土壤
1 暗褐色土 砂利主体

第651号土壤
1 暗褐色土 烧土を微量含み、炭を微量含む 砂質

第652号土壤
1 暗褐色土 白色粒子を含む 粘性あり

第653号土壤
1 暗褐色土 砂質
2 暗褐色土 烧土を多量に含む 砂質

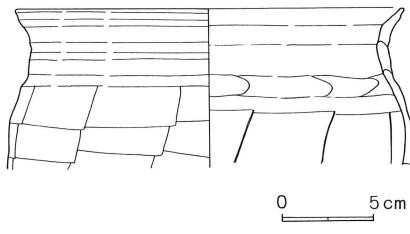
SK622



SK631



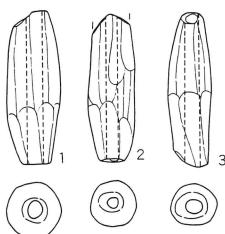
SK632



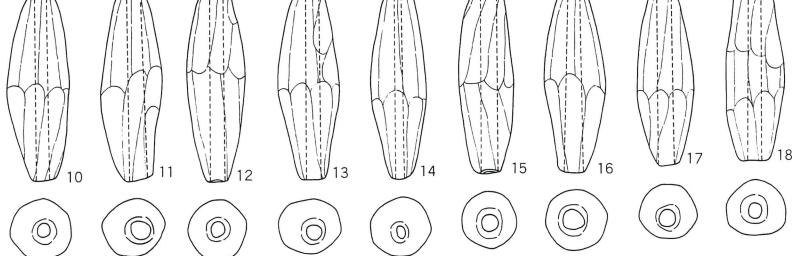
SK631



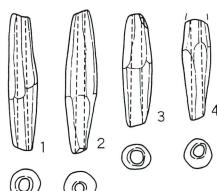
SK629



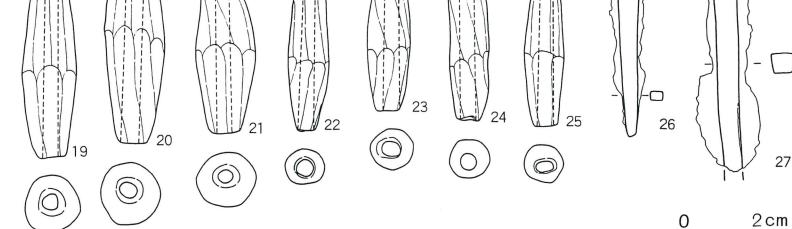
SK630



SK634

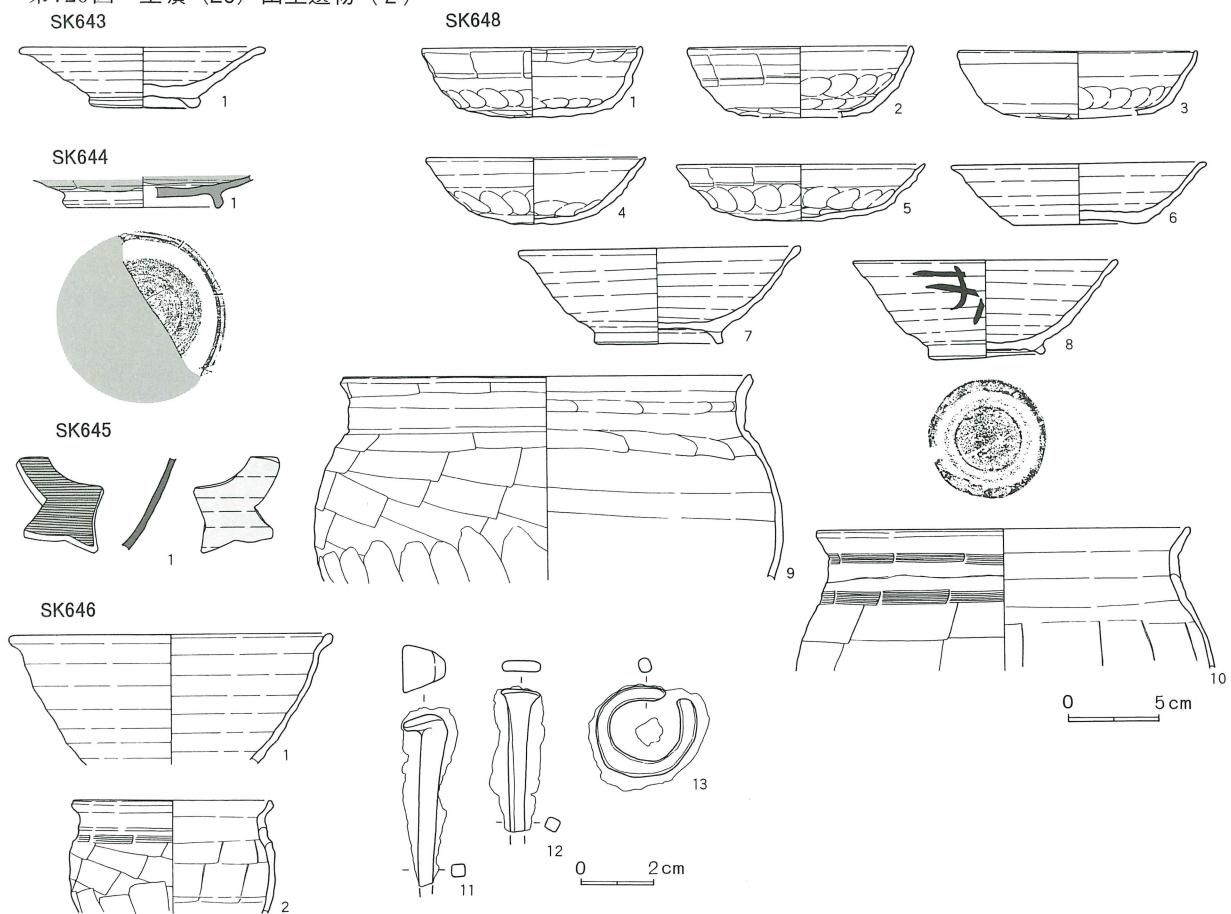


SK635



0 2cm

第720図 土壙(20)出土遺物(2)



28号区画溝との重複により不明な点が多い。

推定される形状は橢円または長方形で、やや浅い。

北西コーナー付近から浅い円形の掘り込みが検出された。底面は舟底状である。

覆土は3層で、第1層には焼土を多量に含む。

遺物は、覆土中、および底面から出土した。土師器壺、須恵器壺などの供膳具のほかに、土師器甕(9・10)が2点出土している。破片が多く、投棄されたものと思われる。時期は中堀V期で、第29号区画溝を境に、南側には大形の第223号住居跡を中心とした竪穴住居群が形成される時期である。

土壙(20)の出土遺物(第719図・第720図)

第622号土壙の1は、須恵器(HS)の蓋である。

第629号土壙の1から3は、土錘である。

第631号土壙の1は、須恵器(S)の蓋である。2

から25は、土錘である。26は釘、27は棒状鉄製品である。

第632号土壙の1は、土師器の甕である。

第634号土壙の1から4は、土錘である。

第643号土壙の1は、須恵器(HS)の高台付皿である。

第644号土壙の1は、灰釉陶器の高台付皿である。

第645号土壙の1は、綠釉陶器の高台付碗である。

第646号土壙の1は、須恵器(HS)の高台付碗である。2は、土師器の甕である。

第648号土壙の1から5は、土師器の壺である。1・2は、壺AVである。3は、壺AVである。4・5は、壺AVIである。

6は、須恵器(HS)の碗である。7・8は、須恵器(NS)の高台付碗である。9・10は、土師器の甕である。11・12は、釘である。13は、環状鉄製品である。

土壙（21）の出土遺物（第721図）

第657号土壙の1は、延板状鉄製品である。

第665号土壙の1は、鉸具の破片と考えられる。

第668号土壙の1は、土師器の壺A VIである。2は、棒状鉄製品である。

第670号土壙の1は、土師器の壺Cである。2は、土錘である。

第671号土壙の1は、灰釉陶器の高台付椀である。2は、土錘である。

第672号土壙の1は、須恵器（HS）の高台付椀である。

第679号土壙の1は、須恵器（HS）の椀である。

第686号土壙の1は、黒色土器の椀である。

第688号土壙の1は、須恵器（HS）の椀である。2は、灰釉陶器の高台付椀である。3は、土錘である。

第711号土壙の1は、須恵器（NS）の椀である。2は、須恵器（HS）の椀である。

土壙群について

重複の激しい土壙については、土壙群として扱い、

土壙群内の個々の土壙をアルファベットの大文字で表記した。

第1 土壙群（第725図）

I - 15・16・J - 15・16グリッドで確認された。

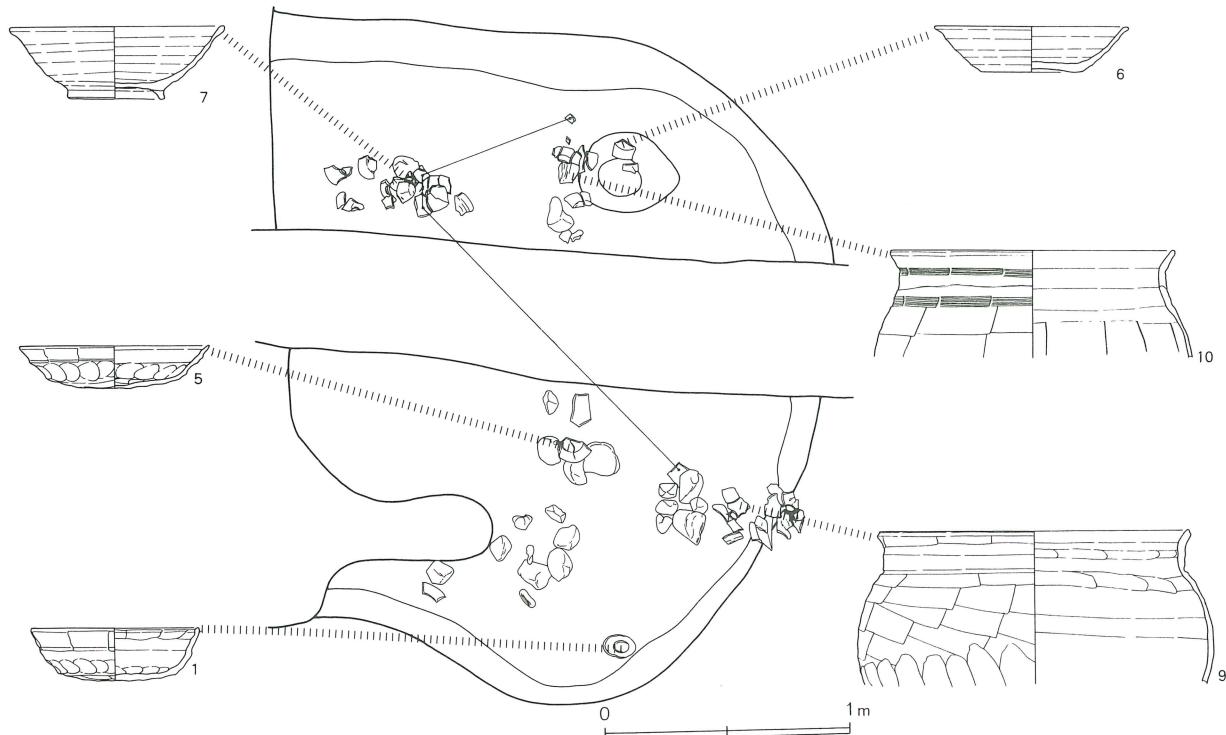
第40号掘立柱建物跡の西側に位置する。遺構が非常に密に分布しており、確認作業は困難を極めた。土壙は全部で21基検出され、そのうち2基（第719・720号土壙）からは大甕が出土した。（第IV章3-(10) 大甕出土の土壙参照）

土壙の長軸方向は、西に10°～15°振れるG～M土壙と、ほぼ真北方向をとるA・B・E・N・O・P・R・719・720号土壙、東に約90°振れるC・D・F・S土壙の3者がみられる。

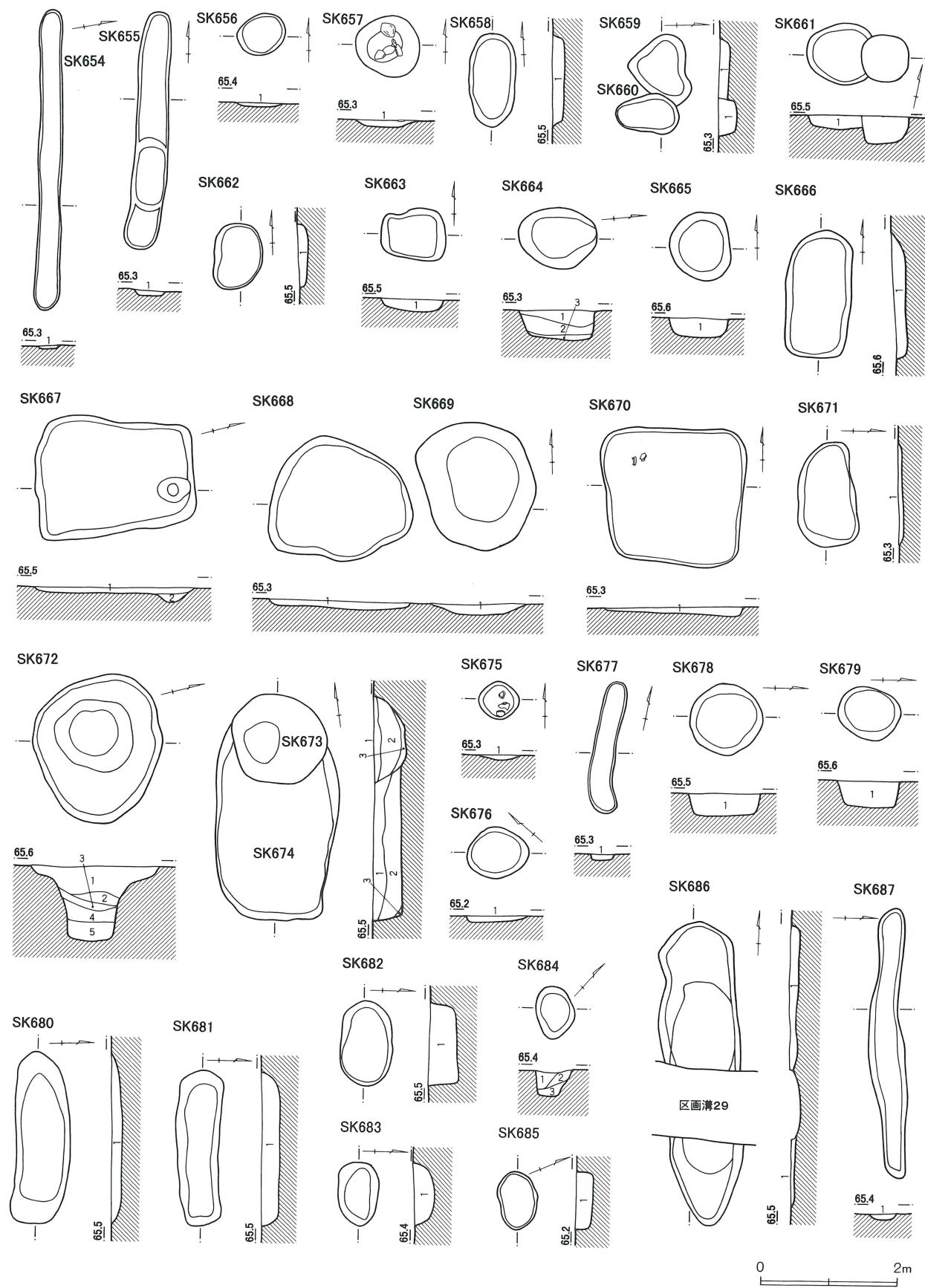
第1土壙群の時期は、中堀V～VI期で、第155・161・163号住居跡および、南側の第23・24号区画溝、西側の第40号掘立柱建物跡が同時期である。

遺物は、各土壙から土師器、須恵器、灰釉陶器の食膳具類を中心に多量に出土しているが、時期差はあまりみられないことから、これらの土壙は短期間に次々

第721図 第648号土壙遺物出土状態



第722図 土壌 (21)



第723図 土壌 (21・22) 出土遺物

第654号土壤
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む

第655号土壤
1 暗褐色土 焼土を微量含む砂質

第656号土壤
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む

第657号土壤
1 暗褐色土 焼土、B軽石を少量含む

第658号土壤
1 黒褐色土 砂主体

第659号土壤
1 暗褐色土 焼土を少量含み、砂を多量に含む

第660号土壤
1 暗褐色土 焼土を少量含み、砂を多量に含む

第661号土壤
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質

第662号土壤
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質

第663号土壤
1 暗黄褐色土 砂利を多量に含む 砂質

第664号土壤
1 暗黄褐色土 焼土、砂、白色粒子を多量に含む
2 暗褐色土 炭を微量含み、暗黄褐色土を少量含む 粘性あり
3 暗灰褐色土 砂主体 粘性あり

第665号土壤
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質

第666号土壤
1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含み、砂を少量含む

第667号土壤
1 黒褐色土 焼土を少量含み、砂利を多量に含む
2 暗褐色土 砂利主体

第668号土壤

1 暗褐色土 焼土、炭化物を多量に含む 粘性あり

第669号土壤
1 茶褐色土 焼土、炭化物を微量含む 粘性あり

第670号土壤
1 暗褐色土 焼土を少量含む 砂質

第671号土壤
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む

第672号土壤
1 黒褐色土 砂礫を多量に含む
2 黒褐色土 炭化物を多量に含む
3 黑褐色土 2層に類似 炭化物を少量含む

4 極暗褐色土 砂利を多量に含む
5 褐色土 砂礫を多量に含む

第673号土壤
1 極暗褐色土 砂礫を多量に含む
2 黒褐色土 焼土、砂礫を含む
3 黑褐色土 砂、礫を多量に含む

第674号土壤
1 暗褐色土 砂礫を多量に含む
2 極暗褐色土 砂礫を多量に含む
3 褐色土 砂礫を少量含む

第675号土壤
1 暗褐色土 焼土を少量含む

第676号土壤
1 暗褐色土 砂を少量含む

第677号土壤
1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含む

第678号土壤
1 暗褐色土 砂を多量に含む 粘性あり

第679号土壤
1 暗褐色土 烧土を微量、暗褐色土、砂利を少量含む

第680号土壤
1 暗褐色土 烧土を少量含み、礫を多量に含む 砂質

第681号土壤
1 暗褐色土 烧土を少量含み、砂を多量に含む

第682号土壤
1 暗灰褐色土 砂利、大形礫を多量に含む

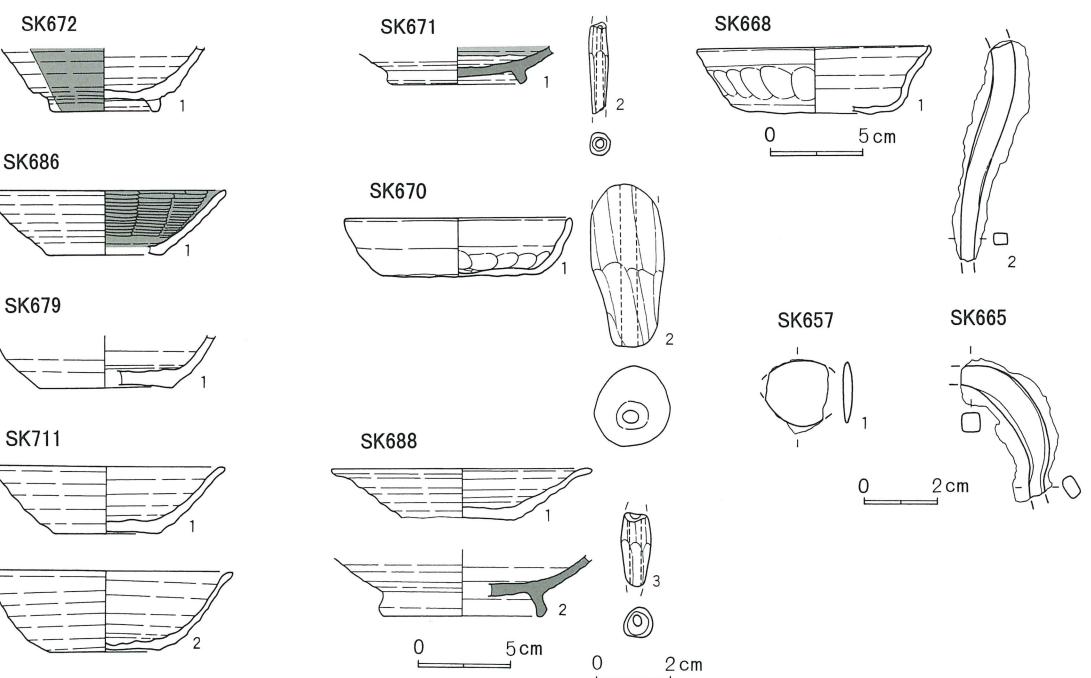
第683号土壤
1 暗褐色土 烧土を微量含み、砂利を少量含む

第684号土壤
1 暗褐色土 炭、砂を多量に含む
2 暗褐色土 烧土を微量含み、砂利を少量含む
3 暗黄褐色土 1-2層より粘性あり

第685号土壤
1 暗褐色土 白色粒子を含む

第686号土壤
1 暗褐色土 烧土を多量に含む

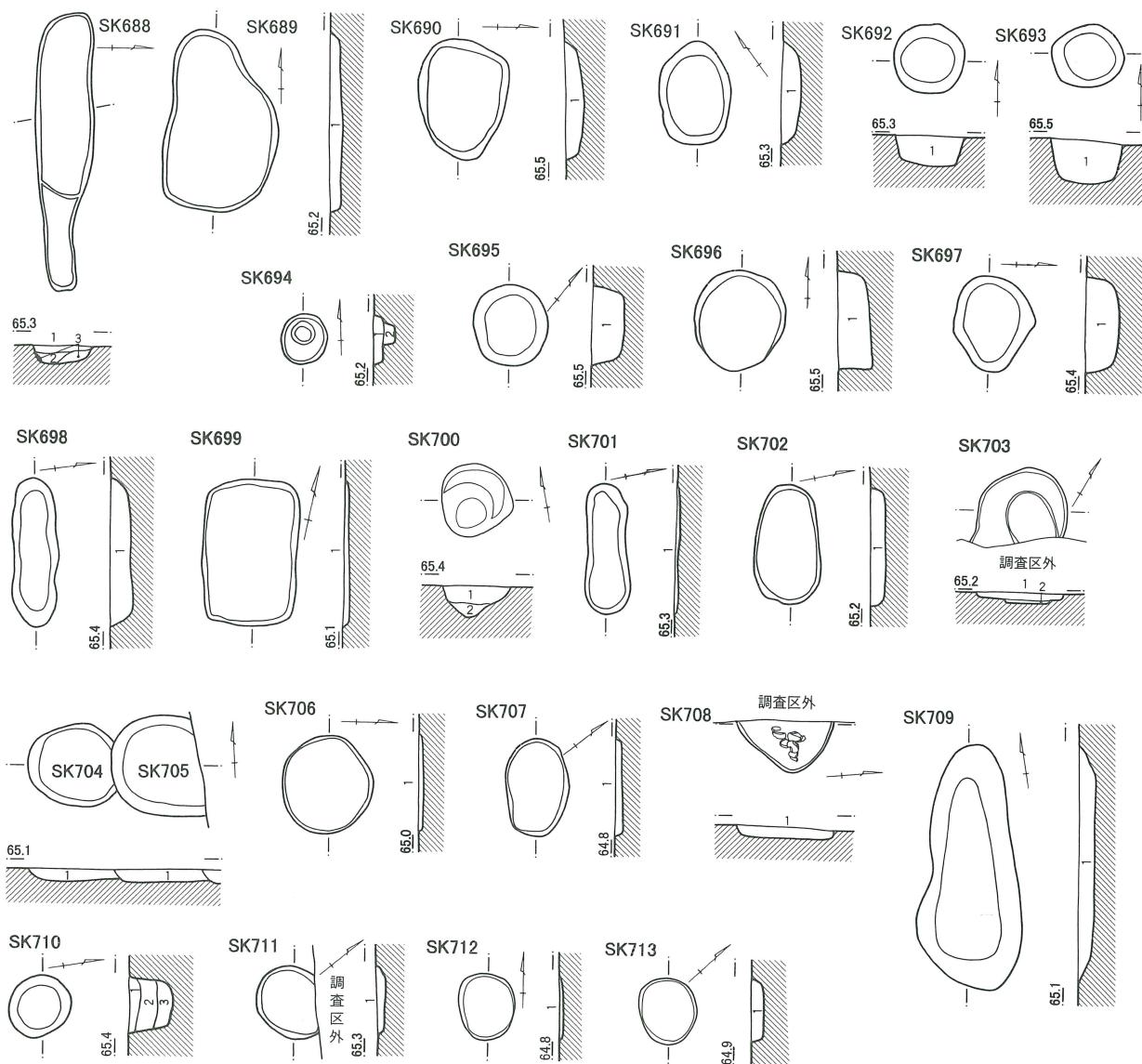
第687号土壤
1 黑褐色土 烧土、炭、B軽石を少量含む



第557表 土壌(21)出土土錐観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置 その他
2	にぶい 橙	60		2.1	0.4	15.5	B 1	II a	83	
2	にぶい 橙	70		0.4	0.3	0.7	C 3	II b	715	
3	橙	30		0.8	0.3	0.8	C 2	III b	578	

第724図 土壌 (22)



第688号土壤

- 1 暗褐色土 焼土、砂を少量含み、炭を微量含む
- 2 暗褐色土 粘性あり
- 3 暗黄褐色土 小豆色粒子を少量含み、暗褐色土をプロック状に少量含む

第689号土壤

- 1 暗褐色土 焼土を少量含む 粘性あり

第690号土壤

- 1 暗褐色土 焼土、白色粒子を少量、砂を多量に含む

第691号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、白色粒子を少量含む

第692号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第693号土壤

- 1 暗褐色土 砂を多量に含む 粘性あり
- 2 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む

第694号土壤

- 1 暗褐色土 烧土を少量含む 粘性あり
- 2 暗黄褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第695号土壤

- 1 暗褐色土 砂利主体 烧土を微量含む

第696号土壤

- 1 暗褐色土 砂利主体 烧土を微量含む

第697号土壤

- 1 暗褐色土 砂利主体 烧土を微量含む

第698号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第699号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第700号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第701号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第702号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第703号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第704号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第705号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第706号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第707号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第708号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第709号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第710号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第711号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第712号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第713号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第689号土壤

- 1 暗黄褐色土 烧土、炭を少量含む 砂質

第690号土壤

- 1 暗灰褐色土 砂利主体 部分的に暗褐色土を含む

第691号土壤

- 1 暗黄褐色土 白色粒子を含む

第700号土壤

- 1 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含み、砂、河原石を少

第701号土壤

- 2 暗灰褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第702号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を微量含む

第703号土壤

- 1 暗褐色土 粘土質

第704号土壤

- 1 暗褐色土 砂利主体 烧土を微量含む

第705号土壤

- 1 暗褐色土 砂利主体 烧土を微量含む

第706号土壤

- 1 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む

第707号土壤

- 1 暗褐色土 小豆色の粒子を多量に含む 粘性あり

第708号土壤

- 1 暗黄褐色土 白色粒子、大形礫を含む

第709号土壤

- 1 暗褐色土 砂利層

第710号土壤

- 1 暗褐色土 砂、河原石を少量含む 粘性あり

第711号土壤

- 2 暗黄褐色土 白色粒子を多量に含み、砂、河原石を少

第712号土壤

- 3 暗灰褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第713号土壤

- 1 暗褐色土 烧土、炭を少量含み、砂利を多量に含む

第714号土壤

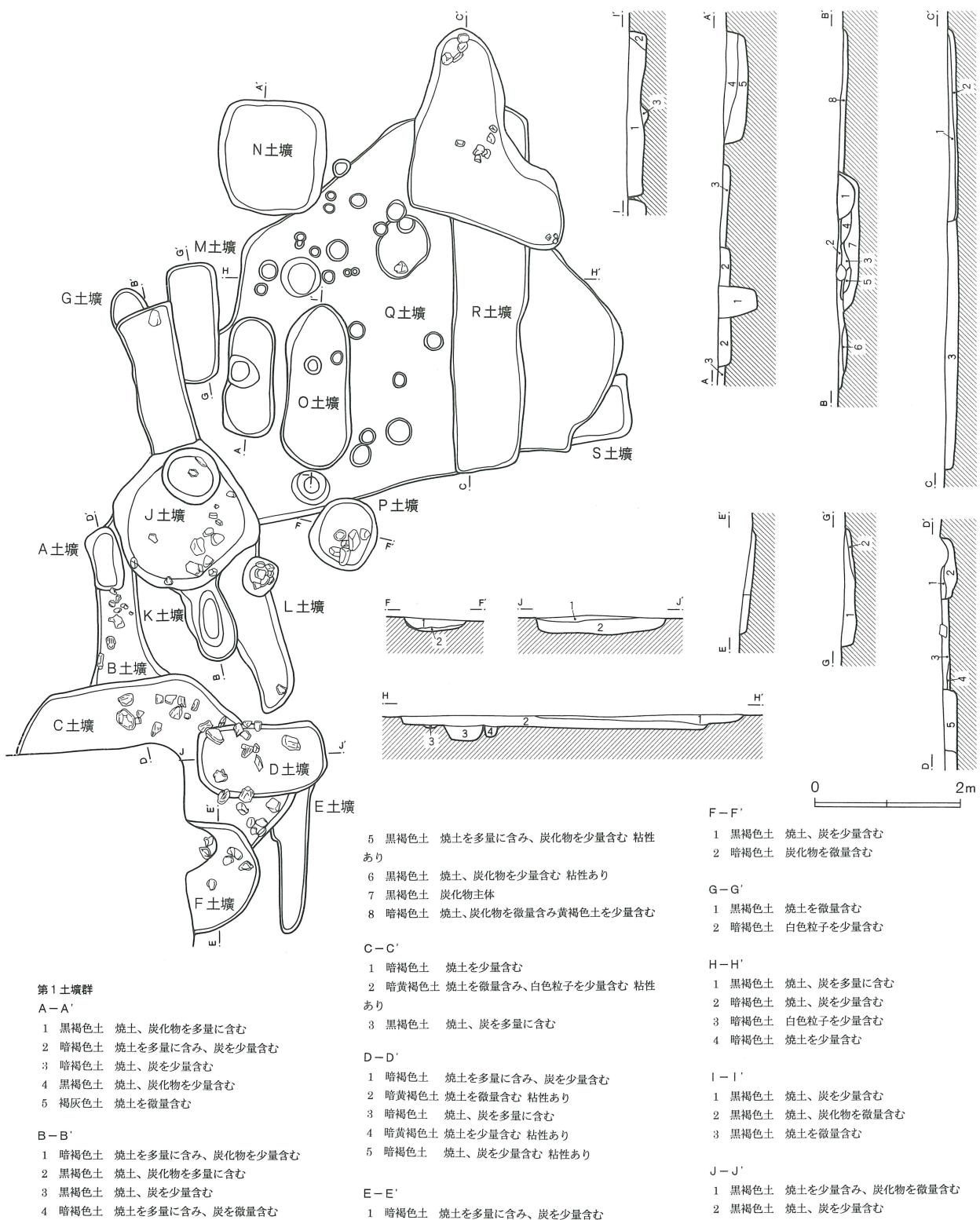
- 1 暗黄褐色土 白色粒子を含む

第715号土壤

- 1 暗褐色土 小豆色の粒子を多量に含む 粘性あり

0 2m

第725図 第1土壤群



第1土壤群

A - A'

- 1 黒褐色土 焼土、炭化物を多量に含む
- 2 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 4 黑褐色土 焼土、炭化物を少量含む
- 5 褐灰色土 焼土を微量含む

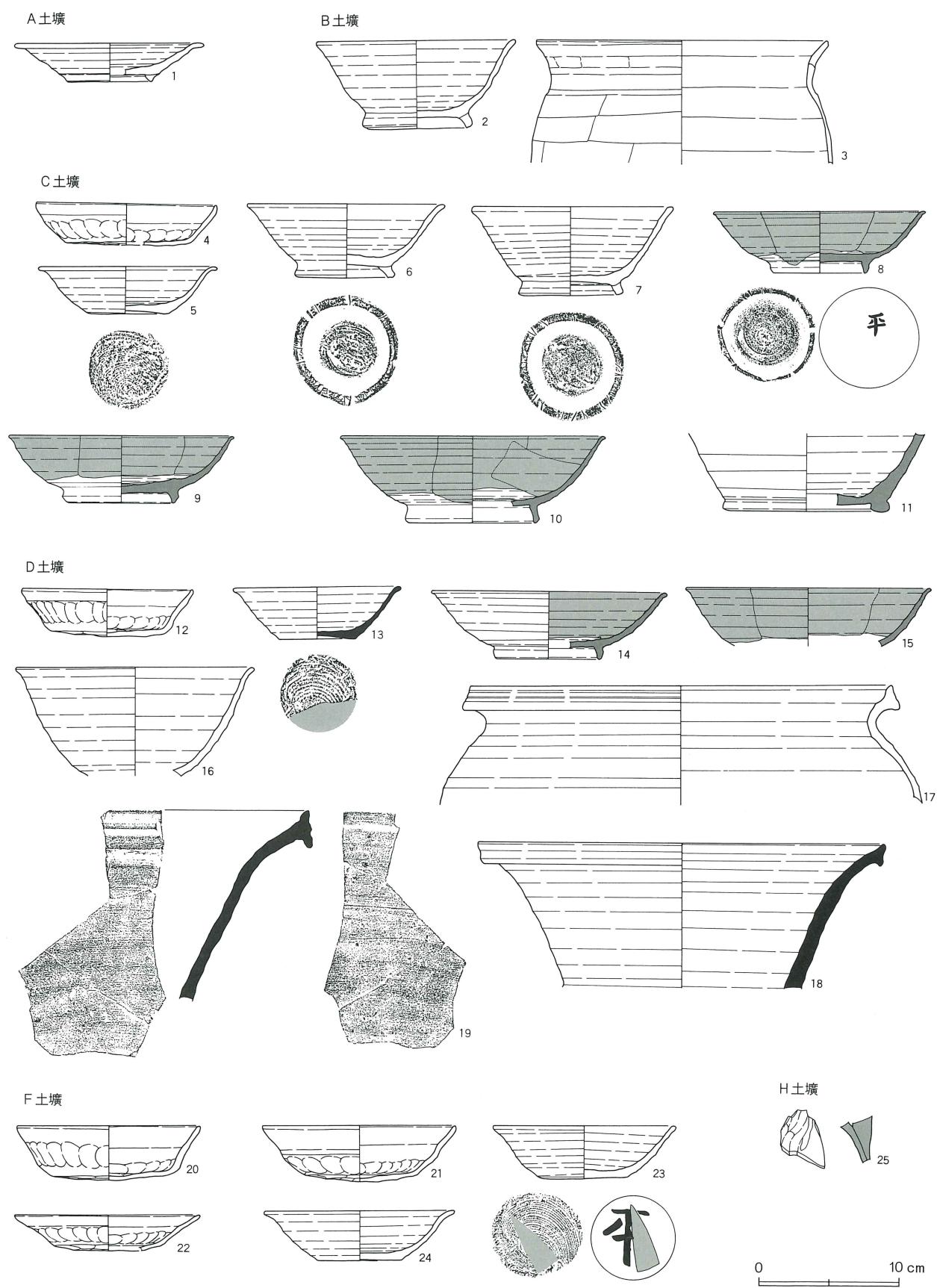
B - B'

- 1 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭化物を少量含む
- 2 黑褐色土 焼土、炭化物を多量に含む
- 3 黑褐色土 焼土、炭を少量含む
- 4 暗褐色土 焼土を多量に含み、炭を微量含む

第558表 第1土壤群出土土錐観察表

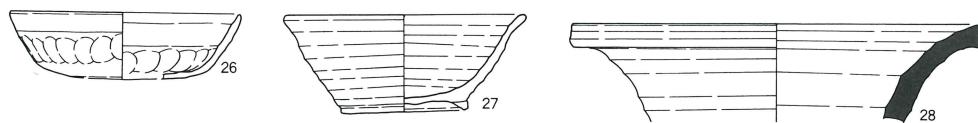
番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置 その他
39	褐	30		0.9	0.3	1.3	C 2	V b	579	SK - J
41	にぶい褐	90		1.7	0.5	12.5	C 1	I b	716	SK - M

第726図 第1土壤群出土遺物（1）

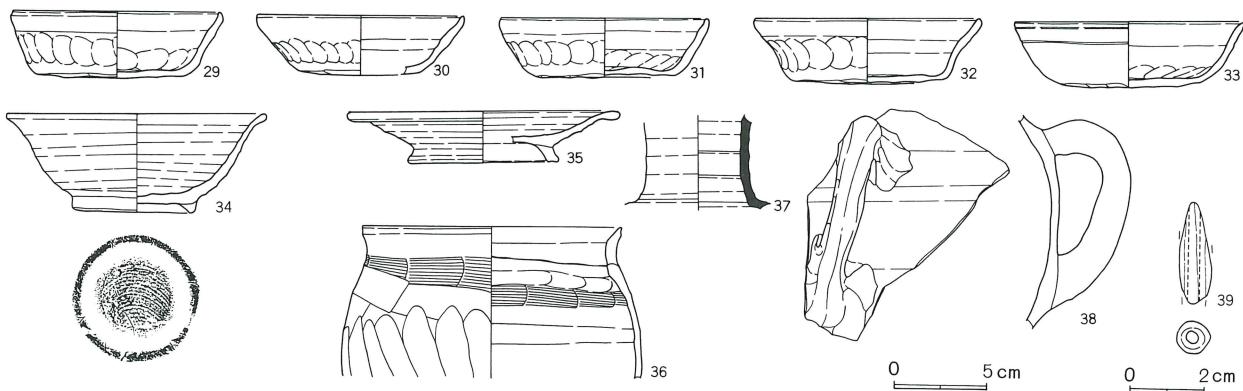


第727図 第1土壤群出土遺物（2）

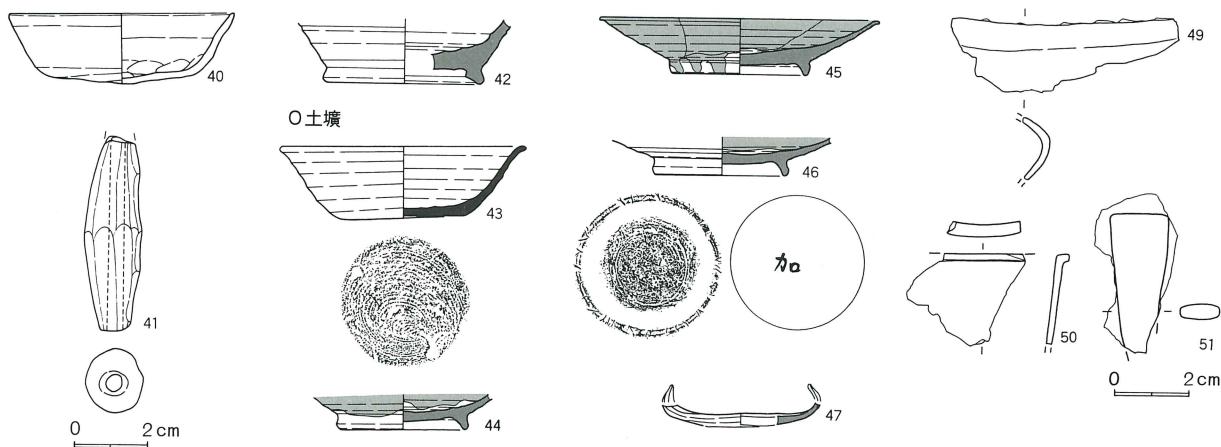
I 土壙



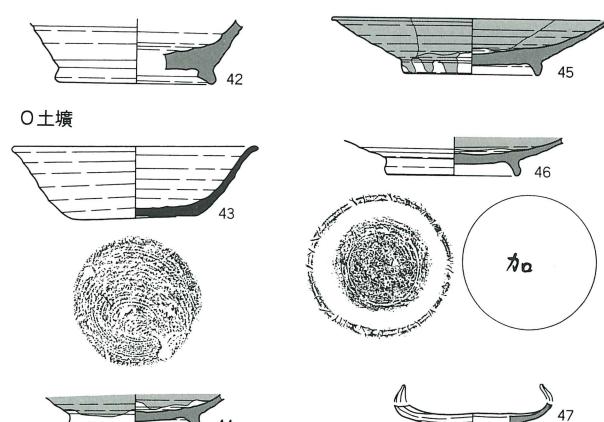
J 土壙



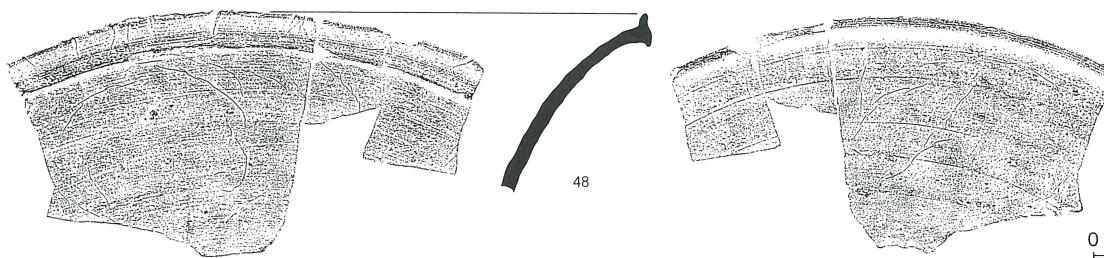
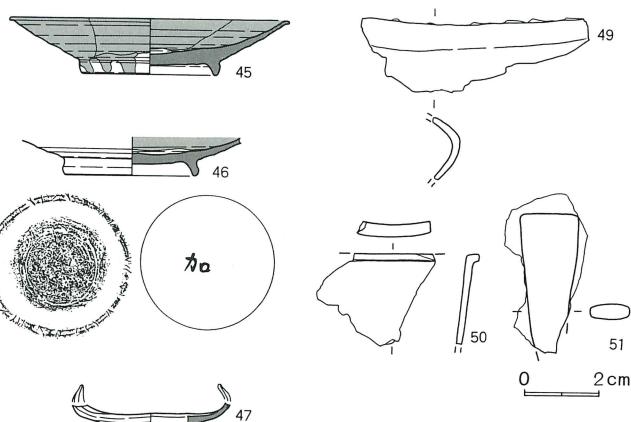
M 土壙



N 土壙



Q 土壙



と造られていったものと思われる。

A 土壙の1は、須恵器（HS）の高台付皿である。

B 土壙の2は、須恵器（NS）の高台付碗である。

3は、土師器の甕である。

C 土壙の4は、土師器の坏AⅣである。5は、須恵器（NS）の碗である。6・7は、須恵器（NS）の

高台付碗である。8から10は、灰釉陶器の高台付碗である。11は、灰釉陶器の長頸壺である。

D 土壙の12は、土師器の坏AⅤである。13は、須恵器（S）の碗である。14・15は、灰釉陶器の高台付碗である。16は、須恵器（HS）の高台付碗である。17は、須恵器（HS）の鉢である。18・19は、須恵器（S）

の大甕である。

F 土壙の20は、土師器の坏A Vである。21は、土師器の坏A IVである。22は、土師器の皿Bである。23・24は、須恵器（N S）の碗である。23の底部外面には、「平」と墨書がみられる。

H 土壙の25は、把手である。

I 土壙の26は、坏A VIである。27は、須恵器（H S）の高台付碗である。28は、須恵器（S）の甕である。

J 土壙の29から33は、土師器の坏である。29・30・32は、坏A Vである。31・33は、坏A IVである。34は、須恵器（N S）の高台付碗である。須恵器（H S）の、高台付皿である。35は、須恵器（H S）の高台付皿である。36は、土師器の甕である。37は、須恵器（S）の長頸壺である。38は、須恵器（N S）の双耳壺の把手である。39は、土錘である。

M 土壙の40は、土師器の坏A VIである。41は、土錘である。

N 土壙の42は、灰釉陶器の長頸壺である。

O 土壙の43は、須恵器（S）の碗である。44は、灰釉陶器の高台付碗である。

Q 土壙の45・46は、灰釉陶器の高台付皿である。47は、灰釉陶器の耳皿である。48は、須恵器（S）の大甕である。49・51は、板状・延板状鉄製品である。50は、銅製品である。

第2 土壙群（第728図）

Q-22・23・R-22・23・S-22・23グリッドで確認された。

第58号掘立柱建物跡と第223号住居跡の間に位置する。浅く不整形な掘り込みや、住居跡が重複し、確認作業は困難であった。

検出された土壙は8基で、深さは0.08m～0.22mといずれも浅い。覆土も類似するため、切り合い関係は明確には把握できなかった。

時期は、中堀IV～V期で、第220・221・223号住居跡と同時期である。

遺物は土師器坏、須恵器坏、須恵器蓋、大甕口縁部

などが少量出土した。そのほか鉄製品（1・6・10）が出土している。

A 土壙の1は、棒状鉄製品である。

B 土壙の2・3は、土師器の坏A IVである。

4は、須恵器（H S）の蓋である。5は、須恵器（S）の大甕である。

E 土壙の6は、板状鉄製品である。

F 土壙の7は、土師器の坏A IIである。

G 土壙の8は、土師器の坏A IVである。9は、須恵器（H S）の碗である。

H 土壙の10は、延板状鉄製品である。

第3 土壙群（第729図）

R-23・24・S-23・24グリッドで確認された。

第223号住居跡の南東側に位置する。浅く不整形な掘り込みが、住居跡や小穴と激しく重複し、確認作業は困難であった。

検出された土壙は19基で、F・G・N土壙を除いて、深さ0.05m～0.22mと浅い。覆土も類似し、切り合い関係は明確に把握できなかった。

第3 土壙群からは、第15～17号鍛冶炉跡に関連すると思われる、土壙が3基検出された。

D 土壙は焼土が集中している部分である。明確な掘り込みはみられなかつたが、焼土の一部は流れ込むように、C 土壙内からも出土している。

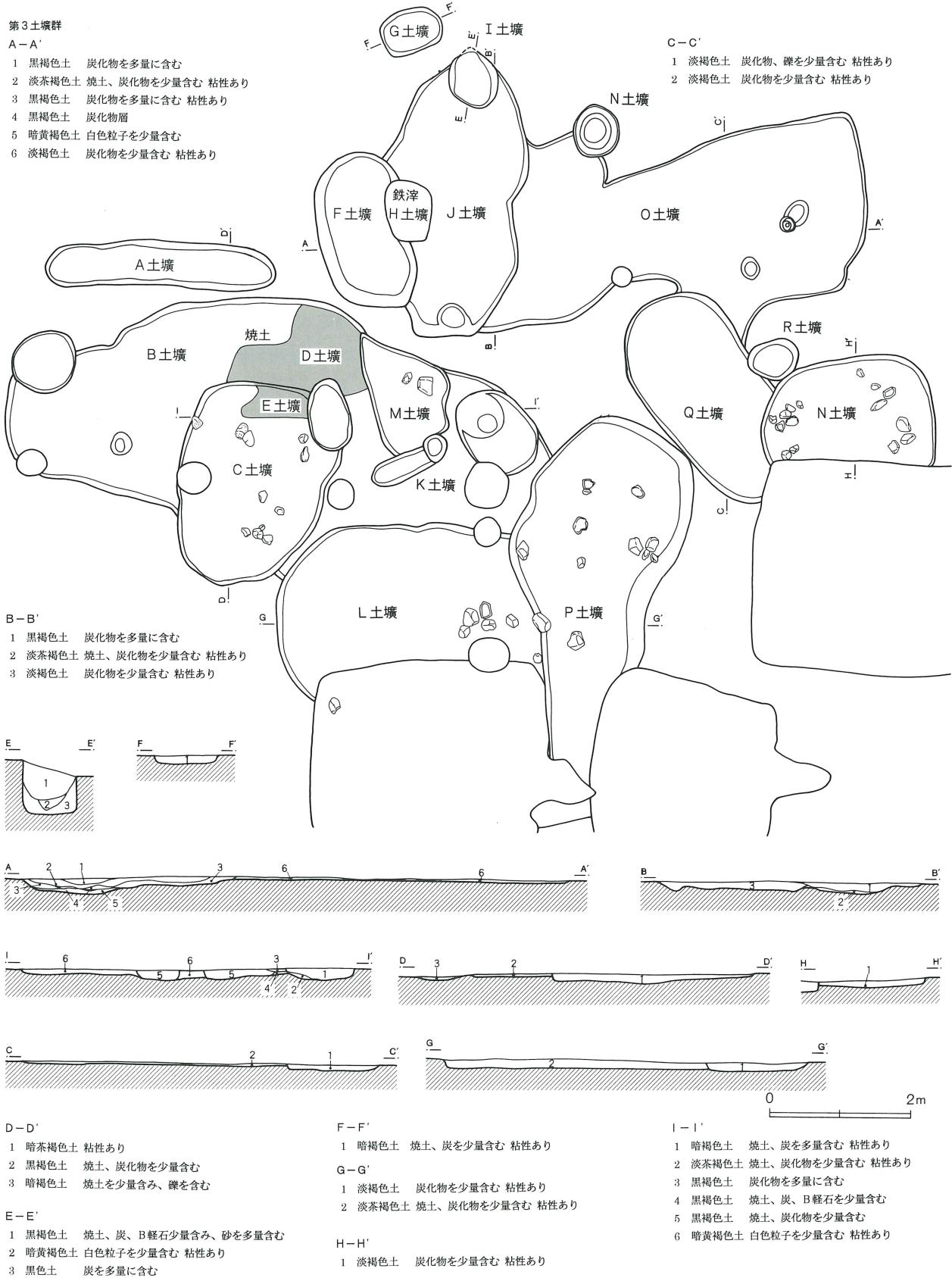
H 土壙には鉄滓が集中し、10cmほど盛り上がりしている。明確な掘り込みはみられず、周囲に被熱の痕跡もみられないことから、鉄滓を捨てたものと思われる。H 土壙の西側2.2mに第15号鍛冶炉跡が位置する。

I 土壙は掘り込みが深く、覆土には炭化物や焼土、砂を多量に含んでいる。I 土壙の北側1mに第16号鍛冶炉跡が位置する。

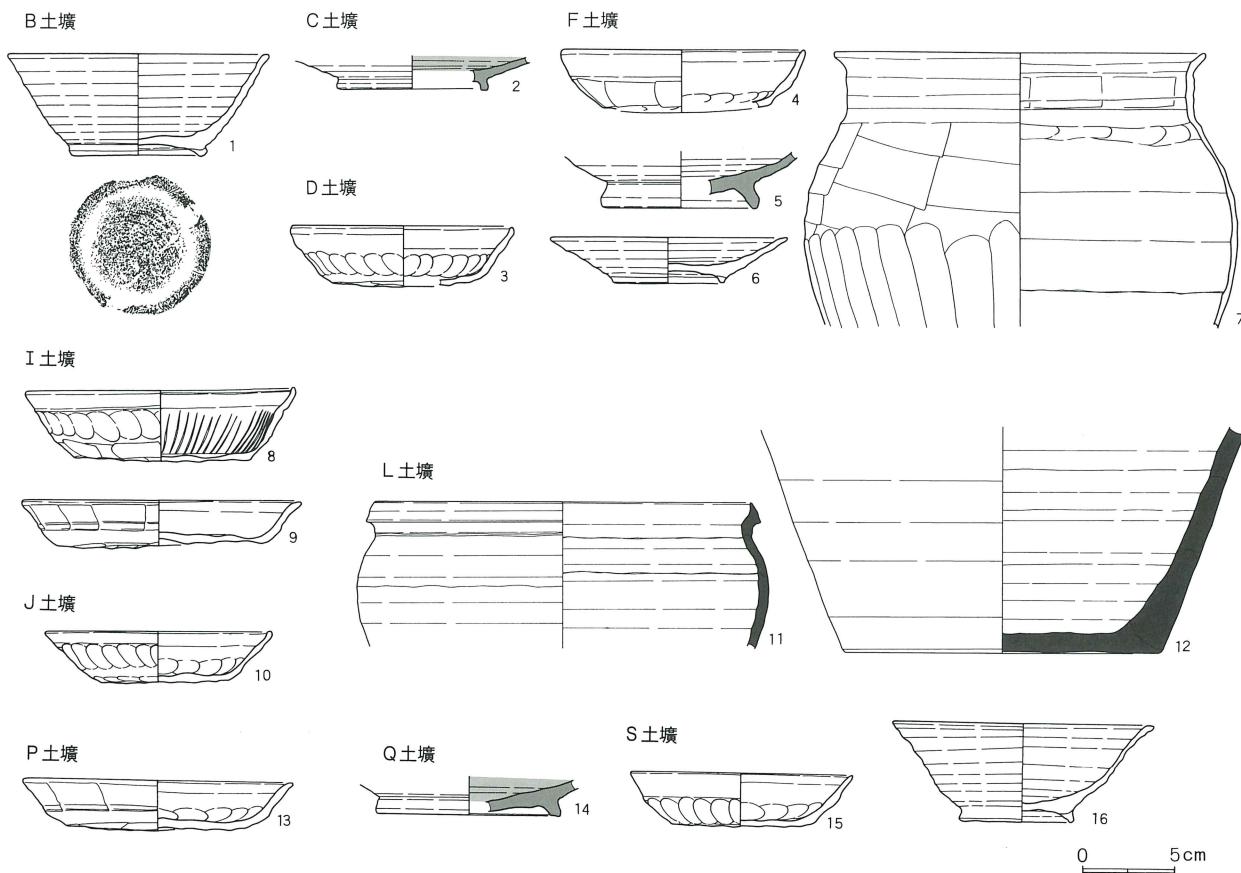
そのほか、A 土壙は細長く長軸方向が、第63号掘立柱建物跡の桁方向とほぼ平行することから、雨落溝とも考えられるが、北側の柱筋からやや距離があり土壙と判断した。

時期はIII～V期で、第227号住居跡・第670号土壙と

第729図 第3土壤群



第730図 第3土壤群出土遺物



同時期である。

遺物は、土師器壺、須恵器高台付椀、須恵器高台付皿、灰釉陶器、須恵器鉢、須恵器壺、土師器甕などが少量出土した。

B土壤の1は、須恵器（NS）の高台付椀である。

C土壤の2は、灰釉陶器の高台付皿である。

D土壤の3は、土師器の壺AⅣである。

F土壤の4は、土師器の壺AⅠである。5は、灰釉陶器の高台付椀である。6は、灰釉陶器の高台付皿である。7は、土師器の甕である。

I土壤の8は、土師器の暗文土器である。9は、土師器の皿Aである。

J土壤の10は、土師器の壺AⅣである。

L土壤の11は、須恵器（S）の鉢である。12は、須恵器（S）の壺である。

P土壤の13は、土師器の皿Bである。

Q土壤の14は、灰釉陶器の高台付椀である。

S土壤の15は、土師器の壺AⅣである。16は、須恵器（NS）の高台付椀である。

器（NS）の高台付椀である。

第4 土壤群（第731図）

U-23・24グリッドで確認された。

第229号住居跡の東側に接するように位置する。深い不整形の掘り込みが重複し、確認は困難であった。

検出された土壤は12基で、A・C土壤を除いて、深さ0.22m～0.56mと深い。

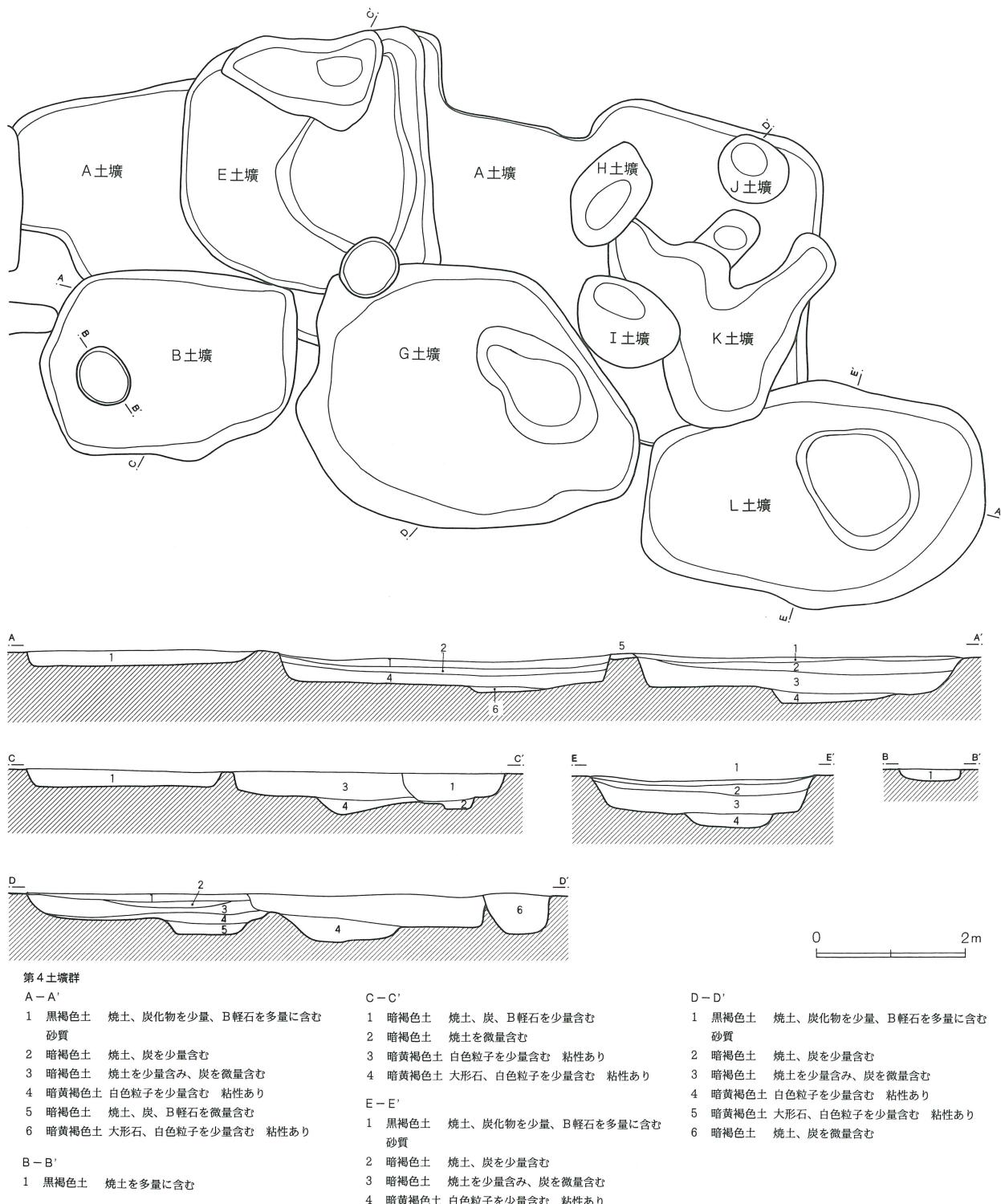
A土壤は土壤群全体におよぶ広く浅い土壤で、A土壤を中心に次々と土壤が造られていったと思われるが、覆土が類似していて切り合い関係は明確に把握できなかった。特に、H～L土壤にかけては、第247号住居跡と重複し、遺物の帰属など不明な点が多い。

A土壤とB土壤から馬歯が出土していることが特筆される。

時期は中堀IV～V期で、第229・230・232・246・248・252号住居跡が同時期である。

遺物はL土壤を中心に、土師器、須恵器、灰釉陶器

第731図 第4土壤群（1）

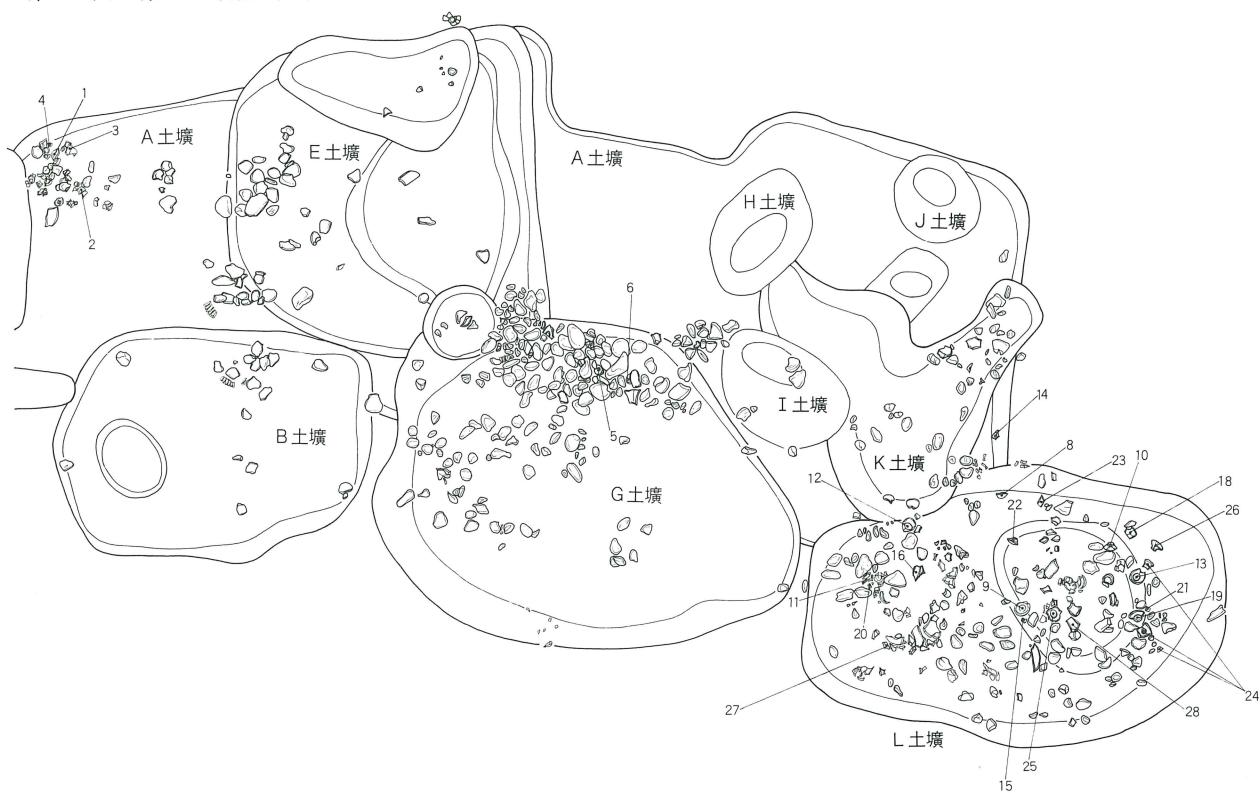


の食器具や須恵器鉢、大甕、土師器甕、土錐、鉄製品、凝灰岩切石など多量に出土している。また、A土壤とB土壤から馬歯が出土している。（第IV章3-(12)参照）

A土壤の1は、土師器の皿Bである。2は、須恵器(S)の碗である。3は、須恵器(NS)の碗である。4は、須恵器(NS)の高台付碗である。

G土壤の5は、土師器の壺AVIである。6は、灰釉

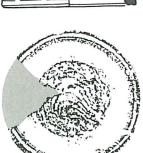
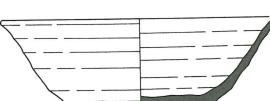
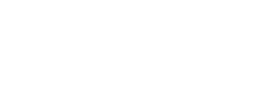
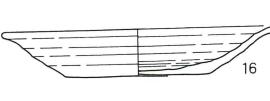
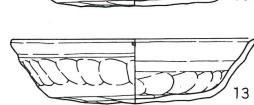
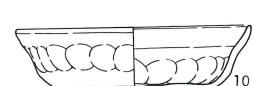
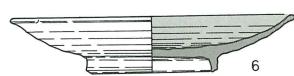
第732図 第4土壤群(2)・出土遺物(1)



A土壤

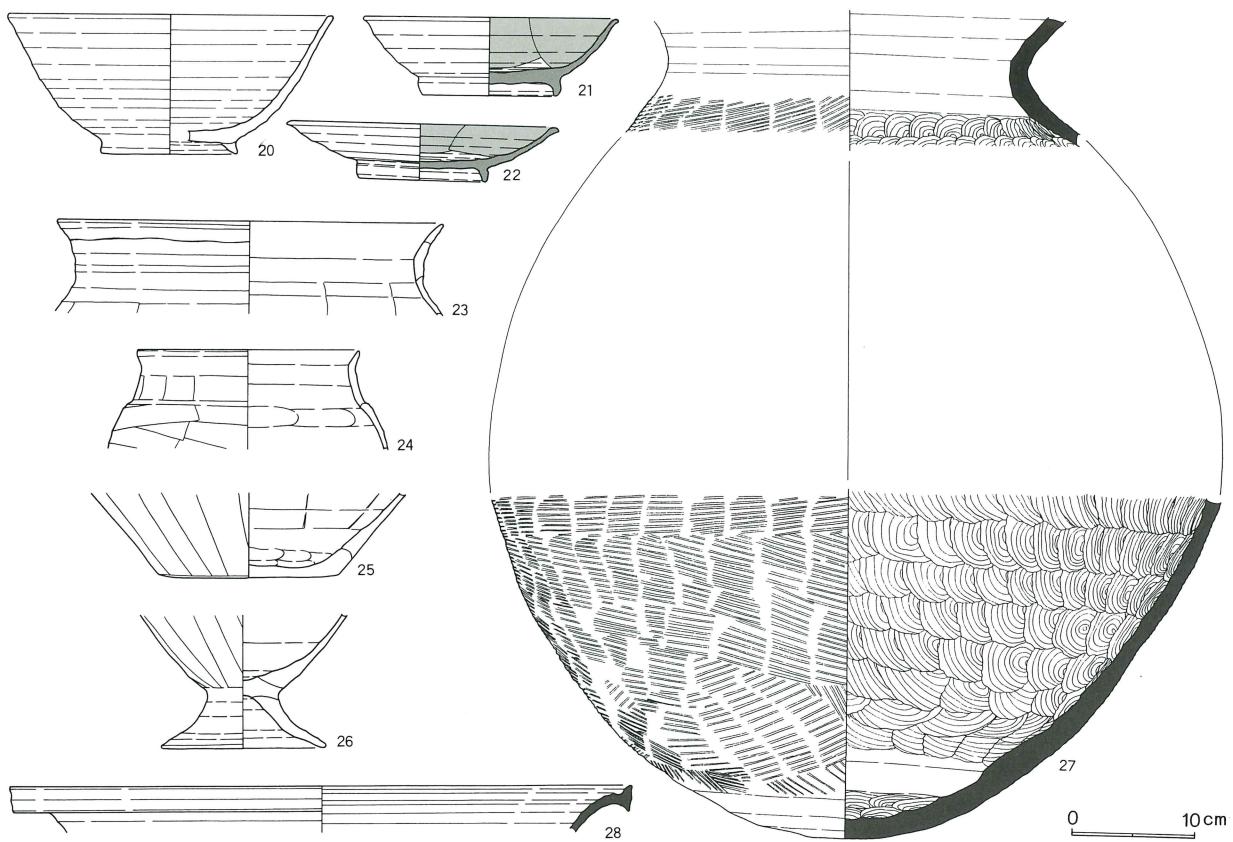


G土壤

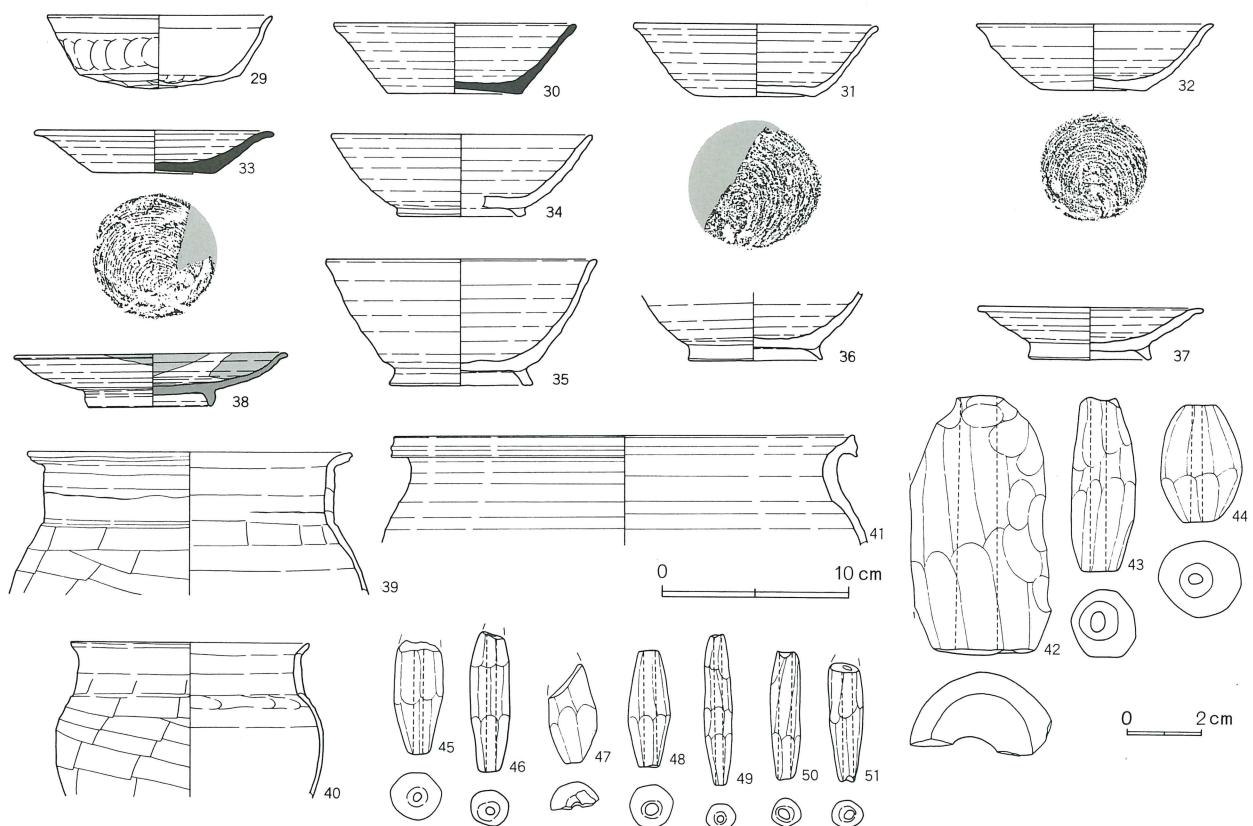


第733図 第4土壙群出土遺物（2）

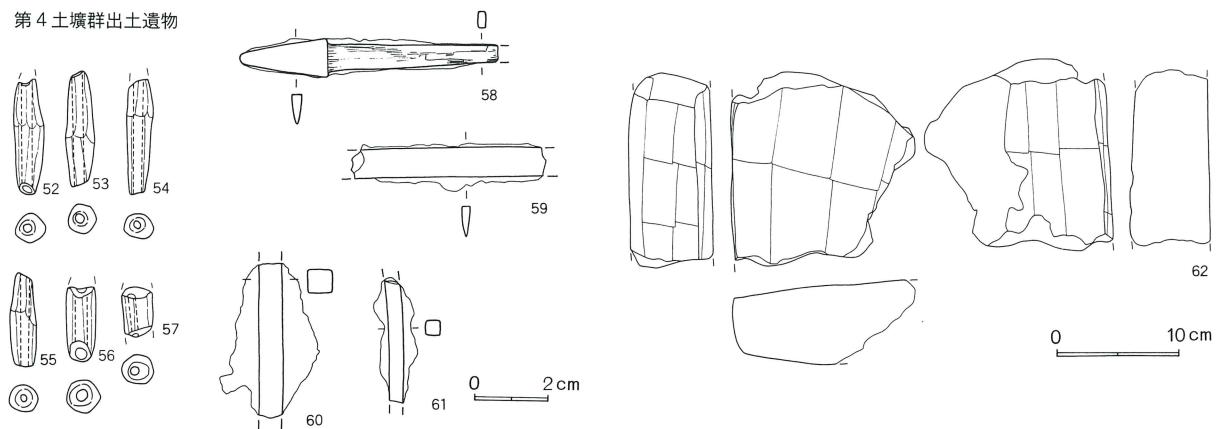
L 土壙



第4土壙群出土遺物



第734図 第4土壤群出土遺物（3）



第559表 第4土壤群出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
42	にぶい 橙	40				42.5	A 1	VII	26	
43	にぶい 黄 橙	100	4.6	1.7	0.6	12.7	B 1	I a	84	
44	にぶい 橙	100	3.1	2.2	0.4	12.7	B 1	I a	85	
45	にぶい 褐	50		1.4	0.3	4.5	C 2	II a	580	
46							C 2	II a	581	
47							C 1	VII	278	
48	灰 黄 褐	100	3.2	1.2	0.4	3.6	C 2	I a	582	
49	にぶい 赤 褐	100	4.0	0.8	0.2	1.9	C 3	I b	717	
50	橙	100	3.4	0.8	0.3	1.7	C 3	I b	718	
51	橙	60		0.8	0.2	1.9	C 3	II b	719	
52							C 3	I b	720	
53	にぶい 橙	100	3.1	0.8	0.2	1.7	C 3	I a	721	
54	にぶい 橙	80		0.8	0.1	1.4	C 3	I b	722	
55							C 3	II b	723	
56							C 3	III b	724	
57	橙	30		0.9	0.2	0.7	C 3	VII	725	

陶器の高台付皿である。7は、須恵器(H S)の高台付碗である。

L土壤の8から14は、土師器の坏である。8は坏C、9・13は坏A IV、14は坏B I、ほかは坏A Vである。15は、須恵器(N S)の碗である。16は、須恵器(N S)の皿である。17・20は、須恵器(N S)の高台付碗である。18は、須恵器(S)の高台付碗である。

21は、灰釉陶器の高台付碗である。22は、灰釉陶器の高台付皿である。

23から26は、土師器の甕である。27は、須恵器(S)の壺である。28は、須恵器(S)の甕である。

29から62は、第4土壤群の一括資料である。

29は、土師器の坏A IIIである。

30は、須恵器(S)の碗である。31は、須恵器(H S)の碗である。32は、須恵器(N S)の碗である。

33は、須恵器(S)の皿である。34・36は、須恵器(N S)の高台付碗である。35は、須恵器(H S)の高台付碗である。37は、須恵器(N S)の高台付皿である。

38は、灰釉陶器の高台付皿である。

39・40は、土師器の甕である。

41は、須恵器(N S)の鉢である。

42から57は、土錘である。

58・59は、刀子である。

60・61は、棒状鉄製品である。

62は、凝灰岩の切石である。

第560表 土壌(1) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	H S	11.3	4.4		6.1	B, E, G	良好		にぶい黄褐 橙	75 60	SK 3 SK 3
2	高台付椀	H S	14.4			6.8	B, D	良好		灰白	40	SK 3
3	高台付皿	K				5.6	B, E, G	良好		明褐	50	SK 9
1	高台付椀	H S	12.0	4.8		6.1	B, E	良好		褐灰	90	SK 11
1	高台付椀	N S	11.6	5.2		5.8	B, E, I	良好		にぶい黄橙	30	SK 13
2	高台付椀	H S	11.6	4.1		5.8	E, G, I	良好		明褐	50	SK 13
1	片口鉢	N S					B, G	普通		灰白 (白に近い)		SK 19
1	蓋	S					D	良好		淡灰	10	SK 23
2	高台付椀	M	13.5	6.3		8.1	B	普通		淡綠	10	SK 23
3	双耳壺把手	H S					B, C	普通		橙	5	SK 23
4	大甕	S					B	良好		青灰	5	SK 23

第561表 土壌(2) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	H S	12.8	5.9			B, E, G	良好		にぶい橙	30	SK 34
2	高台付椀	H S				8.3	B, E, I	良好		にぶい黄橙	10	SK 34
1	耳皿	K				4.3	B	良好		淡灰綠	80	SK 47
1	坏A IV	H	12.2	2.4		7.1	B, D, E, H	不良		赤褐	20	SK 55

第562表 土壌(3) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏B V	H	10.6	4.0		3.3	B, E, H	普通		淡黄橙	20	SK 61, 砂
1	高台付椀	N S	12.6				B	良好		黄灰	25	SK 67
2	高台付椀	K				8.3	B, D	良好		灰白	15	SK 67
3	輪花付高台付椀	M	14.3				C	良好		淡綠	10	SK 67
1	坏A IV	H	12.9	3.4		7.9	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 68
2	坏A V	H	11.4	3.8		7.5	B, D, E, H	普通		暗褐	100	SK 68
1	坏B V	H	11.7	4.5		3.8	B, E, H	良好		暗橙	60	SK 69, 砂
2	坏B V	H	11.0	4.0		4.9	B, E, H	普通		淡橙	70	SK 69, 砂
1	甕	S					B, D, G	良好		青灰	20	SK 73
1	甕 A III c	H	18.4				B, E	良好		橙	20	SK 76
1	蓋	N S	13.6				B	普通		にぶい黄橙	2	SK 81

第563表 土壌(4) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏B V	H	11.9	3.4		4.6	B, H	普通		淡橙	40	SK 107, 砂
2	椀	H S	11.8	4.4		5.9	B, C, E, I	良好		明赤褐	50	SK 107
3	高台付椀	H S	14.7	5.0		7.1	B, E, I	普通		灰黄褐	30	SK 107
1	椀	H S	11.8	4.6		5.7	B, E	良好		灰黄褐	80	SK 109
2	高台付椀	H S	12.8	4.7		4.6	B, E, I	普通		灰黄	75	SK 109
1	耳皿	H				3.0	B, D, E, H	普通		橙	90	SK 113
2	高台付椀	M					B	普通		淡綠	5	SK 113
1	坏B V	H	12.4	4.2		4.4	B, E, H	普通		淡橙	100	SK 114, 砂
2	坏D	H	13.8				B, D, E, H	普通		橙	20	SK 114
3	椀	H S	10.4	3.2		5.1	B, E, I	良好		灰褐	80	SK 114
4	椀	H S	10.7	3.1		5.7	B, E, I	良好		にぶい黄橙	60	SK 114
5	椀	N S	11.8	4.2		5.2	B, E, G	良好		灰白	80	SK 114

第564表 土壌(4)出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
6	高台付椀	HS	11.4	4.7		5.8	B, E, G	普通		黄 灰	90	SK 114
7	高台付椀	HS	11.6	4.7		5.9	B, E, I	良好	好	灰 淡	100 5	SK 114 SK 114
8	輪花付高台付椀	M					B	好		綠		
1	高台付椀	NS	11.9	4.9		4.9	B, C, E	普通	通	黄 灰	70	SK 118
2	高台付椀	HS	12.1	4.9		5.1	B, C, E, G, I	普通	通	灰 黃	70	SK 118
1	坏B V	H	11.0	3.7		4.9	B, C, E, H	普	通	淡 橙	80	SK 119, 砂
2	坏B I	H	10.7	3.7		3.6	B, E, H	普	通	淡 橙	50	SK 119
3	坏B I	H	12.1	4.2		5.5	B, D, E, H	普	通	淡 橙	30	SK 119
4	椀	HS	11.7	4.7		6.2	B, E, G, I	良	好	灰 白	85	SK 119
5	高台付椀	HS	13.3	4.8		5.7	B, I	普	通	灰 白	75	SK 119
1	坏B V	H	10.5	3.7		4.9	B, C, E	良	好	淡 橙	80	SK 120
2	高台付椀	K				5.1	B	良	好	灰 白	30	SK 120

第565表 土壌(5)出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	HS				7.2	B, E, I	良	好	にぶい黄橙	20	SK 126
1	椀	HS				5.0	B	良	好	灰 黄 褐	10	SK 127
1	高台付椀	HS	11.2	4.3		5.8	E, G, I	良	好	灰 黄	25	SK 128
2	坏B V	H	11.2	3.9		5.8	B, D, E, H	普	通	淡 橙	100	SK 129
1	坏A IV	H	12.3	4.0		6.7	B, D, E, H	普	通	橙	80	SK 131
2	坏A IV	H	12.5	3.9		5.6	B, D, E	普	通	橙	80	SK 131
3	坏B IV	H	12.2	3.6		6.8	B, D, E, H	良	好	赤 橙	90	SK 131
4	皿B	H	12.4	2.7		6.1	B, E, H	良	好	赤 橙	100	SK 131
5	高台付椀	HS	12.7	5.2		5.1	B, E, I	良	好	にぶい黄褐	100	SK 131
1	坏B I	H	13.2	4.3		7.1	B, D, E, H	普	通	明 橙	50	SK 137, 砂
2	坏B II	H	13.0	4.0		5.2	B, E, H	普	通	暗 褐	60	SK 137
3	坏B III	H	12.8	3.5		5.1	B, D, E, H	普	通	暗 褐	70	SK 137
4	坏B II	H	12.1	4.0		5.4	B, E, H	普	通	暗 黄 褐	20	SK 137
5	坏B I	H	11.8	4.0		4.8	B, D, E, H	普	通	淡 橙	20	SK 137
6	坏B III	H	11.4	4.0		4.7	B, D, E, H	普	通	暗 褐	80	SK 137
7	高台付椀	NS	12.3	5.4		5.2	B, E, I	普	通	灰 黄	60	SK 137
8	高台付椀	NS	12.7	4.5		5.8	B, E, I	普	通	橙	30	SK 137
9	高脚高台付椀	HS	14.8	5.5		8.1	B, E, I	普	通	淡 黄	60	SK 137
10	高台付皿	M				5.9	B	普	通	淡 绿	10	SK 137
1	高台付椀	NS	12.9	5.0		5.6	B, E, I	良	好	灰 白	60	SK 138
2	高台付椀	HS	13.0	4.9		5.7	B, C, I	良	好	灰 褐	50	SK 138
3	台付甕	H				9.8	B, E, H	普	通	橙	100	SK 138
4	羽A II a口	NS	20.9		2.7		B, E, H	普	通	灰 白	15	SK 138
5	羽B II bイ	NS	18.5	26.9	4.7		B, E, H	普	通	にぶい橙	90	SK 138
1	高台付坏B	H	14.0	5.7		8.0	B, D, E, H	普	通	暗 橙	60	SK 148
1	高台付椀	HS				7.5	B, G	良	好	(外)浅黄 (内)黒褐	20	SK 150
1	坏A VI	H	12.4	3.7		8.2	B, E, H	普	通	淡 橙	80	SK 151
1	坏C	H	13.6	3.2		9.5	B, C, E, H	普	通	淡 橙 白	50	SK 151
2	甕B II イ		18.3				B, E, H	良	好	にぶい黄橙	20	SK 152
3	羽A I b口	HS	18.5		2.9		B, D, E, H	普	通	褐 灰	10	SK 160
1	坏B V	H	10.6	4.5		3.4	B, D, E	良	好	黄 橙	90	SK 129
1	椀	HS	9.7	2.9		5.0	B, D	普	通	灰 黄	80	SK 160
2	高台付椀	HS	11.7	5.3		5.8	B, D	普	通	灰 黄	80	SK 160

第566表 土壌(6) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	H S	12.2	4.7		5.2	B, E, I	良好		灰褐	80	SK 163
2	高台付椀	N S	11.3	4.2		5.8	B, E, G, I	良好		灰	100	SK 163
3	高台付椀転用硯	K				7.5		良好		灰褐	50	SK 163, 転用硯
1	高台付椀	K	17.4	3.5		7.6	B, D	良好		灰白	50	SK 169, 被熱
1	坏(暗文)	H				6.1	B, C, E	普通		暗茶	10	SK 171, 放射状暗文
1	椀	H S	10.9	3.5		5.2	B, E, G	良好		にぶい橙	75	SK 173
1	蓋	S	12.4			B		良好		灰	5	SK 175
1	椀	N S	10.8	3.7		5.3	B, E	良好		灰白	40	SK 178
2	高台付椀	N S	11.2	4.1		6.3	B, E, G	良好		灰白	90	SK 178
1	坏 B V	H	10.9	4.3		3.2	B, D, E, H	普通		暗橙	60	SK 182, 砂

第567表 土壌(7) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	耳皿	N S				4.0	B, G	普通		灰白	80	SK 196
1	坏 B III	H	12.6	3.9		8.2	B, E, H	普通		淡黄橙	20	SK 198
2	蓋	S	15.5			B, C	良好			灰白	5	SK 198
1	高台付椀	K	16.3	5.3		7.1	B	良好		灰白 (やや黄味)	底部100 他20	SK 199
1	高台付椀	H S	10.8			E, I	普通	通		浅黄	5	SK 201
2	高台付坏	H				8.7	E, I	普通	通	にぶい橙	5	SK 201
3	椀	黒色				4.8	B, C, E	良好	通	浅黄橙	50	SK 201
4	広口長頸壺	K				B	良好	通		濃緑	5	SK 201
1	高台付椀	H S				B	良好	通		灰白	5	SK 204
1	坏 A IV	H	13.6	3.2		5.7	B, D, H	普通	通	黄橙	70	SK 205
2	坏 B	H	10.8	4.0		4.1	B, E, H	普通	通	橙	80	SK 205
3	坏 B	H	10.9	4.2		3.8	B, E, H	普通	通	赤橙	70	SK 205, 砂
1	輪花付高台付椀	K	16.1	5.5		7.0	B, D	良好	通	灰白	20	SK 210
2	羽 A II a 口	H S	20.2		2.8	B, D, E, H	普通	通		浅黄橙	15	SK 210
1	坏 A II	H	11.0	3.3		4.6	B, D, E, H	普通	通	淡橙	60	SK 214
2	坏 A IV	H	12.4	3.5		5.9	B, D, E, H	普通	通	灰橙	100	SK 214
1	高台付椀	M				B	普通	通		淡綠	5	SK 221
1	高台付椀	H S	13.9	5.5		B, D, G, I	良好			褐灰	60	SK 222

第568表 土壌(7) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A V	H	12.6	3.9		7.5	B, D, E, H	良好		淡淡橙	40	SK 237
2	坏 A VI	H	12.9	3.3		7.5	B, D, E, H	普通	通	淡淡橙	50	SK 237
3	坏 C	H	12.0	3.3		6.0	B, D, E, H	普通	通	淡淡橙	100	SK 237
4	坏 C	H	12.4	3.5		7.4	B, E, H	普通	通	淡淡橙	100	SK 237
5	坏 B V	H	12.9	4.3		5.5	B, C, D, E, H	普通	通	淡淡橙	30	SK 237
6	皿 B	H	13.1	2.5		4.9	B, D, E, H	普通	通	暗橙	40	SK 237
7	高台付皿	N S	13.1	2.7		6.1	B, E, I	良好	通	暗白	80	SK 237
8	台付甕	H				13.2	B, D, E, H	良好	通	橙	90	SK 237
9	大甕	S				B		良好	通	青灰	5	SK 237
1	椀	H S	9.9	3.4		4.8	B, G, I	良好	通	明黄褐	80	SK 238
2	高台付椀	H S	11.0	4.6		5.2	B, E, G	普通	通	浅黄	20	SK 238
3	高台付椀	N S	10.8	4.5		5.7	B, E	良好	通	灰	90	SK 238
4	高台付椀	N S	11.3	4.1		5.7	B, E, I	良好	通	灰	95	SK 238
5	高台付皿	K	12.5	2.5		6.1	B, D	良好		灰白 (灰強い)	底部80 他30	SK 238
6	高脚高台付鉢	H S				13.1	B, C, E, H	普通	通	赤褐	10	SK 238
1	坏 A II	H	12.3	3.4		7.6	B, D, E, H	普通	通	橙	70	SK 241
2	皿	H S	13.2	2.4		B, E, I	良好	通		灰黄	15	SK 241
3	高台付皿	N S	13.4	2.8		6.8	B, I	良好	通	灰黄	50	SK 241
1	高台付皿	H S	13.8	3.2		6.6	B, E, I	良好	通	浅黄	75	SK 254

第569表 土壌(8) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	大甕	S					B	良好		青灰	5	SK 227
1	椀	S	12.5	3.8		5.2	B	良好		灰	40	SK 235
2	高台付椀	HS	13.0	5.6			B, C, E, I	普通		明黃褐	60	SK 235
3	高台付椀	NS	14.1	6.2		7.4	B	良好		黃灰	70	SK 235
1	坏B V H	H	11.2	4.0		5.4	B, D, E, H	良好		淡橙	100	SK 236
2	坏B V H	H	11.3	4.0		4.7	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 236
3	坏B V H	H	11.5	4.1		5.1	B, D, E, H	良好		暗褐	100	SK 236
4	椀	黒色				5.6	B, C, E	良好		(外) 橙灰 (内) 橙灰	10	SK 236

第570表 土壌(9) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	HS	11.0	4.8		4.8	B, E, G	良好		にぶい褐	50	SK 261
1	高台付椀	HS	11.8	5.0		5.3	B, E, G	普通		浅黄	80	SK 265
1	坏A VI H	H	11.9	4.0		4.9	B, D, E, H	普通		橙	40	SK 272
2	坏A V H	H	12.1	3.8		7.9	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
3	坏A VI H	H	12.7	3.5		8.5	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
4	坏A IV H	H	12.8	3.3		4.7	B, C, E, H	普通		暗黄土	100	SK 272
5	坏C H	H	13.8	3.3		7.9	B, D, E, H	普通		黄橙	60	SK 272
6	坏A VI H	H	13.0	3.4		6.3	B, D, E	不良		橙	30	SK 272
7	坏A V H	H	12.4	3.4		4.6	B, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
8	坏A VI H	H	11.8	3.6		7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
9	坏A VI H	H	12.1	3.6		2.6	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
10	坏A V H	H	12.8	3.2		5.4	B, D, E, H	普通		淡橙	50	SK 272
11	坏A IV H	H	11.4	3.4		4.6	B, D, E, H	普通		黄土	50	SK 272
12	坏A VI H	H	11.8	2.8		4.2	B, D, E, H	普通		淡橙	80	SK 272
13	坏A IV H	H	13.4	3.0		3.0	B, D, E, H	普通		淡黄橙	30	SK 272
14	皿B H	H	12.9	2.4		9.3	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
15	皿B H	H	13.4	2.6		6.6	B, D, E, H	普通		淡橙	70	SK 272
16	皿B H	H	13.6	2.2		9.6	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
17	皿B H	H	13.2	2.3		7.6	B, D, E, H	普通		淡橙	60	SK 272
18	坏B IV H	H	12.9	3.5		7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	30	SK 272
19	坏B III H	H	8.8	3.0		4.1	B, D, E, H	普通		赤褐	100	SK 272
20	椀	S	11.9	4.7		5.5	B	良好		暗青灰	90	SK 272
21	椀	S	12.0	3.5		6.0	B	良好		灰	85	SK 272
22	椀	S	13.1	3.5		7.0	B, D	良好		灰	50	SK 272
23	椀	NS	12.9	3.6		6.7	B, E, G, I	良好		灰白	90	SK 272, 墨書
24	椀	HS	12.4	4.0		5.7	B, I	普通		灰	95	SK 272
25	椀	NS	12.2	3.9		6.6	B, E, I	良好		灰白	80	SK 272
26	椀	NS	13.7	4.1		5.9	B, E, I	普通		灰白	100	SK 272
27	高台付椀	HS	12.1	4.5		5.4	B, E, I	普通		にぶい橙	60	SK 272
28	高台付皿	NS	13.2	2.7		5.9	B, E, I	良好		灰白	95	SK 272, 墨書
29	高台付大椀	NS	18.2	7.7		7.6	B, E, I	良好		灰白	90	SK 272
30	高台付大椀	NS	18.0	8.1		6.9	B, E, I	良好		灰白	80	SK 272
31	高台付椀	K	16.7	5.2		7.6	B, D, K	良好		灰白	底部40 他10	SK 272
32	高台付椀	K				7.6	B, D	良好		灰白	90	SK 272
33	台付甕	H	11.9			5.6	B, E	良好		にぶい黄橙	20	SK 272
34	甕	H				5.6	B, C, E, H	良好		黄橙	10	SK 272

第571表 土壌(9) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壺 A V	H	12.2	4.3		5.0	B, C, D, E	普通		淡 橙 にぶい黄橙	70 60	SK 276, 砂 SK 276
2	高台付椀	H S	12.1	4.6		5.7	B, E, G	良好		灰 白	60	SK 276
3	高台付椀	N S	14.2	5.2		5.3	B, E	良好		褐 灰	10	SK 276
4	羽 A I b イ	H S	20.5		3.6		B, C, E, H	良好				
1	壺 A V	H	12.0	3.7		8.4	B, D, E	普通		淡 橙	100	SK 277
2	壺 A IV	H	12.0	3.6		8.1	B, D, E, H	普通		淡 橙	60	SK 277
3	壺 A VI	H	12.7	3.4		7.8	B, E, H	普通		淡 橙	100	SK 277
4	椀	N S	12.5	4.1		6.1	B, E, I	良好		灰 白	80	SK 277
5	椀	N S	11.9	3.6		6.1	B, E, I	良好		灰 白	90	SK 277
6	椀	N S	13.2	3.8		6.9	B, D	良好		灰	70	SK 277
7	高台付皿	N S	14.4	2.9		6.0	B, D, I	良好		灰	80	SK 277
1	高台付皿	H S	13.7	3.7		6.1	B, E, I	良好		灰 白	100	SK 280
1	皿 A	H	14.0	2.4		5.9	B, D, E, H	普通		暗 橙	100	SK 282
2	椀	H S	13.6	3.4		6.9	B, E, I	良好		にぶい黄橙	50	SK 282
1	壺 C	H	13.2	3.1		9.0	B, D, E, H	普通		黄 橙	70	SK 283
2	壺 A IV	H	12.6	3.6		6.3	B, E, H	普通		淡 橙	80	SK 283
3	壺 A IV	H	12.7	3.5		8.1	B, E, H	普通		淡 橙	80	SK 283
4	長頸壺	K	13.9				B, D	良好		灰 白	20	SK 283

第572表 土壌(10) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	K				7.1	B, D	良好		灰 白	50	SK 294, 被熱
1	壺 C	H	12.8	2.8		9.8	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 295
2	壺 A IV	H	12.6	3.3		7.7	B, D, E, H	普通		暗赤褐色	80	SK 295
3	壺(暗文)	H	12.8	3.9		4.5	D, E, G, H	良好		淡黃褐色	100	SK 295, 放射状暗文
1	高台付椀	N S	13.0	4.1		5.8	B, E	良好		灰 白	30	SK 295
2	高台付椀	K	12.3	4.1		5.3	F	良好		淡 灰	90	SK 297
1	皿 A	H	15.0	2.2		12.6	B, D, E, H	普通		淡 橙 黄	30	SK 297
1	壺 C	H	12.7	3.4		4.1	B, D, E, H	普通		淡 橙 褐	90	SK 300
2	壺 C	H	12.3	3.5		3.8	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 304
3	壺 C	H	12.4	3.5		4.8	B, D, E, H	普通		黄 橙	60	SK 304
4	壺 C	H	11.9	3.4		5.1	B, D, E, H	普通		橙	70	SK 304
5	壺 C	H	12.4	3.1		5.0	B, C, D, E	良好		橙	100	SK 304
6	壺 C	H	12.8	2.9		4.6	B, D, E, H	普通		淡 橙	80	SK 304
7	壺 C	H	14.0	3.9		6.1	B, D, E, H	不良		暗 茶	90	SK 304
8	甕 A III a	H	21.3	28.1		5.0	C, E, H	良好	(外)浅黃橙 (内)橙	頭~底部 80, 口縁 20		SK 304
9	甕 A II c	H	29.5	25.1		4.7	B, C, E	普通		橙	100	SK 304
10	甕 A III a	H	18.0				B, C, E, H	良好		橙	25	SK 304
11	壺	N S				6.9	B, C, G	良好		灰 白	40	SK 304
1	壺	H	13.0	2.9		4.3	B, E, H	普通		暗 橙	70	SK 312
2	壺	H	13.3	3.5		6.0	B, C, E, H	不良		明 橙	80	SK 312
1	壺 A VI	H	12.0	3.3		5.0	B, D, E, H	普通		淡 橙	90	SK 317
2	壺 A VI	H	11.3	3.5		6.3	B, E, H	普通		淡 橙	30	SK 317
3	長頸瓶	S	11.3				B	良好		オリーブ黒	5	SK 317
1	壺 A IV	H	11.6	3.4		5.4	B, E, H	普通		淡 橙	40	SK 318

第573表 土壌(11) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	K				6.8	B, D	良 好		灰 白	60	SK 325
2	高台付椀	M					B	良 好		淡 緑	5	SK 325
1	坏 A VI	H	12.3	3.4		7.5	B, D, E, H	普 通		橙	60	SK 326
2	高台付椀	NS					B, I	良 好		灰 白	5	SK 326, 漆付着
3	蓋	S	13.5				B	良 好		暗オリーブ灰	5	SK 326
4	鉢	H				8.0	B, E	良 好		浅黄 橙	40	SK 326
1	坏 A IV	H	13.2	3.2		8.7	B, D, E, H	不 良		こげ茶	70	SK 331
2	椀	NS	13.4	3.5		6.5	B, D	良 好		灰	100	SK 331
1	高台付椀	NS	12.9	5.6		4.2	B, I	普 通		灰 白	20	SK 336
1	高台付椀	HS	11.3	4.2		4.9	B, E, I	良 好		橙	30	SK 342
1	高台付椀	NS	14.3	6.2		5.5	B, E, I	良 好		灰 白	50	SK 345
2	高台付椀	HS	13.1	5.8		5.2	B, I	良 好		灰 白	20	SK 345

第574表 土壌(12) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 B II	H	12.0	4.1		3.8	B, D, E, K	普 通		暗茶褐	100	SK 347, 砂
2	高台付椀	HS	12.1	5.5		6.2	B, E, I	良 好		にぶい褐	80	SK 347
3	高台付皿	K				7.3	D, K	良 好		灰 白	25	SK 347
4	高台付皿	M				7.2	B	良 好		淡 緑	20	SK 347
5	高台付椀	M					B	良 好		淡 緑	10	SK 347
6	把手	NS					B, D	普 通		灰		
7	長頸壺	NS				7.8	B, D	良 好		(外)オリーブ 灰, (内)灰白	底部60 他 30	SK 347
8	長頸壺	K				13.4	B, D	良 好		灰白(外面や や灰強い)	15	SK 347
1	坏 C	H	11.9	3.9		5.2	B, E	不 良		淡 橙	70	SK 350
2	坏 A II	H	11.9	3.4		7.4	B, D, E, H	普 通		淡 橙	100	SK 350
3	坏 A IV	H	12.5	3.3		7.8	B, D, E	普 通		橙	90	SK 350
4	坏 C	H	12.0	3.3		8.0	B, D, E, H	普 通		暗 褐	90	SK 350
5	坏 A IV	H	12.1	3.0		7.7	B, D, E, H	普 通		淡 橙	50	SK 350
6	坏 A IV	H	11.4	3.0		7.1	B, D, E, H	普 通		淡 橙	40	SK 350
7	坏 C	H	13.0	3.7			B, D, E, H	普 通		黄 橙	40	SK 350
8	椀	NS	12.8	4.2		6.0	B, E, I	普 通		灰 白	80	SK 350
1	坏 A IV	H	12.9	3.2		7.6	B, D, E, H	普 通		淡 橙	100	SK 358
2	甕 A III e	H	9.2	11.5		7.4	B, E, H	良 好		にぶい橙	80	SK 358
1	高台付皿	K				5.8	B, G	良 好		灰 白	60	SK 359
1	椀	NS	13.1	4.3		4.8	B, I	良 好		褐 灰	40	SK 372
1	高台付椀	HS	12.2	5.0		5.8	B, C, E, I	良 好		にぶい黄橙	100	SK 373
2	台付甕	H	12.8				B, E, H	良 好		にぶい黄橙	25	SK 373
1	高台付椀	M				8.7	B	良 好		淡 緑	20	SK 374
1	坏 A VI	H					B, D, E, H	良 好		黄 橙	60	SK 375
1	高台付皿	M	15.3	2.4		7.2	B	良 好		淡 緑	40	SK 376, 底部ヘラ書き
1	暗文土器	H	12.5	3.9		6.3	B, D, E, H	普 通		黄 橙	60	SK 377, 放射状暗文
1	坏 A	H	11.9	3.1		8.5	B, E, H	普 通		黄 橙	30	SK 378
2	台付甕	H	13.7				B, H	良 好		にぶい橙	20	SK 378

第575表 土壌(13) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A VI	H	11.5	3.2		5.3	B, D, E, H	普 通		暗 褐	30	SK 381
1	高台付皿	HS	13.4	2.4		6.6	B, I	良 好		浅 黄	30	SK 385

第 576 表 土壌(13) 出土遺物観察表 (2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	壺 A	IV	H	11.9	3.3	7.0	B, D, E, H	普通	淡黄褐	30	SK 387	
2	壺 A	V	H	12.2	3.4	7.5	B, D, E, H	普通	淡橙	90	SK 387	
1	高台付椀	HS				7.3	B, E, I	良好好	にぶい黄澄	30	SK 395	
2	皿	HS	13.6	2.6		6.3	B, C, I	良好	橙	35	SK 395	
1	壺 A	V	H	12.6	3.2	7.3	B, D, E, H	普通	淡黄橙	30	SK 397	
1	壺 B	V	H	11.5	3.6	5.5	B, D, E, H	普通	明橙	100	SK 412	
2	壺 B	V	H	11.0	4.2	3.3	B, D, E, H	普通	暗褐	40	SK 412, 砂	
1	高台付椀	NS	13.5	4.8		4.2	B, G, I	良好好	黒褐	30	SK 413	

第 577 表 土壌(14) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	壺 C	H	13.3	3.9		6.1	B, D, E, H	普通	明橙	50	SK 416, 下層	
2	壺 C	H	12.3	3.3		6.2	B, D, E, H	普通	暗褐	90	SK 416	
3	壺 A	IV	H	12.1	3.5	6.5	B, E, H	不良	橙	80	SK 416	
4	壺 A	IV	H	13.0	3.5	8.6	B, D, E, H	普通	淡橙	60	SK 416, 下層	
5	皿 B	H	13.0	2.9		9.5	B, D, E, H	普通	淡褐	40	SK 416	
6	皿 A	H	15.6	3.0		10.1	B, D, E, H	普通	淡橙黃	40	SK 416	
7	椀	NS	12.7	3.4		8.0	B, D	良好好	灰白	40	SK 416, 最下層	
8	壺 C	H	11.9	2.9			B, D, E, H	普通	淡橙	40	SK 416	
9	高台付椀	黒色	15.4	6.5		6.5	B, C, G	良好好	(外)にぶい 黄橙, (内) 黒褐	75	SK 416	
10	高台付皿	K				6.5	B, D, K	良好好	灰	80	SK 416	
11	鉄鉢	S	23.5				B, J	良良好	灰	60	SK 416, 最下層	
12	甕 B III b	H	20.9				B, E, K	良好	橙	口縁20 他10	SK 416	
1	壺 A	IV	H	13.9	3.2	4.9	B, E, H	普通	暗白橙	50	SK 419	
1	壺 A	VI	H	12.0	3.2	7.5	B, E, H	普通	淡橙	80	SK 420	
1	壺 A	IV	H	11.9	3.4	7.7	B, E, I	普通	淡橙	30	SK 421	
2	皿	NS	14.8	2.1		6.0	B, I	良好好	橙	15	SK 421	
3	甕 B III b	H	21.8				B, C, E, H	良好	橙	20	SK 421	
1	壺 A	I	H	12.6	3.8	6.1	B, D, E, H	普通	淡橙	30	SK 423	
1	高台付椀	NS	12.2	4.9		6.5	B, E, I	普通	灰	70	SK 433	
1	壺 C	H	12.0	3.6		7.3	B, C, E, H	普通	淡橙	30	SK 436	
1	大甕	S					B	良好好	青灰	5	SK 439	
1	壺 B	V	H	12.1	3.9	4.2	B, E, H	普通	淡橙	50	SK 446, 砂	
2	壺 B	II	H	10.9	3.8	5.3	B, E, H	普通	暗褐	100	SK 446, 砂	
1	壺 A	IV	H	12.0	4.0	6.0	B, D, E, H	普通	淡橙	60	SK 448	
1	高台付椀	HS	12.3	4.4		7.1	B, E, G, I	普通	橙	95	SK 450	
1	壺	K				12.6	B	良好好	灰白	20	SK 428	

第 578 表 土壌(15) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	壺 A	IV	H	12.0	4.3	8.6	B, D, E, H	普通	淡橙	40	SK 453	
2	壺 A	IV	H	11.8	3.2	7.6	B, D, E, H	普通	橙	40	SK 453	
3	鉢	NS	27.2				B, C, E	良好好	灰白	10	SK 453	
1	甕	HS	24.2				F, G	良好	青灰	70	SK 464	
2	大甕	S	30.5				B, G	良好	青灰	20	SK 464	
1	皿	S	12.7	1.8		6.2	B	良好	灰	20	SK 465	
1	皿	S	13.0	3.5		6.3	B	良好	灰	40	SK 466	
1	陰刻花文輪 花付高台付椀	M	12.4	4.8		6.5	B	良好	淡綠	30	SK 473	
1	壺 A	H	11.9	3.0		8.0	B, E, H	普通	暗黄橙	20	SK 474	
1	壺 B	V	H	11.9	3.9	6.9	B, E, H	普通	明橙	30	SK 479	

第579表 土壌(16) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	鉢	S	18.8				B	良 好		青 灰	15	SK 494
1	坏 C	H	11.8	3.5		6.8	B, D, E, H	普 通		暗 橙	40	SK 495
1	坏 A V	H	12.2	3.6		5.3	C, D, E, H	普 通		淡 黄 褐	80	SK 501
2	坏 A V	H	11.8	3.8		5.5	B, D, E, H	普 通		橙	70	SK 501
1	耳皿	K				4.0	B, D	良 好		灰 白	40	SK 502, 被熱
2	羽口						B, E, H	良 好		淡 橙	80	SK 502
3	羽口						B, E, H	良 好		赤 橙	80	SK 502
1	坏 A VI	H	12.0	3.8		6.7		普 通		淡 黄 橙	40	SK 515

第580表 土壌(17) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A IV	H	10.8	3.2		5.5	B, D, E, H	普 通		淡 橙	30	SK 527
1	坏 A II	H	12.2	3.5		8.0	B, D, E	普 通		淡 橙	60	SK 528
2	坏 A IV	H	12.4	3.5		6.1	B, D, E, H	普 通		暗 橙	90	SK 528
3	高台付椀	HS	14.2	6.0		6.8	B, C, E, I	良 好		外 - 灰 内 - 灰黄	60	SK 528
4	高台付皿	K				7.7	B, D	良 好		灰 白	100	SK 528, 墨書
1	坏 A II	H	11.8	3.4		7.0	B, D, E, H	普 通		橙	30	SK 537
1	小皿	H	8.9	2.0		4.7	B, E, H	普 通		にぶい 橙	90	SK 545

第581表 土壌(18) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	段皿	M	17.3				B, D	良 好		(外) 灰白, (内) オリーブ灰	10	SK 552
1	坏 C	H	11.3	3.2		6.6	B, E, H	普 通		淡 橙	60	SK 553
2	坏 C	H	11.8	3.2		7.3	B, E, K	普 通		橙	50	SK 553
3	坏 A VI	H	10.6	3.2		3.7	B, D, E, G	普 通		淡 橙	30	SK 553
4	坏 A IV	H	11.8	3.6		3.9	B, E, H	普 通		淡 橙	30	SK 553
5	坏 C	H	12.1	3.5		4.2	B, E, H	普 通		暗 橙	90	SK 553
6	高台付椀	K				6.6	B, D, K	良 好		灰 白	25	SK 553
7	鉢	H	20.8				D, E, H	良 好		橙	20	SK 553
8	甕 B II a	H	19.1				B, C, E, H	普 通		橙	20	SK 553
9	台付甕	H	17.0				B, E, G	良 好		にぶい 黄 橙	80	SK 553
10	広口壺	S	22.4				B, G	良 好		青 灰	20	SK 553
1	皿 A	H	14.9	2.9		10.1	B, D, E, H	普 通		淡 橙	30	SK 571
1	坏 A IV	H	13.7	4.1		9.1	B, D, E, H	普 通		淡 橙	30	SK 573
1	坏 C	H	11.8	2.9		8.0	B, D, E, H	普 通		淡 橙	20	SK 581

第582表 土壌(19) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付椀	NS	12.3	4.5		5.5	B, C	良 好		黄 灰	30	SK 611
1	蓋	HS					B, I	良 好		浅 黄 橙	5	SK 618
2	長頸壺	K				10.6	B, D	良 好		灰	25	SK 618, 被熱
1	高台付椀	HS	14.1	5.8		6.4	B, E	普 通		灰 白	80	SK 619
2	蓋	S					B	良 好		灰オリーブ	10	SK 619
3	陰刻花文高台付椀	M					B	良 好		淡 緑	5	SK 619
4	甕 B II a	H	20.2				B, D, E, H	良 好		浅 黄 橙	20	SK 619
1	坏 C	H	11.0	13.6		7.8	B, E, H	普 通		暗 黄	30	SK 620

第583表 土壙(20) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	蓋	H S				13.6	B	普通		淡黄	5	SK 622
1	蓋	S					B, E, H, K	良好	好	灰	5	SK 631
1	甕 B III b	H S	20.0					良	好	にぶい橙	40	SK 632
1	高台付皿	H S	13.1	3.2		5.4	B, E, I	良	好	にぶい黄褐	95	SK 643
1	高台付皿	K				8.3	B, D	良	好	灰白 (灰強い)	50	SK 644, 墨書?
1	高台付椀	M					B	良	好	淡綠	5	SK 645
1	高台付椀	H S	17.0				B	良	好	灰	20	SK 646
2	台付甕	H	10.7				B, E, H, K	良	好	橙	25	SK 646
1	坏 A IV	H	11.8	3.8		5.7	B, C, E, H	普	通	明橙	100	SK 648
2	坏 A IV	H	12.1	3.8		7.1	B, C, E, H	普	通	淡橙	30	SK 648
3	坏 A V	H	12.9	3.7		8.2	B, D, E, H	普	通	暗橙	30	SK 648
4	坏 A VI	H	11.9	3.6		2.8	B, D, E, H	普	通	暗橙	40	SK 648
5	坏 A VI	H	13.4	3.0		5.0	B, E, H	普	通	淡橙	40	SK 648
6	椀	H S	13.6	3.3		7.2	B, E, I	普	通	灰	25	SK 648
7	高台付椀	N S	15.2	5.1		6.7	I	良	好	黄	90	SK 648
8	高台付椀	N S	14.2	5.3		5.8	B, E, G	良	好	白	75	SK 648, 墨書
9	甕 B I c	H	22.0				B, E	良	好	浅黄橙	25	SK 648
10	甕 B III a	H	20.1				B, E, H	良	好	橙	25	SK 648

第584表 土壙(21) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A VI	H	12.3	3.3		6.4	B, D, E, H	普	通	淡橙	60	SK 668
1	坏 C	H	12.0	3.0		8.4	B, D, E, H	普	通	淡橙	30	SK 670
1	高台付椀	K				6.7	B, D	良	好	灰白 (やや黄味)	40	SK 671, 被熱
1	高台付椀	H S				5.5	B, I	良	好	灰黄褐	20	SK 672
1	椀	H S				7.3	B, D	良	好	灰白	25	SK 679
1	椀	黑色	12.8	3.2		6.2	B, I	普	通	外-橙 内-黒褐	20	SK 686

第585表 土壙(22) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	皿	H S	13.7	3.0		6.1	B, I	普	通	にぶい橙	40	SK 688
2	高台付椀	K				8.4	B	良	好	灰白	20	SK 688
1	椀	N S	12.3	3.3		5.5	B, E, I	普	通	灰白	25	SK 711
2	椀	H S	13.2	4.0		5.7	B, E, I	普	通	にぶい黄橙	70	SK 711

第586表 土壙群出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	高台付皿	H S	13.2	2.7		5.8	B, E, I	良	好	褐灰	10	第1-A
2	高台付椀	N S	14.3	6.3		7.0	B	普	通	灰	50	第1-B
3	甕 B III c	H	20.7				B, E, H	良	好	浅黄橙	20	第1-B
4	坏 A IV	H	12.7	2.9		8.5	B, E, H	普	通	黄橙	40	第1-C
5	椀	N S	12.2	3.3		6.0	B, C, I	良	好	黄灰	60	第1-C
6	高台付椀	N S	13.6	15.2		6.8	B, E	良	好	黄灰	60	第1-C
7	高台付椀	N S	13.8	6.2		6.4	B, D, E	良	好	黄灰	80	第1-C
8	高台付椀	K	14.9	4.4		6.5	B, D, K	良	好	灰白	底部100 他20	第1-C, 墨書
9	高台付椀	K	16.0	14.8		7.4	B, D	良	好	灰白	70	第1-C, 被熱
10	高台付椀	K	18.8	6.2		9.0	B, D	良	好	灰白 (やや黄味)	25	第1-C
11	長頸壺	K				10.6	B, D	良	好	灰白 (灰強い)	20	第1-C

第587表 土壌群出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
12	坏	A V	H	12.2	3.4	8.0	B, E, H	普通		橙	100	第1-D
13	椀	S	11.6	3.7		5.5	B	良好		青灰	40	第1-D
14	高台付椀	K	15.6	4.8		7.2	B, D	良好		灰白 (やや灰強い)	20	第1-D
15	高台付椀	K	17.2				B, D	良好		灰白	25	第1-D, 被熱
16	高台付椀	HS	16.8	8.8		6.1	B, C, G	やや不良		浅黃橙	15	第1-D
17	鉢	HS	30.2				B, H	普通		褐灰	20	第1-D
18	甕	S	28.5				B, G	良好		青灰	20	第1-D
19	大甕	S					B	良好		青灰	5	第1-D
20	坏	A V	H	13.0	3.9	8.0	B, D, E, H	普通		暗褐	100	第1-F
21	坏	A IV	H	13.8	4.5	5.2	B, E, H	普通		淡橙	40	第1-F
22	皿	B	H	13.1	2.5	5.2	B, D, E, H	普通		淡黃橙	30	第1-F
23	椀	NS	12.9	3.8		6.0	B	良好		灰	80	第1-F, 墨書
24	椀	NS	13.2	3.5		6.0	B, E	良好		灰白	20	第1-F
25	把手	K					B, D	良好		灰白	5	第1-H
26	坏	A VI	H	12.3	3.6	6.1	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第1-I
27	高台付椀	HS	12.9	5.1		6.4	B, E	良好		にぶい黄橙	90	第1-I
28	甕	S	21.8				B, G, K	良好		青灰	15	第1-I
29	坏	A V	H	11.1	3.5	8.0	B, D, E, H	普通		淡橙	100	第1-J
30	坏	A V	H	11.0	3.2	6.5	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第1-J
31	坏	A IV	H	11.0	3.2	7.5	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第1-J
32	坏	A V	H	12.0	3.5	7.9	B, D, E, H	普通		淡橙	50	第1-J
33	坏	A IV	H	12.2	3.5	7.2	B, D, E, H	普通		淡橙	50	第1-J
34	高台付椀	NS	13.9	5.3		6.0	B, I	良好		灰白	75	第1-J
35	高台付皿	HS	14.4	2.7		8.0	B, C, I	良好		黄灰	10	第1-J
36	甕 B III a	H	13.8				B, E, H	良好		にぶい橙	25	第1-J
37	長頸壺	S					B, K	良好		青灰	90	第1-J
38	双耳壺把手	NS					B, C, G, H	普通		灰白	10	第1-J
40	坏	A VI	H	11.9	3.7	6.8	B, D, E, H	普通		淡黄褐	100	第1-M
42	長頸壺	K				8.2	D	良好		灰	20	第1-N
43	椀	S	12.8	3.9		6.7	B	良好		灰	80	第1-O
44	高台付椀	K				6.9	B, D	良好		灰白 (黄味)	100	第1-O, 被熱
45	高台付皿	K	14.2	2.9		7.0	D	良好		灰白	25	第1-Q, 被熱
被熱4	高台付皿	K				6.9	B, D	良好		灰白	底部100	第1-Q, 墨書
	耳皿	K	7.3	0.7		5.0	D	良好		灰白	10	第1-Q
	大甕	S					B	良好		青灰	10	第1-Q
	坏	A IV	H	12.0	3.4	8.1		普通		淡橙	70	第2-B
2	坏	A IV	H	11.7	3.3	7.8		普通		淡橙	30	第2-B
4	蓋	HS	13.4					普通	R	にぶい橙	5	第2-B
5	大甕	S						良好	R	灰	5	第2-B
7	坏	A II	H	13.3	3.6	5.2	B, D, E	普通		淡橙	40	第2-F
8	坏	A IV	H	12.9	3.5	6.1	B, D, E, H	普通		暗茶褐	30	第2-G
9	椀	HS	13.1	3.8		6.2	B, C, I	普通		橙 (口縁部灰)	30	第2-G
1	高台付椀	HS	15.8	5.4		6.7	B, E, I	普通		橙	50	第3-B
2	高台付皿	K				7.8	B, D	良好		灰白	10	第3-C, 被熱
3	坏	A IV	H	10.8	3.2	7.3	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第3-D
4	坏	A I	H	12.9	3.3	8.9	B, D, E, H	普通		淡黄橙	30	第3-F
5	高台付椀	K				7.9	B, D	良好		灰白	40	第3-F

第588表 土壙群出土遺物観察表(3)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
6	高台付皿	H S	12.5	2.4		5.7	B, I	良好		にぶい黄橙	25	第3-F
7	甕B II b	H	19.6				B, C, E, H	良好		浅黄橙	25	第3-F
8	坏(暗文)	H	14.1	3.7		9.2	B, E, G, H	普通		淡橙	60	第3-I, 放射状暗文
9	皿A	H	14.6	2.5		10.6	B, D, E, H	普通		淡橙	60	第3-I
10	坏A IV	H	11.7	2.7		7.1	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第3-J
11	鉢	S	20.0					良好	L	灰	5	第3-L
12	壺	S				16.7		良好		青灰	底部100 他25	第3-L
13	皿B	H	14.4	2.7		9.4	B, D, E, H	普通		茶褐	50	第3-P
14	高台付椀	K				9.7	B, D	良好		灰白 (やや黄味)	25	第3-Q
15	坏A VI	N S	13.8	5.2		5.8	D, E, H	良好		灰白	90	第3-S
16	高台付椀	N S	11.7	2.9		6.9	B, E, I	普通		淡橙	30	第3-S
1	皿B	H	14.5	7.4		2.2	B, D, E	普通		淡橙	20	第4-A
2	椀	S	11.3	5.6		3.6	B, C	普通		褐灰	70	第4-A
3	椀	N S	12.3	6.4		3.6	B	普通		褐灰	50	第4-A
4	高台付椀	N S	14.5	7.6		6.0	B	良好		灰	40	第4-A
5	坏A VI	H	12.0	3.3		6.0	B, D, E, H	普通		淡橙	100	第4-G
6	高台付皿	K	14.7	3.0		6.4		普通				第4-G
7	高台付椀	H S	16.6	7.3		7.0	B, C, I	良好		にぶい黄橙	25	第4-G
8	坏C	H	12.0	3.3		6.6	B, D, E, H	普通		明橙	50	第4-L
9	坏A IV	H	12.8	3.5		8.8	B, D, E, H	普通		淡橙	100	第4-L
10	坏A V	H	12.4	3.4		8.2	B, E, H	普通		淡橙	100	第4-L
11	坏A V	H	12.8	3.4		7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	70	第4-L
12	坏A V	H	12.2	3.6		5.1	B, D, E, H	普通		暗褐	90	第4-L
13	坏A IV	H	13.0	3.5		7.0	B, E, H	普通		淡橙	90	第4-L
14	坏B I	H	11.8	4.6		6.0	B, E	普通		淡白	30	第4-L
15	椀	N S	12.4	3.8		6.4	B, G, I	良好		灰白	95	第4-L
16	皿	N S	14.2	2.5		7.8	B, C, E, I	良好		橙白	40	第4-L
17	高台付椀	N S	13.1	4.9		6.7	B, E, I	良好		灰	100	第4-L
18	高台付椀	S	15.0	5.3		6.4	B	良好		黄灰	50	第4-L
19	高台付椀	H S	13.8	5.4		6.8	B, I	良好		灰白	75	第4-L
20	高台付椀	N S	13.9	4.4		6.0	B, I	良好		褐灰	25	第4-L
21	高台付椀	K	13.4	14.1		6.9	B, D	良好		灰白	50	第4-L
22	高台付皿	K	13.7	3.1		6.2	B, D, H	良好		灰白	60	第4-L
23	甕A III b	N S	20.6				B, C, E, H	普通		橙白	25	第4-L
24	台付甕	H	11.9				B, C, E, H	良好		橙白	25	第4-L
25	壺	H				9.6	B, C, E, H			底部100		第4-L
26	台付甕脚	H				8.6	B, E, H			40		第4-L
27	壺	S					B, D	不良		淡灰	20	第4-L
28	甕	S	50.0				B, D, G	好		青白	15	第4-L
29	坏A III	H	12.0	3.9		6.7	B, D, E, H	普通		橙白	70	第4
30	椀	S	12.8	3.7		7.2	B, I	良好		灰	25	第4
31	椀	H S	13.0	3.8		6.4	B, G, I	良好		にぶい黄橙	50	第4
32	椀	N S	12.6	3.5		5.7	B	良好		灰白	50	第4
33	皿	S	12.5	2.2		6.7	B, C	普通		灰白	50	第4
34	高台付椀	N S	17.2	7.4		7.0	B, E, I	良好		灰白	25	第4
35	高台付椀	H S	14.2	6.7		7.3	B, I	普良		灰白	30	第4
36	高台付椀	N S				7.0	B, E, I	良好		灰白	50	第4
37	高台付皿	N S	12.0	2.8		6.0	B, I	良好		灰白	40	第4
38	高台付皿	K	14.1	2.8		6.5	B, D	良好		灰白	60	第4
39	甕B III b	H	17.1				B, E, H	良好		浅黄橙	20	第4
40	台付甕	H	12.2				B, E, H	普良		灰白		第4
41	鉢	N S	24.5				B, C	良好		灰白	10	第4

(7) 井戸跡

中堀遺跡では、3井の井戸跡を検出した。井戸跡は、北西部・中央部・南東部のそれぞれ掘立柱建物跡群の各群に1井ずつ確認できたが、中央部の第2号井戸跡のみは、掘り方の途中で掘削を停止したようである。そのため井戸跡は、北西部と南東部の竪穴式住居跡を含む建物群に伴うと考えたい。

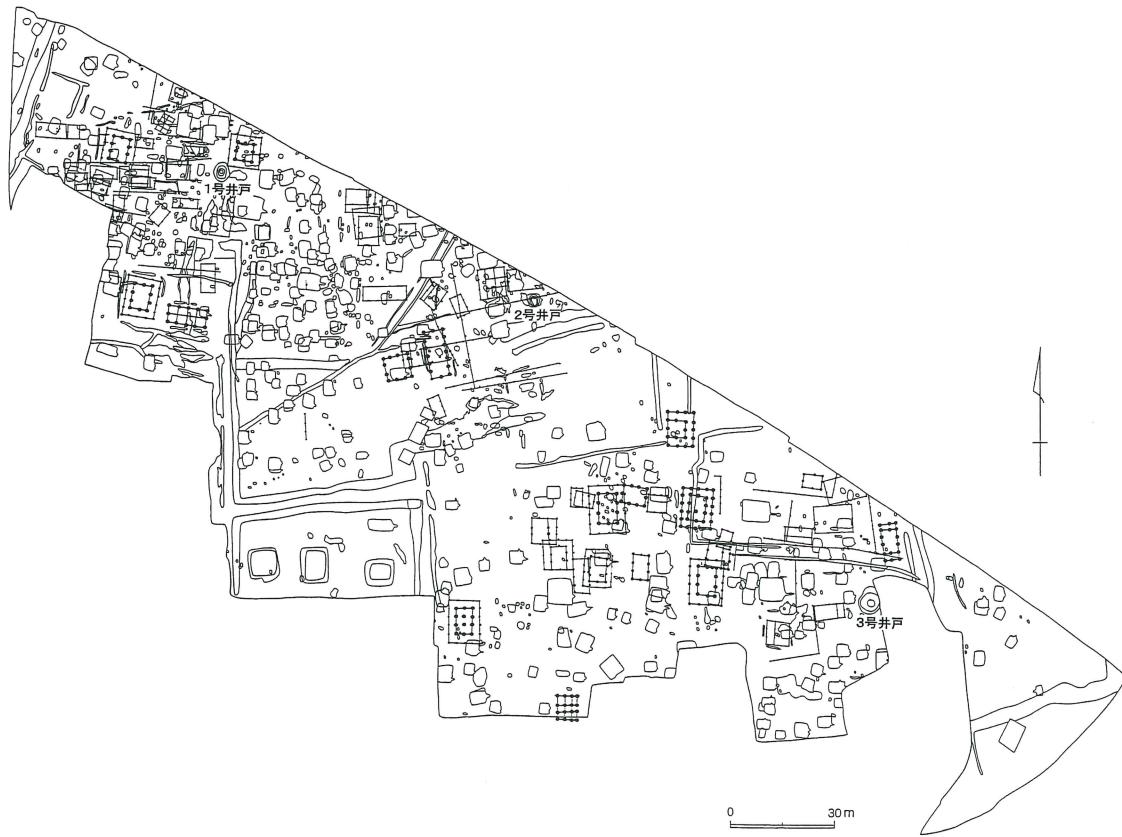
3井とも大形の掘り方をもった井戸跡であった。小形の井戸は検出できなかった。第1号、第3号井戸跡は、炭化した井戸枠を確認できた。また第1号井戸跡

では、開口部の周囲に溝と小規模な柱穴が検出できた。井戸跡を囲む遮蔽物や上屋が、設置されていた可能性が高い。

井戸跡から出土した遺物は決して多くはないが、中堀VIII期からIX期にかけての遺物であった。出土した土器は供膳具に限られ、煮沸具は出土しなかった。

なお旧地表面から50cmのところに浅間山B軽石が、レンズ状に堆積していた。

第735図 井戸跡全体図



第1号井戸（第736図）

F・G-7グリッドに確認した。

周辺は、掘立柱建物跡・土壙・小穴などの遺構が密集していた。覆土上面に火山灰や鉄分を多量に含む黒色土が堆積し、容易に確認できなかった。しかし、多量の川原石や砂利が覆土に含まれ、調査は困難を極めた。

井戸の掘り方の形状は、方形で、確認面の規模は、長軸4.03m・短軸3.7mであった。

掘削方法は、確認面下2mまで、地山をロート状に掘り下げ平坦面を造った後一回り小さくさらに掘り下げていた。平坦面まで井戸枠を設置し、黄褐色土の粘質土を主体とした第11～14層で掘り方との隙間を埋めていた。

炭化物の層（第15層）が、平坦面付近に検出でき、井戸枠と判断した。不整形な八角形が確認でき、井戸枠は八角形と推定した。井戸枠の規模は、一辺0.38m～0.56mで対角線の長さ2.2m前後であった。

井戸の深さは、3.5mまで確認できた。周辺の遺構の調査終了後、重機を使用して底面の検出作業を試みたが、崩落が激しく測量は行えなかった。

掘り方を囲んで、円形の狭く浅い溝を検出した。長軸5.9m・短軸5.09mを測り、溝の幅は0.3m・深さ0.18mであった。溝の中から径0.2～0.35m・深さ0.25m前後の小穴を検出した。小穴は、3基1組として掘り方の四隅付近に配置されていた。上屋もしくは壁などの構造物の存在を推定させた。

遺構の切り合い関係は、第4号掘立柱建物跡より新しかった。

1から7は、土師器の坏Bである。8は、土師器の高台付坏である。3・5・7は底部、8は口縁部が欠損している。

9・11から14は、椀である。11・13は、須恵器（NS）である。ほかは、須恵器（HS）である。10・15から30は、高台付椀である。18から20は、須恵器（NS）である。28は、須恵器（S）である。ほかは、須恵器（HS）である。10・15は高台、26・29は底部が欠損している。27は底部のみである。

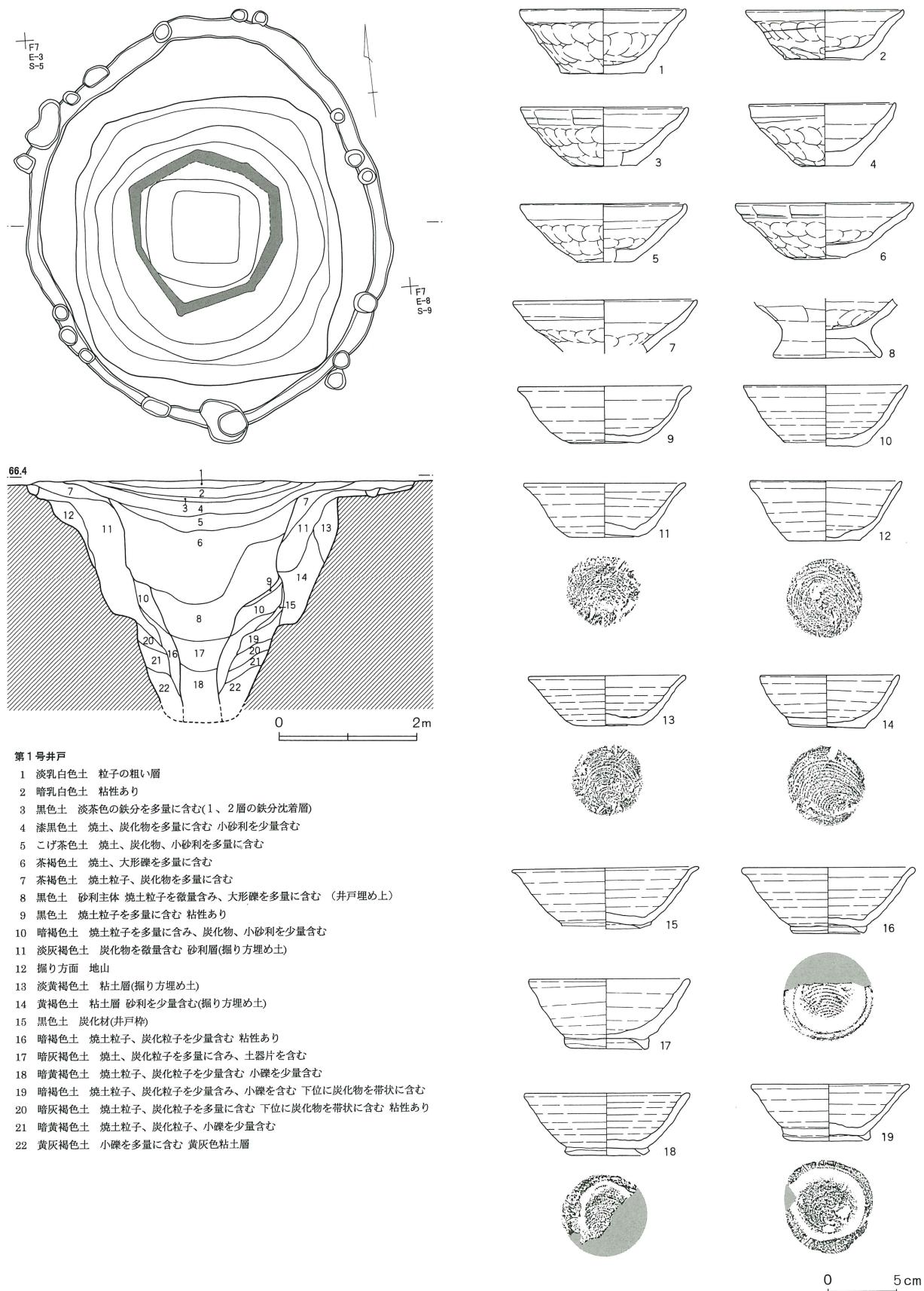
31は、須恵器（NS）の高脚高台付椀である。

32・33は、灰釉陶器の高台付皿である。34は、綠釉陶器の高台付皿である。35は、綠釉陶器の高台付皿である。32は底部が欠損している。33・34は底部のみで

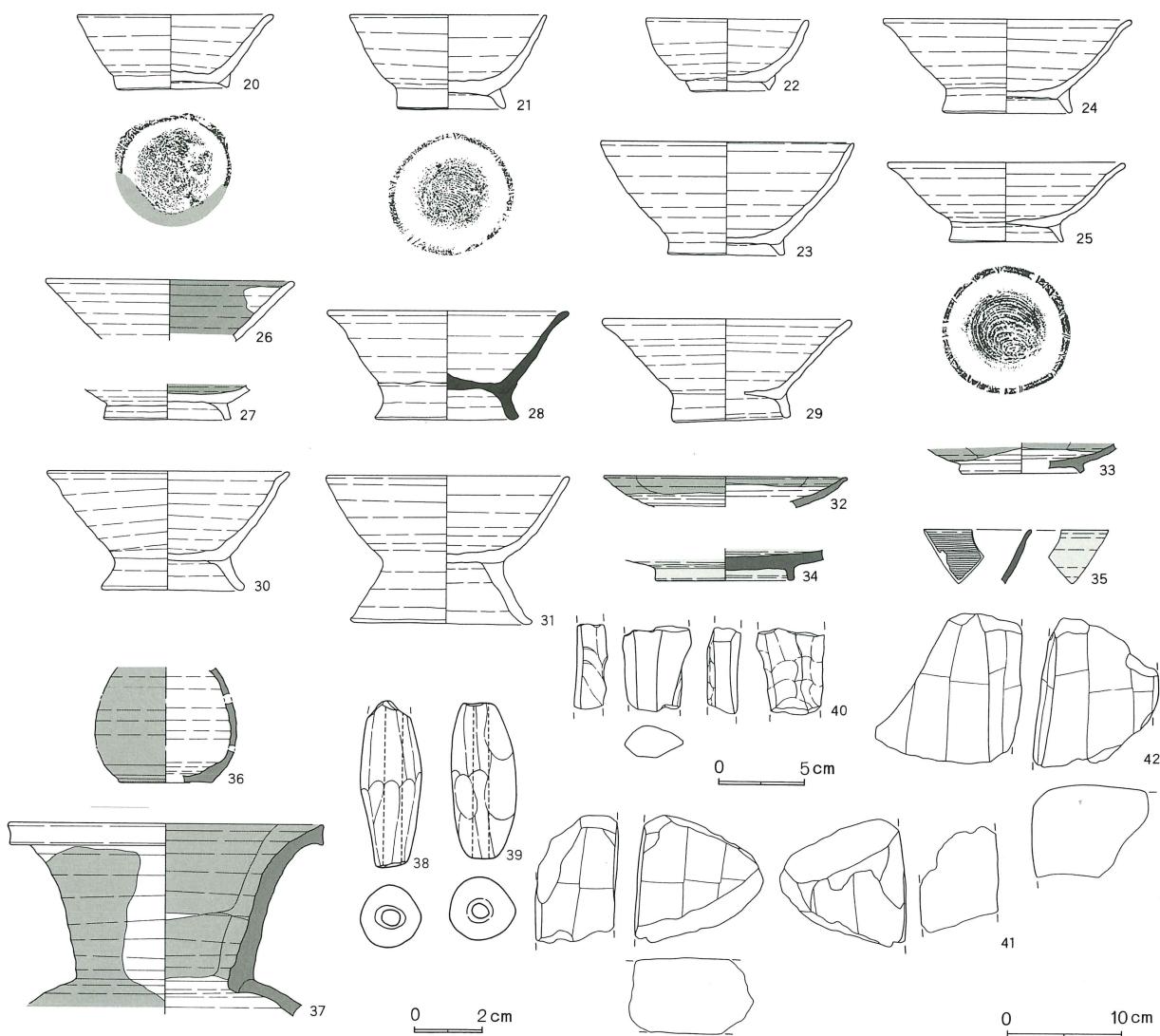
第589表 第1号井戸跡出土遺物観察表（1）

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	H	11.9	4.7		6.2	B, D, E, H	普通	淡 橙	20	
2	坏	B	H	11.3	3.6		5.7	B, D, H	普通	橙	60	
3	坏	B	H	12.0	4.3		4.6	B, D, E, H	普通	暗褐	30	砂
4	坏	B	H	10.5	4.5		3.7	B, D, E, H	普通	暗茶褐	40	
5	坏	B	H	11.9	4.2		4.1	B, E, H	普通	黄 橙	50	砂
6	坏	B	H	12.8	4.0		3.7	B, E, H	普通	黄 橙	90	
7	坏	B	H	13.2				B, E, H	普通	暗 茶	30	
8	高台付坏	H				7.5	B, E, H	普通	暗 黄 橙	30		
9	椀	HS	12.5	4.1		5.1	B, E, G, I	良好	灰 黄	30		
10	椀	HS	11.9	5.0			B, E, G	良好	黄 灰	60	底土出土	
11	椀	NS	11.5	3.9		5.1	B, E, G	良好	灰	60		
12	椀	HS	10.9	4.3		5.3	B, E, G	良好	にぶい黄 橙	100		
13	椀	NS	11.2	3.6		4.7	B, E, G	良好	灰オリーブ	95		
14	椀	HS	10.0	3.7		5.2	B, E, G	普通	にぶい 橙	ほぼ100	底面付近	
15	高台付椀	HS	13.3	4.7			B, E, I	良好	褐 灰	30		
16	高台付椀	HS	12.3	4.8		5.1	B, E, G	良好	黄 橙	40		
17	高台付椀	HS	11.4	5.0		5.3	B, E, G	普通	浅黄 橙	80		
18	高台付椀	NS	11.7	4.5		5.1	B, E, G	良好	褐 灰	40		
19	高台付椀	NS	11.2	4.1		5.3	B, E	良好	灰 白	95	底土出土	

第736図 第1号井戸跡・出土遺物（1）



第737図 第1号井戸跡出土遺物（2）



ある。35は口縁部破片である。

36は、灰釉陶器の小瓶である。37は、灰釉陶器の長頸壺である。36は胴部上位以上、37は胴部上位以下が欠損している。

38・39は、土錘である。

40は、砥石である。

41・42は、凝灰岩の切石である。

第2号井戸（第738図）

J-16グリッドに確認した。

大形の川原石を多量に含む砂利層が確認面のため確認作業は困難であった。

第163号住居跡が埋まった後、その窪みを利用して井戸の構築を試みたが、なんらかの理由で途中で放棄したと推定した。

掘り方は円形で、規模は長軸4.73m・短軸4.58m・深さ1.5mであった。

覆土は、砂質の黒色土と地山の黄褐色土を含む土が、交互に堆積していた。

遺物は、底面から綠釉陶器の輪花碗（9）、鉄製品（14）が出土した。

1から3は、土師器の坏Bである。

4・5は、須恵器（NS）の高台付碗である。6は、須恵器（NS）の高台付皿である。4は高台、6は底

第590表 第1号井戸跡出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
20	高台付椀	NS	11.0	4.3		6.3	B, E, G	良 好		灰 黄	90	
21	高台付椀	HS	11.3	5.4		5.9	B, E, G	良 好		にぶい黄橙	90	
22	高台付椀	HS	9.2	4.1		4.3	B, E, G, I	良 好		にぶい褐	80	底土出土
23	高台付椀	HS	14.5	6.4		6.1	B, E, I	良 好		浅 黄	30	底面付近
24	高台付椀	HS	14.0	5.3		7.1	B, E	良 好		褐 灰	70	
25	高台付椀	HS	13.4	4.5		6.1	B, E, I	良 好		にぶい橙	50	
26	高台付椀	HS	14.1				B, E, I	良 好		灰 褐	5	
27	高台付椀	HS				6.6	B, E, I	良 好	(外)褐灰 (内)黒褐		10	黒色処理
28	高台付椀	S	13.5	6.2		7.2	B, E	良 好		褐 灰	60	
29	高台付椀	HS	14.2	5.8		5.0	B, E, I	良 好		にぶい黄橙	100	
30	高台付椀	HS	13.9	6.8		7.7	B, E, G	良 好		褐 灰	70	底土出土
31	高脚高台付椀	NS	13.8	8.4		9.8	B, E	普 通		橙	95	底土出土
32	高台付皿	K	13.7				B, D	良 好		灰 白	10	
33	高台付皿	K				6.6	B, D	良 好		灰 白	10	
34	高台付皿	M				7.2	B	良 好		淡 緑	10	
35	高台付椀	M					B, I	良 好		淡 緑	5	
36	小瓶	K				5.3	B	良 好		灰 白	10	
37	長頸壺	K	17.7				B, D	良 好		灰 白	80	被熱

第591表 第1号井戸跡出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
38	にぶい黄橙	70		1.8	0.5	12.6	B 1	II a	86	
39	橙	100	4.5	1.9	0.5	13.9	B 1	I a	87	

部が欠損している。

7は、灰釉陶器の高台付椀である。8は、灰釉陶器の高台付皿である。9は、緑釉陶器の輪花付高台付皿である。10は、灰釉陶器の耳皿である。11は、緑釉陶器の高台付皿である。12は、緑釉陶器の高台付椀であ

る。7・11は口縁部、8は底部が欠損している。10は耳のみである。12は体部破片である。

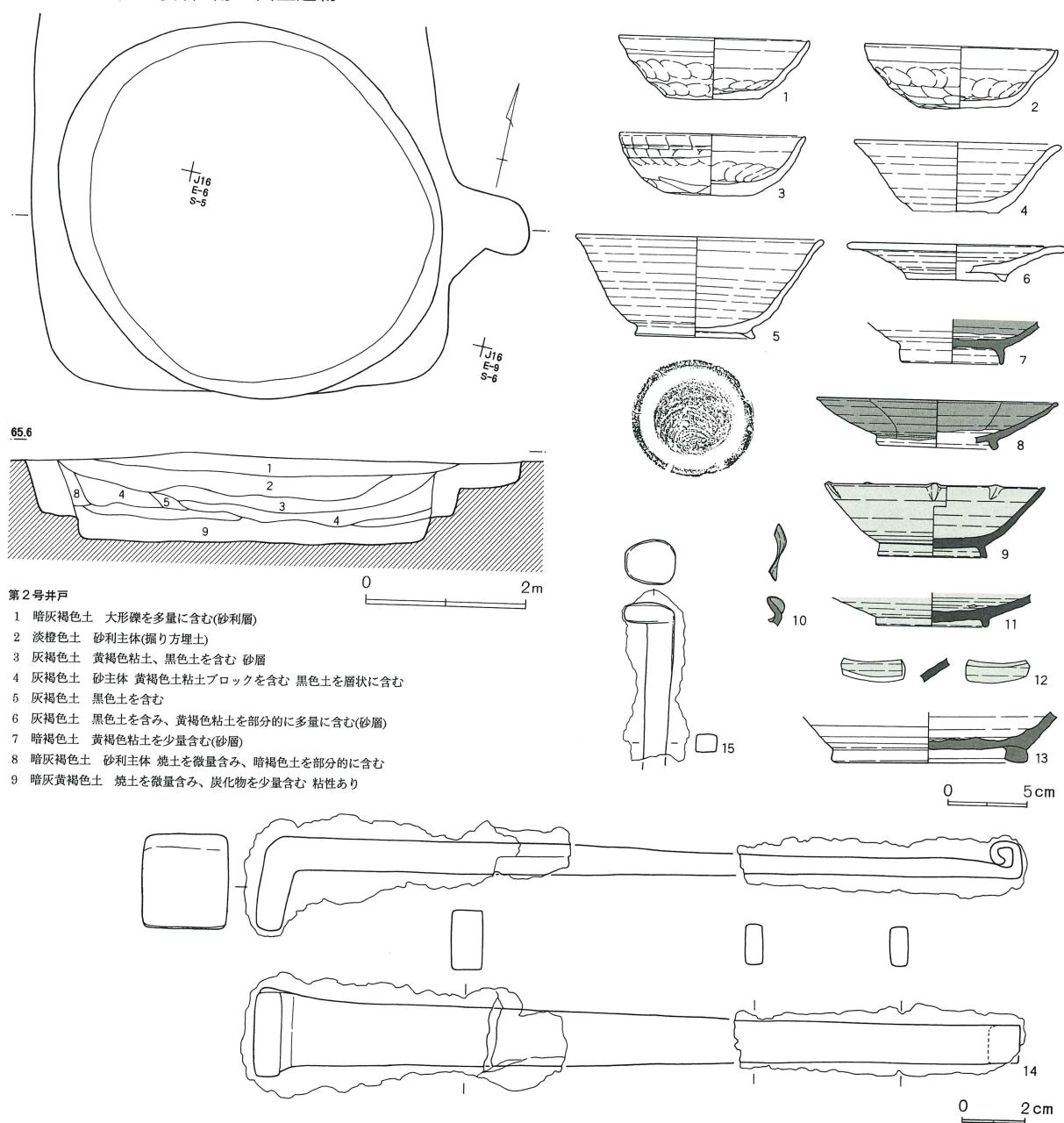
13は、灰釉陶器の長頸壺である。底部のみである。

14は、鉄製の掛金。15は、鉄釘である。

第592表 第2号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壺	B H	11.6	3.8		6.0	B, D, E, H	普 通		淡赤 橙	40	
2	壺	B H	11.2	3.9		5.7	B, E, H	普 通		暗赤 褐	100	
3	壺	B H	11.3	3.7		5.5	B, E, H	普 通		淡 橙	90	
4	高台付椀	NS	12.3	4.8		4.0	B, E, G	良 好		灰 白	30	
5	高台付椀	NS	14.9	6.1		7.1	B, E, I	良 好		黄 灰	70	
6	高台付皿	NS	13.2	2.2		5.7	B, E, G	良 好		灰 黄	25	
7	高台付椀	K				6.1	B, D	良 好		灰 白	50	被熱
8	高台付皿	K	14.7	3.0		7.0	B	良 好		灰 白	80	被熱
9	輪花付高台付皿	M	13.3	4.5		6.8		良好(硬質須恵器と同様)		濃 緑	50	
10	耳皿	K					B	良 好		灰 白	3	被熱
11	高台付皿	M				7.2	B	良 好		淡 緑	10	
12	高台付椀	M					B, D	良 好		淡 緑	5	
13	長頸壺	K				11.2	B, D	良 好		灰 白	25	被熱

第738図 第2号井戸跡・出土遺物



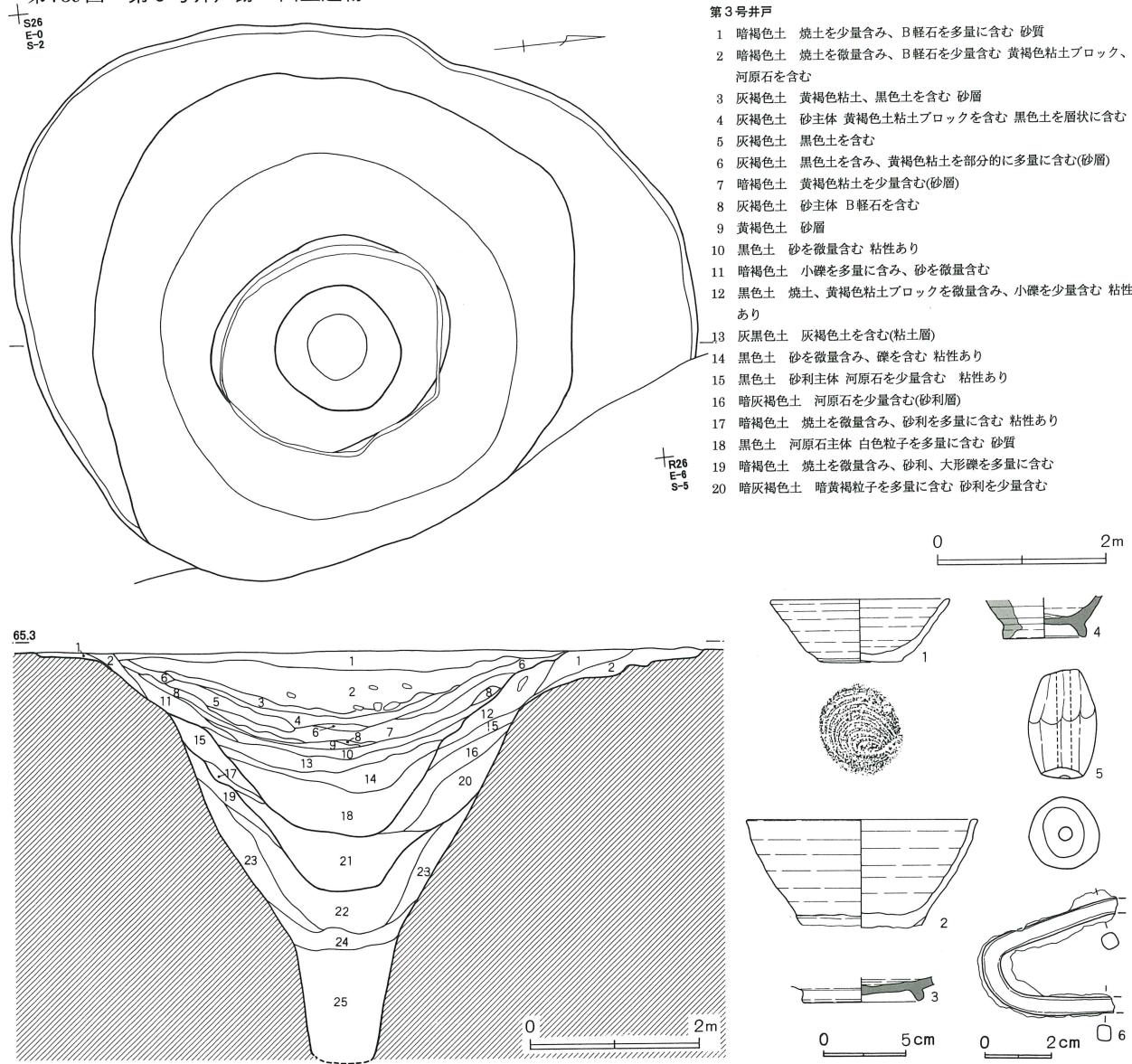
第593表 第3号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	H S	10.4	3.7		4.5	B, E, G	良	好	灰	70	
2	高台付椀	H S	13.0				B, E, I	良	好	浅	30	
3	高台付皿	K				6.5	B	良	好	灰	底部100	
4	長頸壺	K				4.9	B, D	良	好	白	20	被熱

第594表 第3号井戸跡出土土錐観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
5	明赤褐	100	3.2	2.0	0.4	13.5	B 1	I a	88	

第739図 第3号井戸跡・出土遺物



第3号井戸（第739図）

R・S-26グリッドに確認した。

砂利層が構造確認面のため、覆土下層に大形の川原石が多量に含まれていた。さらに湧水が激しく、調査は困難を極めた。

覆土上層は、火山灰を含む黒色の砂質土と、地山のブロックを含む灰褐色の砂質土が交互に薄く堆積していた。

掘り方は、砂利採取の搅乱によって一部破壊されていた。形状は、橢円形であり、確認面の規模は長軸7.9m・短軸6.3mであった。

構築方法は、確認面から深さ3.1mまでロート状に掘り下げ、井戸枠を設置したのち、砂利を主体とする暗灰褐色土などで、掘り方との隙間を埋めていた。

確認面下2.4m付近で橢円形の炭化物層が確認でき、円形の井戸枠と推定した。井戸枠の規模は、長軸2.4m・短軸2.15mであった。

井戸の深さは、4.84mまで確認できたが、湧水と、壁面の崩落の恐れから、底面の検出は行えなかった。

1は、須恵器(HS)の碗である。2は、須恵器(HS)の高台付碗である。3は、灰釉陶器の高台付皿である。2は高台が欠損している。3は底部のみである。

4は、灰釉陶器の長頸壺である。底部のみである。

5は、土鍤である。

6は、棒状鉄製品である。

(8) 竪穴状遺構

14基の竪穴状遺構が、調査区の北西部から南西部にかけて検出できた。ここで竪穴状遺構として報告したものは、方形の掘り込みの一方にカマドを備えた一般的な竪穴式住居跡と異なる遺構を扱うこととする。発掘調査中に工房跡（S X）として調査した遺構である。

規模・形状ともに不揃いで、柱や貯蔵穴などの特別な施設を伴う遺構も少ない。

しかし大甕や土錘などが出土し、第7号竪穴状遺構

からは、土師器の三足付き香炉やトリベが出土するなど、周辺の建物と密接な関連が予測される。とくに第5号～第14号竪穴状遺構は、第13号区画溝内の建物地業跡群の中にあったことから瓦の出土もみられた。

また須恵器大甕の出土した第4号竪穴状遺構は、出土状態から須恵器大甕を据え付けた遺構とは考えにくく、破損した須恵器大甕を廃棄した遺構と判断した。

第740図 竪穴状遺構全体図



第595表 横穴状遺構一覧表

番号	グリッド	長軸	短軸	深さ	長軸方向	形状	時期	備考
1	B-3・C-2・3	2.70	1.88	0.12	N-23°-E	南壁中央が張り出す不正長方形	10世紀後半	
2	F-5・G-5	4.09	1.97	0.12	N-84°-W	長方形	10世紀前半	
3	S-17・T-17	5.57	2.30	0.24	N-0°-E	北壁が短い台形	9世紀後半	
4	O-18	5.76	2.42	0.23	N-12°-E	長方形	9世紀後半	
5	R-8	1.97	1.27	0.06	N-81°-E	長方形	不明	
6	Q-9・R-9	4.30	2.18	0.18	N-2°-E	長方形	9世紀後半	
7	Q-9	4.91		0.55	N-86°-W	方形	9世紀後半	
8	R-11	2.81	1.88	0.15	N-61°-E	長方形	不明	
9	Q-10・11・R-10・11	3.72	3.03	0.41	N-88°-E	方形	不明	
10	R-10	3.30	2.57	0.18	N-73°-E	方形	9世紀前半	
11	Q-10	2.24		0.15	N-90°-E	L字状	不明	
12	R-11	3.30	2.97	0.27	N-35°-W	方形	不明	
13	R-11	2.33		0.12	N-87°-W	長方形	10世紀前半	
14	P-11・Q-11	2.12		0.42	N-82°-W	長方形	不明	

第1号横穴状遺構（第741図）

B-3、C-2・3グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・溝などがみられたが、比較的疎らであった。

形状は、南壁中央の張り出す不正長方形で、規模は長軸2.7m・短軸1.88m・深さ0.12mであった。

長軸方向は、N-23°-Eであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1は、須恵器（NS）の椀である。2・4から6は、高台付椀である。3は、須恵器（NS）の高台付椀である。1・3・5は口縁部、4は底部が欠損している。5は底部のみである。

7は、灰釉陶器の輪花付高台付椀である。底部が欠損している。

8は、須恵器（HS）の羽釜である。胴部中位以下が欠損している。

東隅に、径0.3m・深さ0.2~0.27mの小穴を3基検出した。

遺構の切り合い関係は、第61・62・72号土壙より古かった。

1は、須恵器（S）の椀である。2は、須恵器（S）の高台付椀である。3・4は、須恵器（HS）の高台付椀である。5から8は、須恵器（NS）の高台付椀である。1は底部のみである。2は底部、3は口縁部と高台、4から7は口縁部が欠損している。8は底部のみである。6は内面のみ黒色処理が施されている。

9は、灰釉陶器の高台付椀である。底部のみである。

10から12は、土師器の甕である。13から14は、高台付鉢である。15は、須恵器（S）の壺である。16から23は、土錐である。10は胴部中位以下、15は口縁部と胴部中位以下が欠損している。11・12は脚部のみ、13・14は高台のみである。

第2号横穴状遺構（第741図）

F・G-5グリッドに確認した。

周辺は、掘立柱建物跡・土壙・小穴などが密集し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸4.09m・短軸1.97m・深さ0.12mであった。

長軸方向は、N-84°-Wであった。南壁中央と北

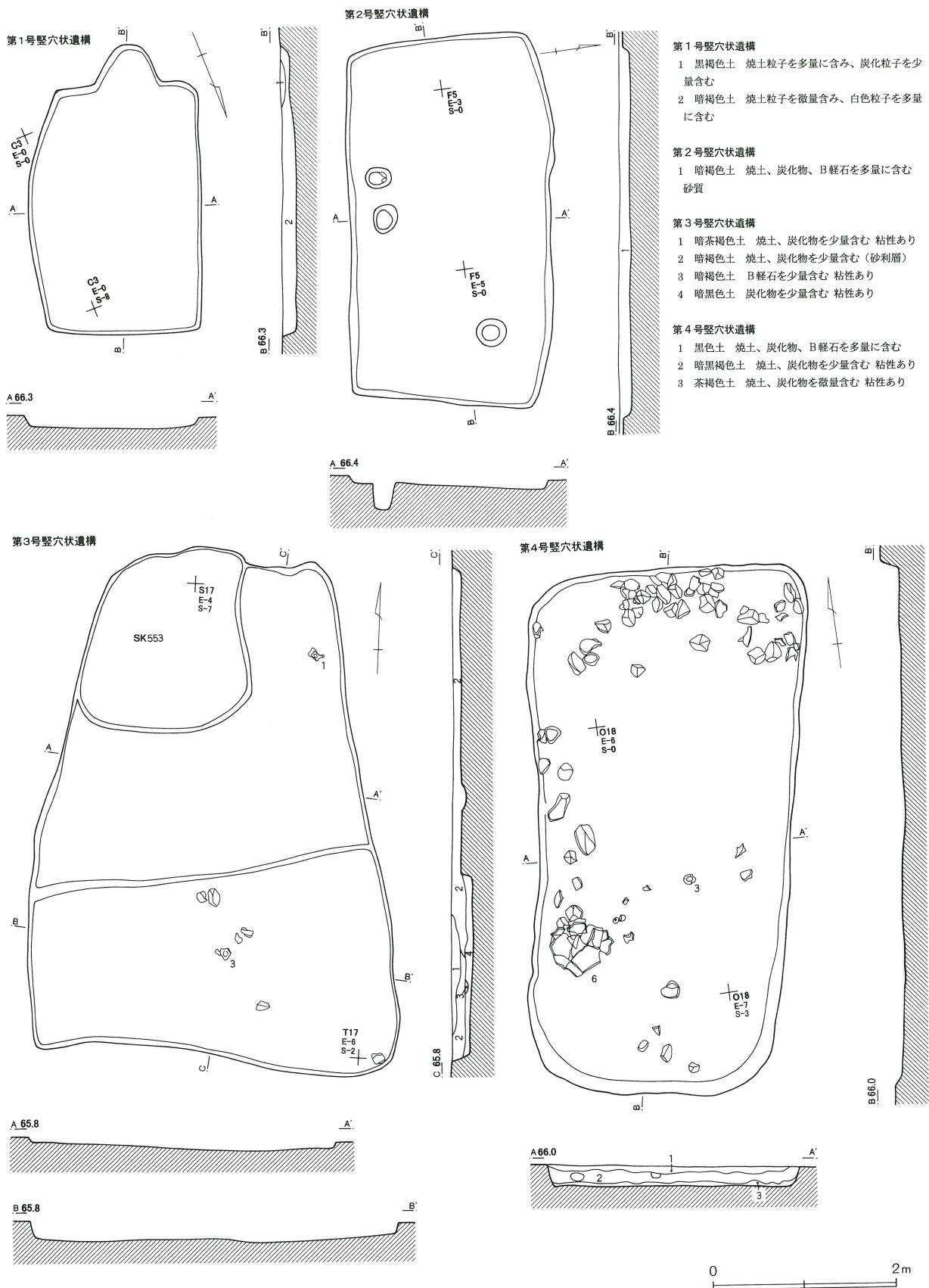
第3号横穴状遺構（第741図）

S・T-17グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・土壙・小穴などが比較的密集し、また覆土が地山と類似していたため確認に手間取った。

形状は、北壁が短い台形で、規模は長軸5.57m・短軸2.3m・深さ0.24mであった。

第741図 第1～4号竪穴状遺構



長軸方向は、N-0°-Eであった。

南側が、長さ4m・幅2.17mにわたって一段低くなっていた。

遺構の切り合い関係は、第553号土壙より古かった。

南側の一段低い部分から、須恵器壺（3）が出土している。

第596表 第1号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	NS				5.9	B, D, E	良 好	R	灰 白 外-淡橙。 内-淡黄 橙	40	
2	高台付椀	HS	15.4	6.2		6.5	B, C, E	良 好	R			底部-50。体・口縁-10
3	高台付椀	NS				6.4	B, D	良 好	L	灰	25	
4	高台付椀	HS	12.2	4.1		6.2	B, D, E	良 好	R	淡橙。底 部内面- 黒	30	
5	高台付椀	HS				6.1	B, C	良 好	R	明灰褐	40	
6	高台付椀	HS				6.0	B, D	良 好	R	灰褐	50	
7	輪花付 高台付椀	K	16.4				B	良 好		淡灰。釉 はくら い 緑	20	
8	羽A I a口	HS	20.3			2.5	B, D, E	良 好		外-暗灰 褐。内- 暗 黄 褐	20	

第597表 第2号竪穴状遺構出土遺物観察表

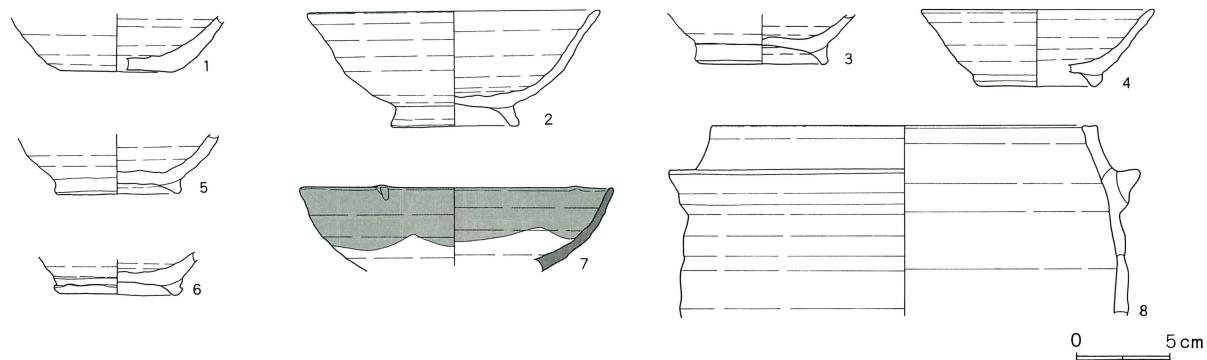
番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	椀	S				5.9	B, C, E	良 好	R	灰	10	
2	高台付椀	S	14.1	7.0		7.8	B	良 好	L	灰白	20	
3	高台付椀	HS					B, C	やや不良	R	明褐		底部-60。体・口縁-10
4	高台付椀	HS				5.5	B	普通	R	褐灰	20	
5	高台付椀	NS				6.0	B, D, E	普通	R	灰白	20	
6	高台付椀	NS				6.1	B, E	良 好	R	褐灰	10	
7	高台付椀	NS				5.8	B, C	普通	L	外-黄灰。 内-灰黄	20	
8	高台付椀	NS				6.0	B, D	良 好	R	にぶい黄 橙	10	
9	高台付椀	K				6.6	B	良 好		淡灰	20	転用硯として 口縁部のみ
10	甕 A IV C	H	20.7				B, D, E	普通		黄 橙		
11	台付甕底部	H				6.0	B, C	良 好		にぶい 橙	10	
12	台付甕底部	H				7.6	B, D	普通		にぶい 橙	20	
13	高台付鉢	H				14.2	B, E	良 好		暗赤褐	25	
14	高台付鉢	HS				14.6	B	良 好	R	明褐	20	
15	壺 椀	S HS	11.0	4.5		5.5	B, C, E	良 好		暗黒褐 灰 黄	10 100	口縁部のみ

第598表 竪穴状遺構出土土錐観察表

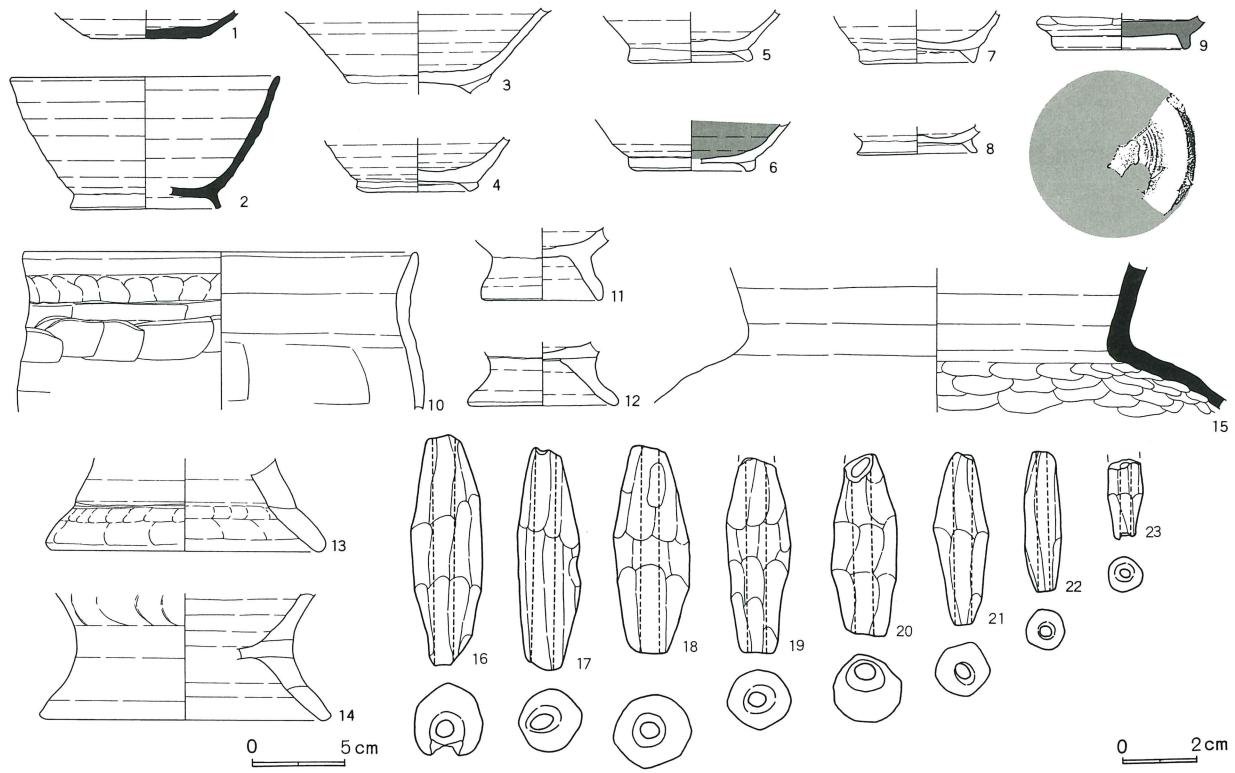
番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
16	浅黄	60	6.0	1.8	0.4	16.0	C 1	V a	279	
17	暗褐	100	6.0	1.7	0.6	15.2	C 1	I a	280	
18	灰黄	100	5.5	2.1	0.5	19.6	C 1	I a	281	
19	浅黄	80		1.7	0.5	11.1	C 1	II a	282	
20	黄橙	100		1.9	0.5	14.6	C 1	I b	283	
21	浅黄 橙	100	4.6	1.4	0.4	6.8	C 1	I b	284	
22	浅黄 橙	100	3.7	1.0	0.3	3.6	C 2	III b	583	
23	黄 橙	30		0.9	0.3	1.5	C 2	I b	584	

第742図 第1～3号竪穴状遺構出土遺物

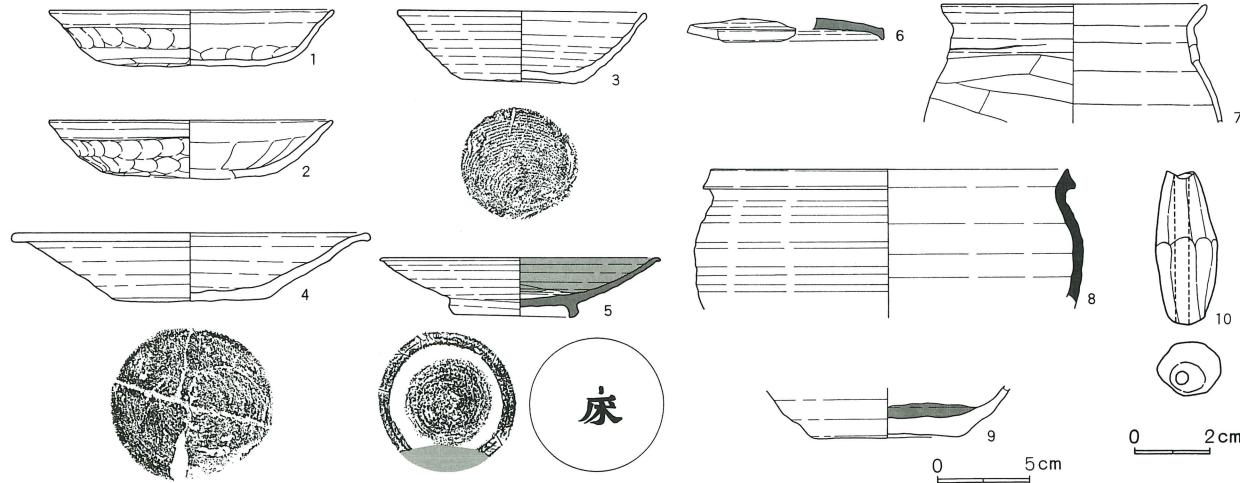
竪穴状遺構1



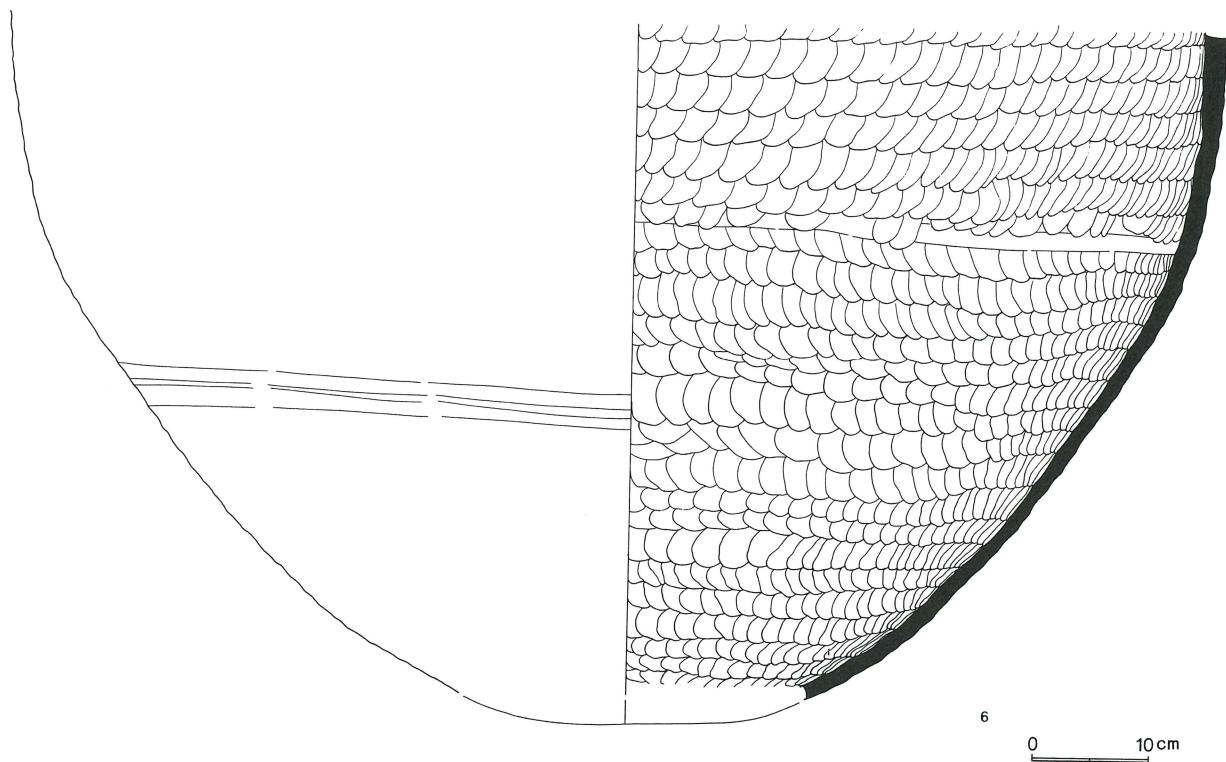
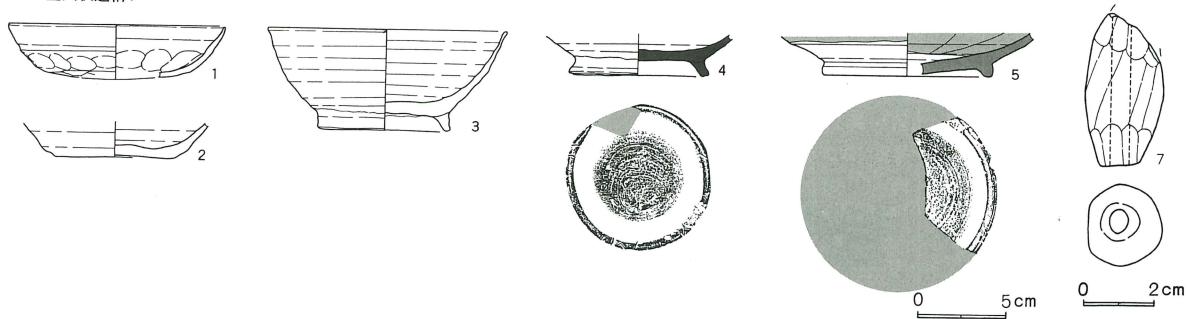
竪穴状遺構2



竪穴状遺構3



第743図 第4号竪穴状遺構出土遺物
竪穴状遺構4



1・2は、土師器の皿である。3は、須恵器（NS）の椀である。4は、須恵器（NS）の皿である。9は、須恵器（HS）の椀で、内面に漆と思われる黒色の付着物がみられた。2は底部が欠損している。

5は、灰釉陶器の高台付皿である。底部外面に墨書「床」がみられる。6は、灰釉陶器の蓋である。7は、土師器の甕である。8は、須恵器（S）の鉢である。6は口縁部破片である。7は胴部中位以下、8は胴部下位以下が欠損している。

10は、土錘である。

第4号竪穴状遺構（第741図）

O-18グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・掘立柱建物跡・土壙・溝などの遺構が密集し、砂利層が確認面であったため、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸5.76m・短軸2.42m・深さ0.23mであった。

長軸方向は、N-12°-Eであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

中央やや南寄りより須恵器の高台付椀（3）が、南西隅から須恵器の大甕（6）が出土した。

1は、土師器の坏Aである。底部が欠損している。

2は、須恵器（N S）の椀である。口縁部が欠損している。

3は、須恵器（H S）の高台付椀である。4は、須恵器（S）の高台付椀である。4は底部のみである。

5は、灰釉陶器の高台付椀である。底部のみである。

6は、須恵器（S）の大甕である。胴部下位のみである。

7は、土錘である。

第5号竪穴状遺構（第744図）

R-8グリッドに確認した。

第1号建物地業跡の南側に位置した。周辺は小穴、溝などの遺構が密集し、覆土も類似し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸1.97m・短軸1.27m・深さ0.06mととても浅かった。

長軸方向は、N-81°-Eであった。

北西隅に径0.4m・深さ0.13m、南東隅に径0.2m・

第599表 第3号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	皿	H	15.0	2.9		8.5	B, D, E	普通		淡 橙	100	
2	皿	H	15.0	3.1		7.7	B, D, E	普通		橙	30	
3	椀	N S	13.0	3.7		6.0	B, C, I	良好	好	灰 白	70	
4	皿	N S	18.6	3.6		7.7	B, C	良	好	黄 灰	80	
5	高台付皿 蓋	K	14.4	3.1		6.3	B, D	良	好	淡 灰	50	
6		K					B, D	良	好	淡 灰 白	10	
7	甕 B III a	H	13.9				C, G, H	良	好	橙	15	
8	鉢	S	18.8				B	良	好 (硬質)	青 灰	15	
9	椀	H S				7.5	B, E, G, H	良	好	外-灰白。 内-黒	70	

第600表 第3号竪穴状遺構出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
10	橙	100	4.0	1.7	0.3	12.0	-	I a		

第601表 第4号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壺 A	H	11.8	3.0		7.8	B, D, E	普通		黄 褐	20	
2	椀	N S				6.7	B, D	良	好	灰 白	10	
3	高台付椀	H S	8.1	5.6		6.9	B, C, E, I	良	好	橙	50	
4	高台付椀	S				7.2	B	良	好	灰	30	
5	高台付椀	K				9.2	B, D	良	好	外-灰白 内-オリーブ灰	20	
6	大甕	S					B	良	好	青 灰	20	

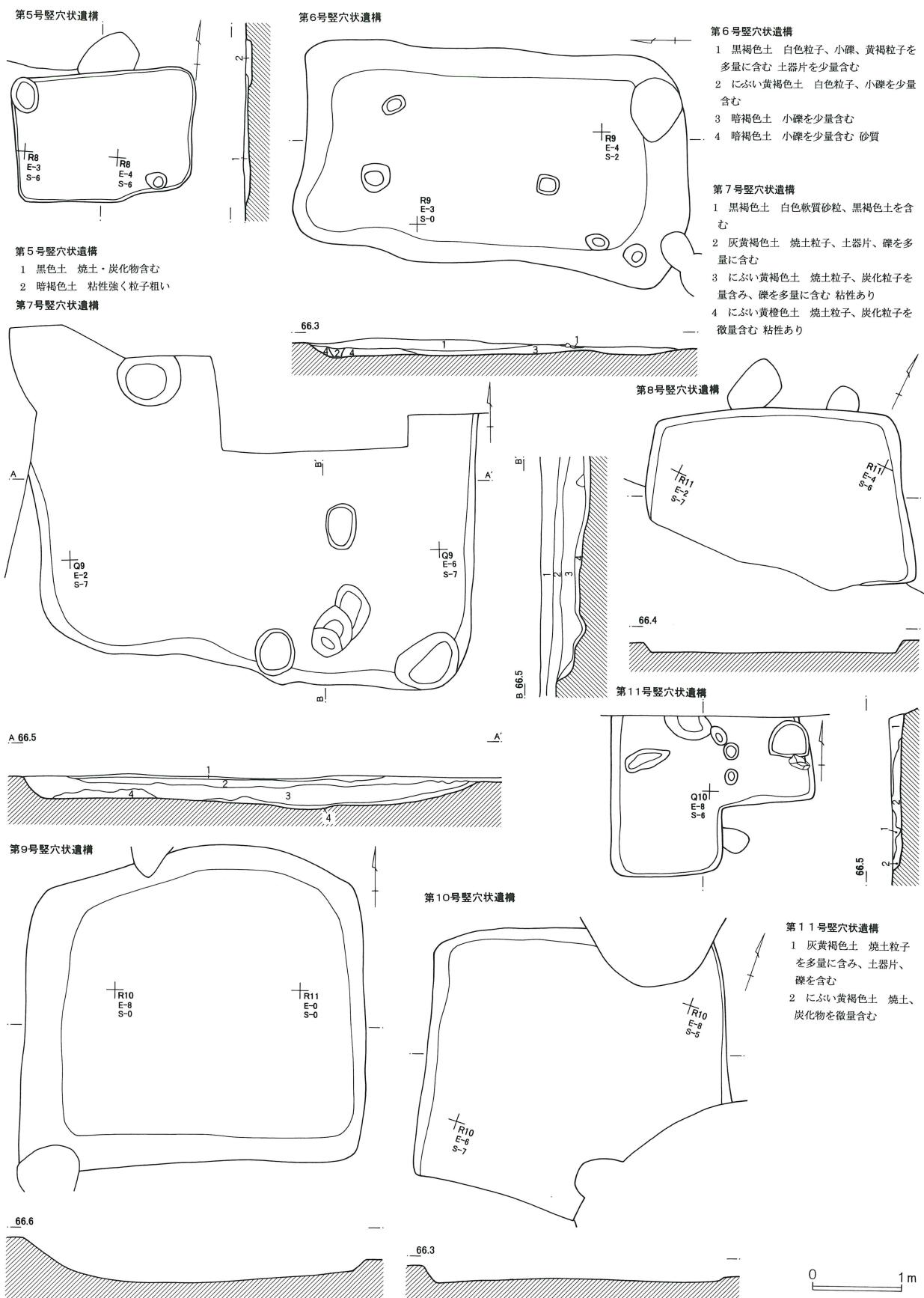
第602表 第4号竪穴状遺構出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
7	橙	50		2.1	0.6	15.4	B 1	III a	89	

第603表 第6号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壺 A IV	H	11.8	3.5		7.2	B, E, H	普通		黄 橙	20	
2	壺 A IV	H	12.5	3.1		8.3	B, E, H	普通		暗 黄 橙	40	

第744図 第5～11号竪穴状遺構



深さ0.08mの小穴二基を検出した。

第1号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

第6号竪穴状遺構（第744図）

Q・R-9グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の東側に位置した。周辺は小穴・溝などの遺構が密集し、覆土も類似し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸4.3m・短軸2.18m・深さ0.18mであった。壁の立ち上がりは、緩やかであった。

長軸方向は、N-2°-Eであった。

北壁沿い、南西隅に径0.3m~0.45m・深さ0.05m~0.23mの小穴五基を検出した。

第2号建物地業跡の周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1・2は、土師器の壊AIVである。1は底部が欠損している。

3・4は、平瓦である。

第7号竪穴状遺構（第744図）

Q-9グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の東側に位置し、北側を砂利採取の搅乱によって破壊されていた。規模などに不明な点が多くあった。

推定される形状は方形で、残存した東西の長さは4.91m・深さ0.55mであった。東壁は、緩やかに立ち上がっていた。

長軸方向は、N-86°-Wであった。

南東コーナーおよび中央やや西寄りからは、小穴五基を検出した。いずれも橢円形で規模は、長軸0.5m前後、深さは0.09m~0.15mであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1から3は、土師器の壊AIVである。2は黒色の付着物が口縁部に確認できる。油煙の痕跡と考えられる。

4・6は、須恵器(HS)の皿である。5は、須恵器(S)の皿である。

7は、土師器の三足付香炉である。底部が欠損している。

8から10は、トリベである。

第604表 第6号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
3	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2面面取り
4	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

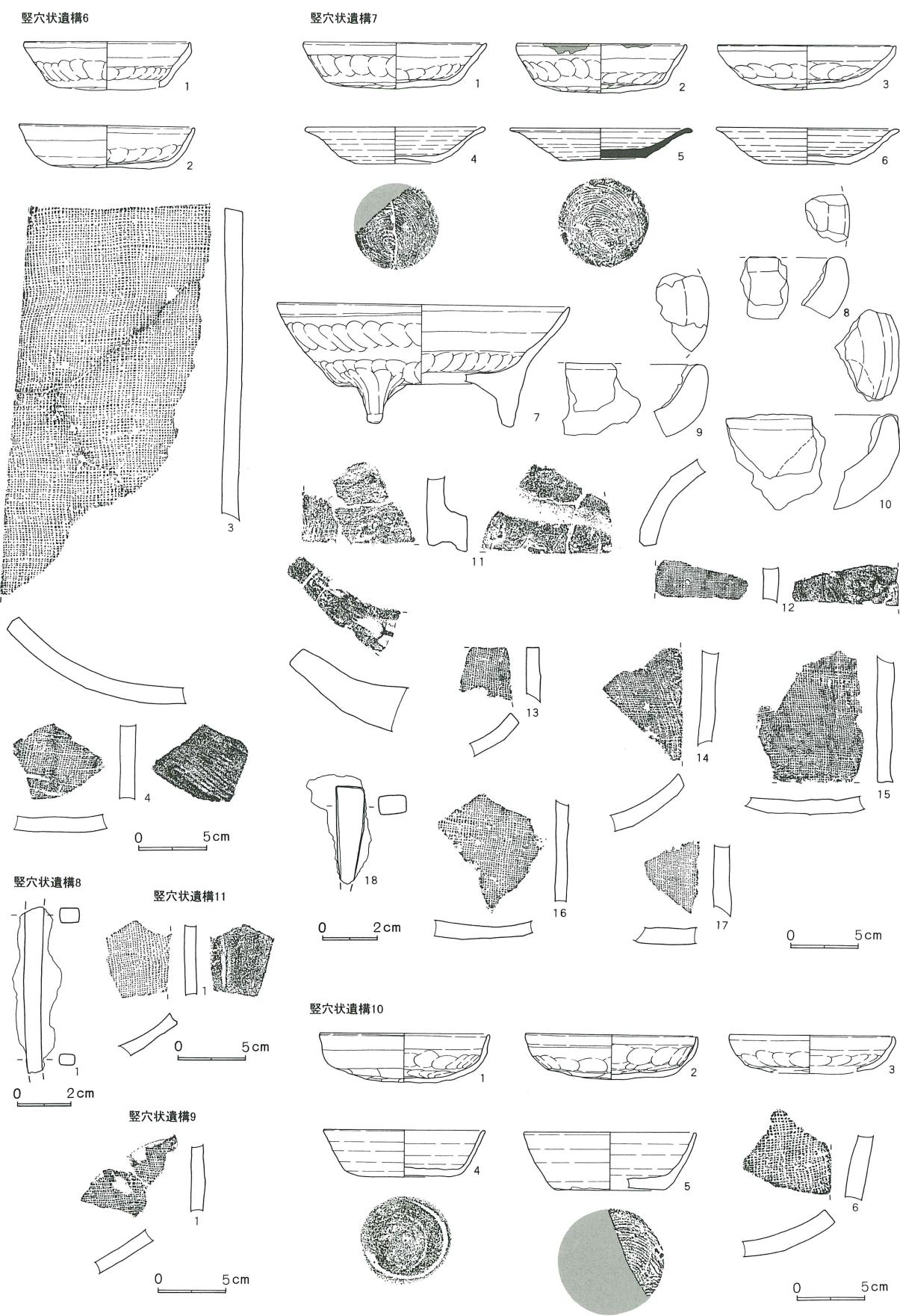
第606表 第7号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
12	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
13	不明	還元炎	刷り消し	布	1面面取り
14	丸瓦	中間	刷り消し	布	1面面取り
15	平瓦	中間	刷り消し	布	1面面取り
16	平瓦	中間	刷り消し	布	-
17	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-

第605表 第7号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	輶轆	色調	残存	出土位置その他
1	壊	A IV	H	13.1	3.4		8.1	B, E, H	普通	暗黄橙	100	
2	壊	A IV	H	12.1	3.5		7.0	B, E, H	普通	黄褐	100	
3	壊	A IV	H	12.2	5.1		3.2	B, E, H	普通	黄褐	30	
4	皿	HS	12.8	2.6		6.0	B, I	普通	にぶい橙	40		
5	皿	S	12.7	6.3		2.2	B	良好	黄灰	70		
6	皿	HS	12.7	2.1		6.1	B, E, I	良好	(外)にぶい黄澄,(内)黄灰	60		
7	三足付香炉	H	21.2	8.7		11.0	B, E, H	不良	橙	40		
8	トリベ						B, E, H	不良	浅黄橙	5		
9	トリベ						B, E, H	不良	浅黄橙	10		
10	トリベ						B, D, H	不良	浅黄橙	5		

第745図 第6～11号竪穴状遺構出土遺物



11は、軒平瓦である。12は、丸瓦である。13から17は、平瓦である。

18は、鉄製の釘である。

第8号竪穴状遺構（第744図）

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南西隅に位置し、南側は調査区外となっていたため、全容は明らかにできなかった。周辺は溝・小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は長方形で、規模は長軸2.81m・短軸1.88m・深さ0.15mであった。

長軸方向は、N-61°-Eであった。

第3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、棒状鉄製品である。

第9号竪穴状遺構（第744図）

Q・R-10・11グリッドに確認した。

第2号建物地業跡と第3号建物地業跡の間に位置した。周辺は、土壙・小穴などの遺構が密集し、覆土も類似し確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸3.72m・短軸3.03m・深さ0.41mであった。壁は、緩やかに立ち上がっていた。長軸方向は、N-88°-Eであった。

遺構の切り合い関係は、第2・3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、平瓦である。

第10号竪穴状遺構（第744図）

R-10グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の南東隅に位置した。周辺は、土壙・小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は方形で、規模は長軸3.30m・短軸2.57m・深さ0.18mであった。

長軸方向は、N-73°-Eである。

遺構の切り合い関係は、第6号土壙より新しかった。そのほか第2号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1から3は、土師器の壊AⅣである。4は、須恵器(HS)の椀である。5は、須恵器(NS)の椀である。3・5は底部が欠損している。

6は、平瓦である。

第11号竪穴状遺構（第744図）

Q-10グリッドに確認した。

第2号建物地業跡と第3号建物地業跡の間に位置し、北側を砂利採取の搅乱によって破壊されていた。形状や規模など不明な点が多かった。周辺は、土壙・小穴などの遺構が密集し、覆土も類似し確認に手間取った。

第607表 第9号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り

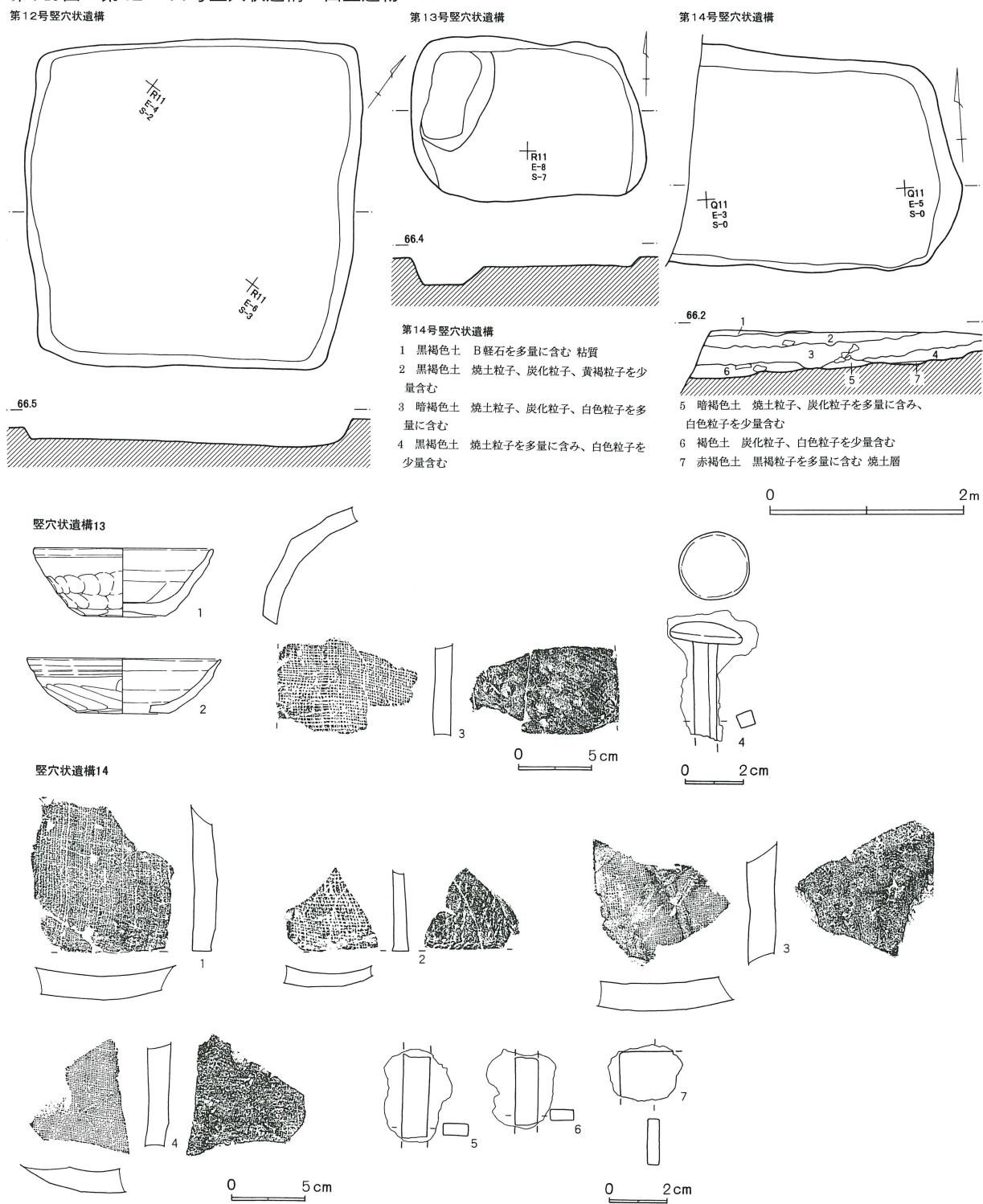
第609表 第10号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
6	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第608表 第10号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壊AⅣ	H	12.2	3.5		6.3	B, E, H	普通	黄褐色	100		
2	壊AⅣ	H	12.3	3.2		6.8	B, E, H	普通	黄色	70		
3	壊AⅣ	H	11.2	2.3			B, E, H	普通	黄色	20		
4	椀	HS	11.6	3.4		6.6	B	良好	にぶい黄橙	60		
5	椀	NS	12.3	4.2		8.0	B	良好	灰白色	30		

第746図 第12～14号竪穴状遺構・出土遺物



第610表 第13号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鍔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	壺	B	H	12.1	4.7		5.7	B, E, H	普	通	40	
2	壺	B	H	13.1	3.7		6.3	B, E, H	普	通	40	R-11-4

検出された部分の形状はL字状で、規模は東西方向2.24m・深さ0.15mであった。

長軸方向は、N-90°-Eであった。

遺構内から、不整形な掘り込みや、径0.25m前後の小形の小穴を検出した。

第2・3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、平瓦である。

長軸方向は、N-87°-Wであった。

北西隅に長軸1.15m・短軸0.76m・深さ0.18mの不正長方形の掘り込みがあった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1・2は、土師器の壊Bである。2は底部が欠損している。

3は、丸瓦である。

4は、鉄釘である。

第12号竪穴状遺構（第746図）

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南西隅に位置した。周辺は、溝や小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は方形で、規模は長軸3.3m・短軸2.97m・深さ0.27mであった。

長軸方向は、N-35°-Wであった。

遺構の切り合い関係は、第28号溝より新しかった。

第14号竪穴状遺構（第746図）

P・Q-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の北側に位置した。周辺は、砂利採取の搅乱が激しく、第14号竪穴状遺構も西側を破壊されていた。

形状は、長方形と推定した。南北方向の長さは、2.12m・深さ0.42mであった。

長軸方向は、N-82°-Wであった。

遺構内から第14号鍛冶炉（第IV章3-(9)鍛冶炉参照）を検出した。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1から4は、平瓦である。

5・6は、棒状鉄製品である。7は、板状鉄製品である。

以上竪穴状遺構は、一般的な竪穴式住居跡と比較すると、カマドが見られないこと、不整形であること、掘り込みが浅いこと等から竪穴式住居跡やいわゆる土壙とは区別して掲載した。

これらは、床面が一定しないことや、小形であること、比較的遺物の出土量が少ないと判断した。この竪穴状遺構の機能としては、様々な推定が可能であるが、ここでは、調査時の所見から、以下まとめておくこととした。

まず1から4号竪穴状遺構であるが、これらは単独に存在し、比較的規模も大きい。しかし掘り込みが浅く不整形であることなどから、竪穴式住居跡の造作途中で放棄したか、あるいは簡易な建物跡であろうかと

第13号竪穴状遺構（第746図）

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南側に位置し、南半分が調査区外であったため、不明な点が多かった。

推定される形状は長方形で、規模は東西方向2.33m・深さ0.12mであった。

第611表 第11号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第612表 第13号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
3	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り

第613表 第14号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
2	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り
3	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
4	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-